

42913

教科書文庫

|                |
|----------------|
| 4              |
| 291            |
| 51-1924        |
| 20000<br>71219 |

Kodak Gray Scale

A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

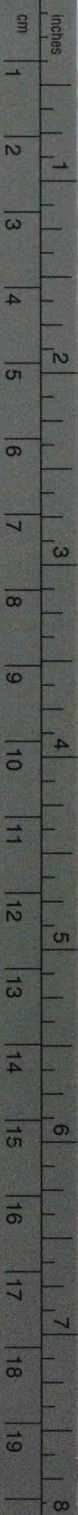


© Kodak, 2007 TM. Kodak

Kodak Color Control Patches

Blue Cyan Green Yellow Red Magenta White 3/Color Black

© Kodak, 2007 TM. Kodak



# 新制日本地理

理學博士  
山崎直方著



東京開成館

教  
5  
20





資料室

教科書文庫

4

291

51-1924

2000071219

濟定檢省部文

用科理地校學中・校學範師 日四月一十年三十正大

# 新制日本地理

士博學理

著方直崎山



館成開京東

広島大学図書

2000071219



42  
291  
伏13



觀 概 の 國 帝



鮮朝と灣臺(下) 良奈と京東(中) 太 樺(上)



## 例言

本書は師範學校中學校及びこれらと同程度の諸中等學校の教科書として、日本地理を説いたもので、「新制世界地理」と連絡するものである。

およそ國家の人文發達の程度は、その國家の位置地形氣候のやうな自然の形勢との關係が極めて多いから、本書はこれらの地文・人文に關する教材を配合するのに深く注意をして、なるべく敘述が一方に偏しないやうにし、また興味多く地理學を修めさせるために、乾燥な敘述を避けるやうに努めた。その他本書の編纂にあつて意を用ゐた要點は

一、尋常小學地理書と連絡して適當の範圍にその程度を高くし



たこと。

二、文章は口語體を用ゐ、漢字は出來得る限り臨時國語調査會決定の常用漢字の範圍から採つて、生徒の読み易いやうに努めたこと。

三、教材はすべて各府縣に照會して最新の事實をあらはすに意を用ゐたこと。

四、挿圖・圖式等は皆斬新で特色あるものを選び、殊に各地方及び主要火山の斷面圖を掲げて、地形に關する理會を容易ならしめたこと。

五、各種の統計はいづれも最近のものによつたこと。

六、本文所載のものに次いで重要な事項は、力めて上欄に記載して、教師の敷衍の資料に供したこと。

等で、要するに著者の期する所は、最近地理學の普及である故に、教

材の選擇と配列とはすべてこの目的を達するやうに、十分な考慮を加へた。但し地理學の教授は他の科學と同様で、字句の誦讀を主にするものでないから、便宜上、敷衍もし、または簡説もして、本書の要領を教へて、正確な地理的觀念を得さすやうにされることは、著者の切に教師諸君に希望する所である。終に本書の編纂にあたつて、種々の便宜と援助とを與へられた官廳學校諸會社その他に對して深く謝意を表する。

大正十三年一月

著者識す



新制日本地理 目次

緒論 帝國の位置……………一頁

第一編 地方誌

第一章 日本列島……………四

第一節 關東地方……………四

第二節 奥羽地方……………二五

第三節 中部地方……………三六

第四節 北陸地方……………四

第五節 近畿地方……………六

第六節 中國地方……………八

第七節 四國地方……………九

第八節 九州地方……………一〇三

第九節 臺 灣……………一三六



|      |        |     |
|------|--------|-----|
| 第十節  | 北海道    | 一三八 |
| 第十一節 | 樺太     | 一五二 |
| 第二章  | 朝鮮     | 一五七 |
| 第一節  | 地文     | 一五七 |
| 第二節  | 人文     | 一六〇 |
| 第三節  | 地方誌    | 一六四 |
| 一    | 朝鮮南部地方 | 一六四 |
| 二    | 朝鮮中部地方 | 一六七 |
| 三    | 朝鮮北部地方 | 一六九 |
| 第二編  | 括論     |     |
| 第一章  | 地文     | 一七三 |
| 第一節  | 地形     | 一七三 |
| 第二節  | 海洋     | 一七六 |
| 第三節  | 氣候     | 一七九 |

|     |               |     |
|-----|---------------|-----|
| 第四節 | 動植物           | 一八一 |
| 第二章 | 人文            | 一八三 |
| 第一節 | 住民            | 一八三 |
| 第二節 | 政治            | 一八五 |
| 第三節 | 教育・神社・宗教      | 一八九 |
| 第四節 | 産業            | 一九〇 |
| 第五節 | 交通            | 一九六 |
| 結論  | 帝國國勢の發展と國運の進歩 | 一九九 |



# 新制日本地理

理學博士 山崎直方著

## 緒論 帝國の位置

大日本帝國はアジヤ大陸の東方に位する日本列島と大陸の一部である朝鮮半島とから成立つてゐる。

日本列島は斜に東北から西南に延びて、その長さは約千二百里に及ぶ。列島の中央には本州・四國・九州・北海道本島の四大島がある。また北海道本島の北にある細長い樺太島も、その南部はわが領土である。これらの諸島は相連つて、太い弓形を畫き、大陸の間に日本海を包む。北海道本島の東北にはまた千島諸島が弓形に連つて、ロシヤ領カムチャッカ半島の南端に及び、太平洋からオホ

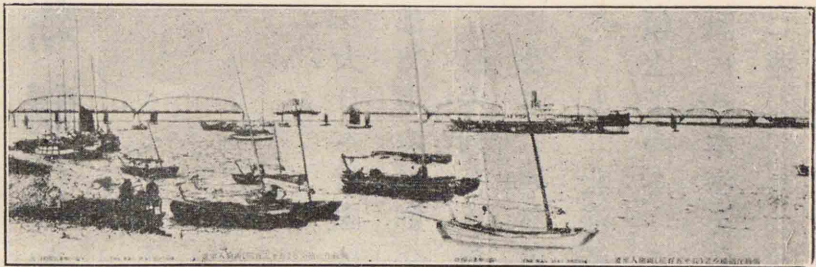
わが國の四極  
南端 北緯二十一度四十五分  
北端 北緯五十六度五十六分  
西端 東經百十九度十八分  
東端 東經百五十六度三十二分



日本列島の中、臺灣・樺太を除いたものを内地といふ。

鴨綠江の開閉橋

鴨綠江は朝鮮と滿洲との境にある、開閉橋はこの間を連絡する唯一の鐵道橋である。



一ツク海を分つ。また南方には、九州の西南に琉球諸島が點々相連つて弓形になり、終に臺灣島に及び、太平洋から東支那海を分つてゐる。この他本州の南方には、遠く太平洋の中に小笠原諸島がある。

朝鮮半島は日本海の西を限り、北から南に向つて突出し、長さは約二百五十里に達する。この半島は北は支那の滿洲に接し、東北の一隅はロシアのシベリヤに境し、西は黃海に面し、南は朝鮮對馬の二海峡を隔てて、九州に對する。

さればわが國の四面には、西と北とに境を接して、支那とロシアのシベリヤとがあり、臺灣の南にはバシ海峡を隔てて、アメリカ合衆國領フィリッピ

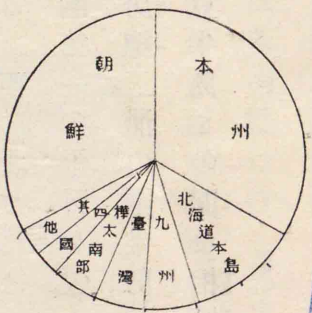
| 面積  | 百分    |
|-----|-------|
| 本州  | 三三・三  |
| 四國  | 二・七   |
| 九州  | 六・〇   |
| 北海道 | 二・六   |
| 朝鮮  | 三・七   |
| 樺太  | 〇・五   |
| 臺灣  | 〇・五   |
| その他 | 三・〇   |
| 合計  | 一〇〇・〇 |

わが國の全面積に對する各部の割合

ン諸島がある。そして東には遠く太平洋を隔ててアメリカ合衆國及びカナダがある。

わが國の全面積は約四萬三千七百方里ある。本州はその三分の一よりや、大きく、朝鮮は本州よりや、小さい。北海道本島は本州の三分の一よりや、大きく、九州は北海道本島の殆ど半に當り、臺灣樺太は九州よりや、小さく、四國は九州の半に近い。

以上の外、わが國は支那から滿洲の關東州を租借してゐて、その面積は二百十九方里ある。また、もごドイツ領であつた南洋のマリアナ・カロリン・パラウ・マーシャルの四諸島は、世界大戰講和條約の結果によつて、國際聯盟の管理の下に置かれ、わが國はその委任を受けて、これを統治してゐる。その面積は百六十三方里ある。





第一編 地方誌

第一章 日本列島

日本列島を關東・奥羽・中部・北陸・近畿・中國・四國・九州・臺灣・北海道・樺太の十一地方に分ける。

第一節 關東地方

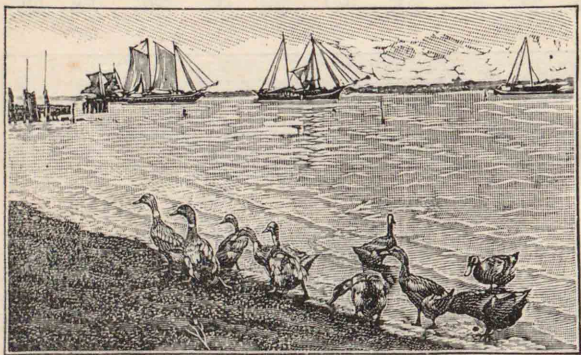
●位置地形。關東地方は本州の東南部にある。西と北には一帯の山岳が相連つて、關東平野と稱するわが國第一の平野を包んでゐる。東と南とは太平洋に面し、丘陵性の房總・三浦の兩半島が突出して、東京灣を抱き、三浦半島の西には伊豆半島との間に相模灣が入込んでゐる。

關東平野の西に連るのは關東山脈、西北に連るのは三國山脈で、



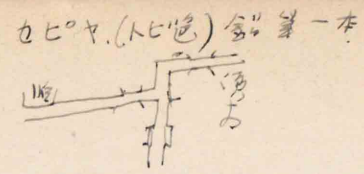
東北の海岸に延びて來てゐるのは阿武隈山脈である。また富士火山脈に屬する箱根山は西南隅に位し、那須火山脈は平野の北に聳える那須山から西南に延び、赤城・榛名の諸山を経て、淺間山に至る。

河流のおもなものは、いづれも西と北との山中から出て、東南に流れ、平野の間を過ぎて、海に入る。されば、關東平野は大に灌漑の利に富み、田畑は廣く開けてゐる。河流の最も大きいものは利根川で、三國山脈から出て、多くの支流を合して、太



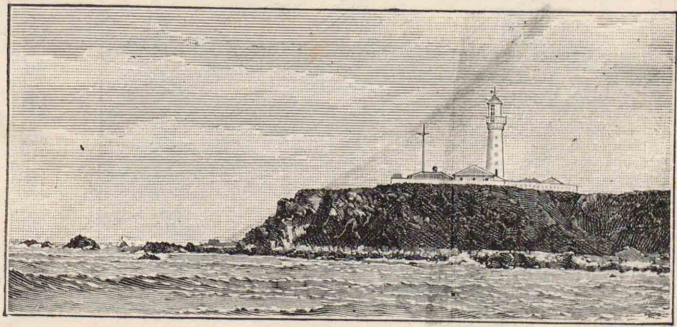


犬吠岬  
犬吠岬には燈臺がある。また附近に無線電信局が設けられてゐる。

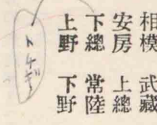


平洋に注ぐ。この川は關東平野の大動脈で、大いに舟運の便を與へてゐる。その下流地方には霞浦、北浦等の湖沼がある。この他、北部には太平洋に流れる那珂川があり、南部には東京灣に入る荒川、多摩川がある。また西部には相模川が相模灣に注ぐ。これらの河川の上流には水力發電に利用されたり、上水を供給したりするものが少くない。

犬吠岬は關東平野の東端に突出し、太平洋の海岸は、この岬を挾んで南北に大弓形を畫き、一帯の沙濱で、殆ど出入がなく、南部の方は特に九十九里濱と呼ばれてゐる。相模灣の沿岸もまた沙濱である。東京灣岸は出入がやゝ多く、横濱、横須賀等の良港がある。



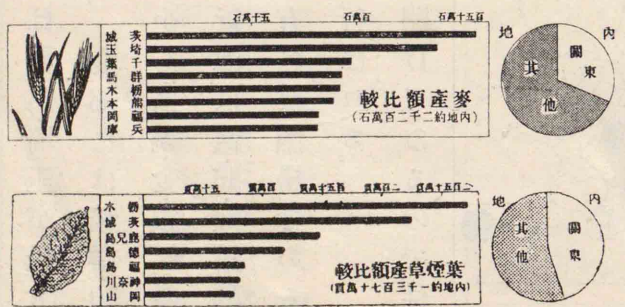
關東地方は東海道の六國と東山道の二國とを含み、古來關八州と呼ばれてゐる。その國名は左の通りである。



**● 氣候** 西と北には山脈が連つて寒風を遮り、東と南は海洋に面して濕氣と暖風を受けてゐる。されば平野は氣候が溫和で、適度の雨量がある。殊に南部の海岸は避暑避寒に適する。

**● 區劃** 行政上一府六縣に分たれる。西南部は東京府及び神奈川縣で、中部は埼玉縣その北は群馬縣である。群馬縣の東は栃木縣で、東北部の地方は茨城縣、その南に連つて房總半島に及ぶ地方は千葉縣である。

**● 産業・交通** 平野が廣く、氣候が溫和であるから、農業はよく開け、米・麥・大豆の産が甚だ多く、埼玉・千葉・茨城の三縣は殊に盛である。煙草の栽培は栃木縣の東部から茨城縣にかけて最も盛で、神奈川縣がこれに次ぐ。この他





常磐炭田は奥羽地方の東南部まで連つてゐる。

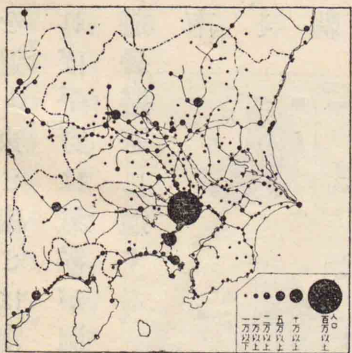
關東地方都會分布

(圓萬十五百五約・貫千五萬三約地内)較比額産銀

|    |    |    |    |     |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
|----|----|----|----|-----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 東京 | 大阪 | 神戶 | 京都 | 名古屋 | 福岡 | 札幌 | 仙台 | 青森 | 盛岡 | 秋田 | 山形 | 福島 | 茨城 | 栃木 | 群馬 | 埼玉 | 千葉 | 茨城 | 栃木 | 群馬 | 埼玉 | 千葉 |
|----|----|----|----|-----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|

また人口一萬以上の市町が七十六といふ多數に上つてゐる。随つて海陸の交通線も多くこの地方に集まり、鐵道

甘藷、落花生、大麻等をも産する。蠶業は群馬、埼玉が最も著しく、機業もこれにつれて盛である。北部には鑛業製鍊業が盛に行はれ、足尾からは銅、日立からは銅、金、銀を産し、また東北隅には常磐炭田がある。近海は鮭、鱈、鯖、秋刀魚等の水産が豊富で、九十九里濱は有名な漁場である。商工業は東京市とその郊外に盛に行はれる。關東地方はこのやうに土地がよく開けてゐるので、住民が多く、面積は本州の七分の一に過ぎないが、人口はその四分の一を超え、約一千百萬に及ぶ。



鐵道交通圖

圖はおもな鐵道線路につき旅客の多少を線の數で示したものである。本書に載せた他の鐵道交通圖も皆同様である。

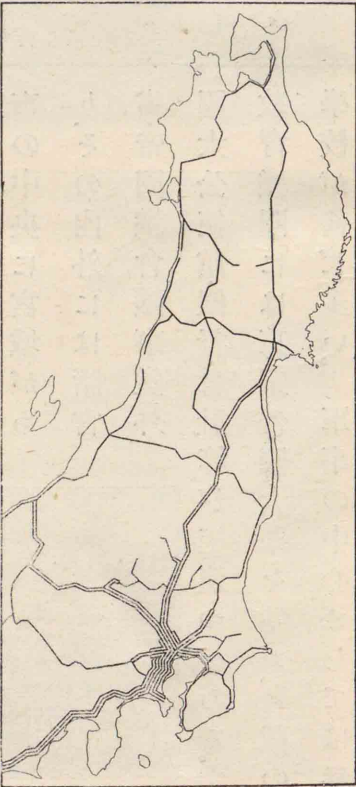
三也  
時代

は東京を中心として、東海道東北の二大幹線をはじめ、中央線、常磐線、その他の線路が四方に走り、航路は横濱を發着點として、内外諸港に通じてゐる。

一 東京府

管轄

武藏の一部、伊豆、諸島、小笠原諸島



西境に關東山脈が連つて、その麓から平野が遠く東に延びてゐる。武藏野はその一部である。荒川下流の隅田川は東京市を貫流して、舟運の便を與へ、多摩川は府の西部から南部を灌漑し、また東京市に上水を送る。わが帝國の首府東京市は東京灣の北岸に位してゐて、政治經濟



東京市は面積約五  
方里で十五區に分  
たれてゐる。

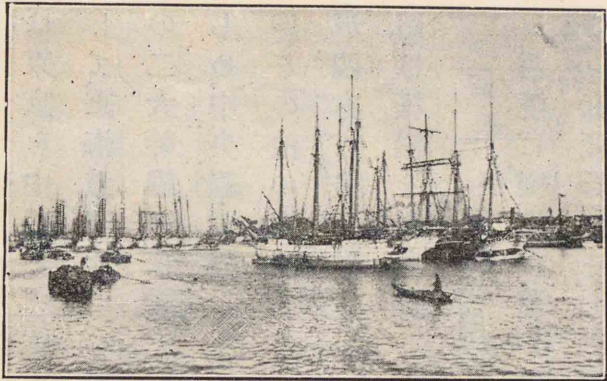
下、宮城附近  
の官省

近く見えるのは  
大審院、その次  
は海軍省、高く  
聳えてゐるのは  
無線電信の鐵塔。

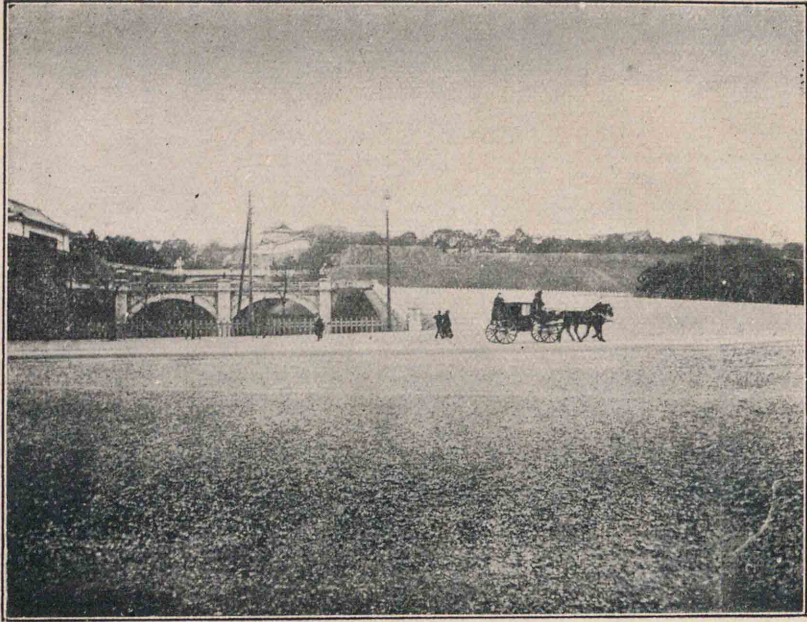
上、隅田川口

市の内外の社寺に  
は明治神宮・靖國  
神社・淺草寺等が  
ある。日枝神社・  
神田神社は市民の  
氏神として名高  
い。

學藝の中心となり、商工業もまた盛で、人口は  
約二百二十萬に及び、東洋第一の大都會であ  
る。市の西半は山の手と稱する低い臺地で、  
概して住宅地となり、  
東半は下町と稱する  
低地で、専ら商工業の  
地域となつてゐる。  
市の中央に宮城があ  
り、その内外には諸官  
省、帝國議會、議事堂、外  
國大使館、銀行、會社等が相連つてゐる。  
教育機關には東京帝國大學を始め、各種の  
學校が甚だ多い。軍事の中心としては參



城 宮



東京市丸の内



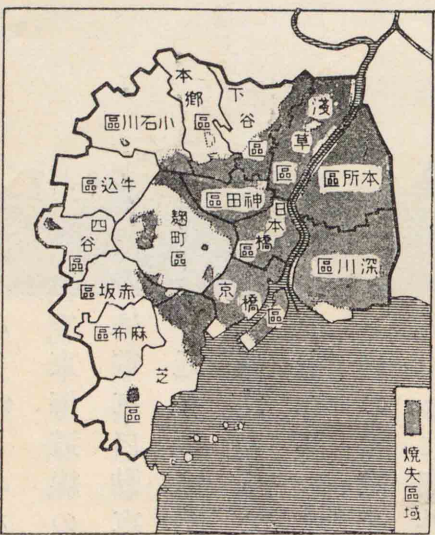
市の公園には上野・浅草・芝・日比谷等がある。

下、東京帝國大學

市には書籍・雜誌及び萬年筆・鉛筆その他學用品の産が甚だ多く、全國産額の大部分を占めてゐる。

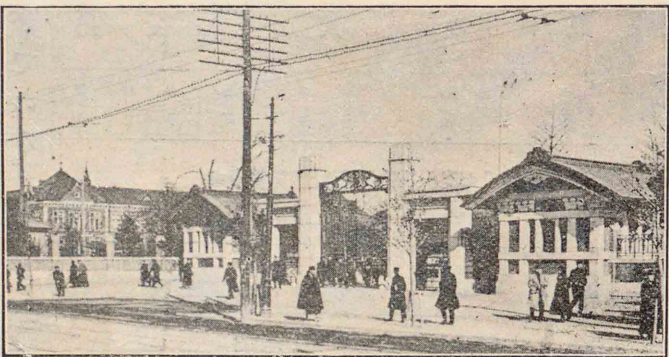
上、東京市大區域  
上、火災焼失

東京市は大正十二年の大震災後直に起つた火災のために下町の大部分を焼失したと圖に示す通りであるが漸次復興しつつある。



謀本部海軍軍令部・近衛師團第一師團司令部等がある。商業は特に東南部に盛で、工業は東部及びその郊外に行はれ、紡織製紙機械製造印刷等がそのおもなものである。その他にも種々の工藝が盛に行はれて、雜

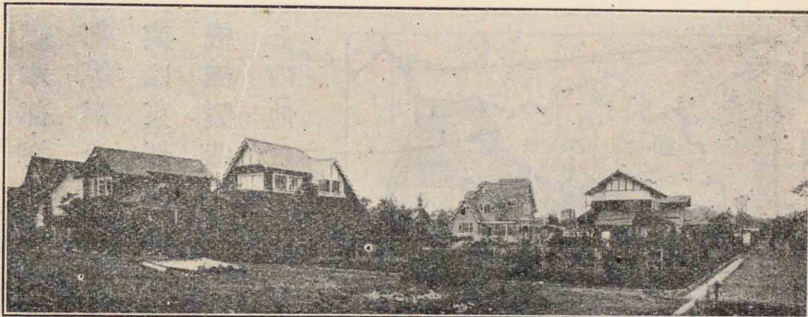
貨の産出が甚だ多い。市はまた交通の中心で、鐵道は東海道線東北線中央線等の幹線を始め、總武線東武線等近縣に通じ





東京市郊外の  
新住宅地

東京府の毛織物産額及び自動車の數は全國第一位を占めてゐる。  
都市の下の註記は萬を單位とする人口の概數、以下凡べてこの通り。  
府の西部には蠶業が盛である。  
八王子市の東北にある立川に陸軍飛行隊を置く。



るものもある。東京驛はわが國最大の停車場で、東海道線の基點をなしてゐる。また市内には電車自動車の往來が頻繁である。  
近年市は垂直水平兩方面に發達することが著しく、その中心部には高層のビルディングの建築せられるものが多く、また郊外では田園が次第に住宅地に化してゆく。  
中央線によつて西に進めば八王子市<sup>人口四二</sup>があつて、多く絹織物を産する。鐵道は更に西の方小佛トンネルを過

|    |    |    |    |    |    |
|----|----|----|----|----|----|
| 其他 | 岐阜 | 大阪 | 兵庫 | 愛知 | 東京 |
|----|----|----|----|----|----|

(圓萬千六億一約地内)較比額産物織毛

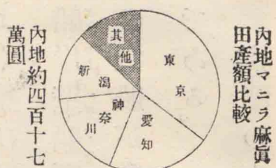
|    |    |    |    |     |    |    |
|----|----|----|----|-----|----|----|
| 其他 | 愛知 | 兵庫 | 京都 | 神奈川 | 大阪 | 東京 |
|----|----|----|----|-----|----|----|

(臺萬三約地内)較比數車動自

昔は蘆ノ湖畔に關所があつて旅人を點檢した。

上、箱根火山  
下、同断面圖

本縣は大正十二年の大震災の被害が最も甚しかった。



内地約四百十七萬圓

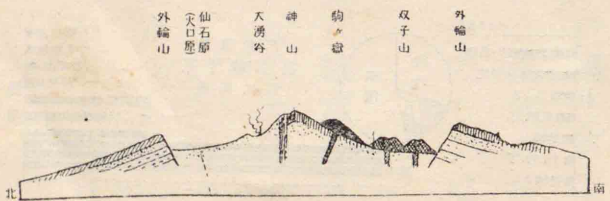
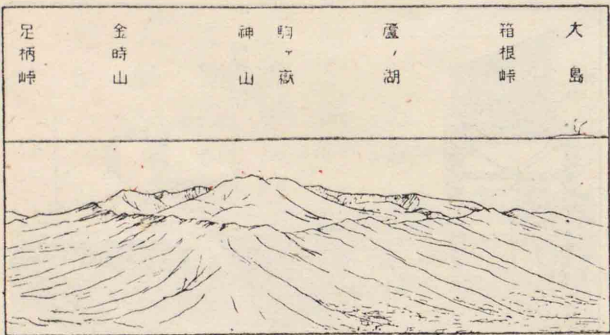
ぎ神奈川縣を経て、山梨縣に向ふ。また横濱線は八王子から横濱に至る。

二 神奈川縣



武蔵の一部  
相模全部

内地マニラ麻質田産額比較  
火口、原に蘆湖を湛へ、山中には温泉が多い。中にも湯本塔澤宮ノ下等が殊に著名である。また大涌谷に有名な硫氣洞がある。山岳はこれから東北に連つて、大山は縣の中央に聳えてゐる。これらの山地の東南は廣い平野で、相模川(馬入川)はそ





横濱の繋船岸壁

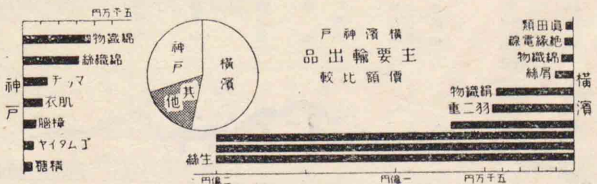
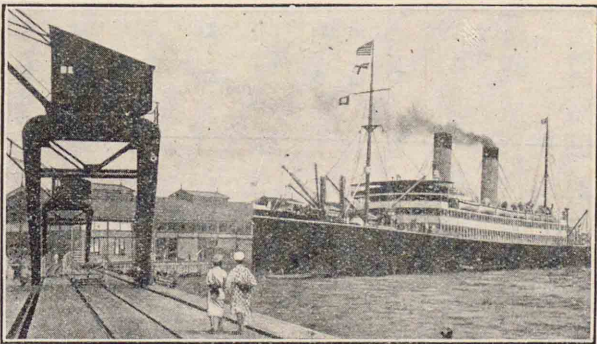
横濱市に高等工業学校・高等商業学校がある。  
市は在留外國人の多いことばわが國第一である。  
市は大正十二年の大震災のため市街の大部分が焼失破壊した。

横濱市の東北方に位する川崎市は工業地である。

の中を南流する。大山の麓の秦野には煙草を産し、また沿海には水産が多い。

縣廳の所在地である横濱市人口は東京灣の西岸に位し、東京市の門戸となつてゐる。幕末の一漁村は今わが國第一の輸出港となり、築港の設備がよく整ひ、壯大な防波堤、棧橋、繋船岸壁、船渠等があり、内外航路の汽船が常に集つてゐる。生絲と羽二重がその主要な輸出品である。

横濱の南にある横須賀市人口は第一海軍區の軍港で、鎮守府を置

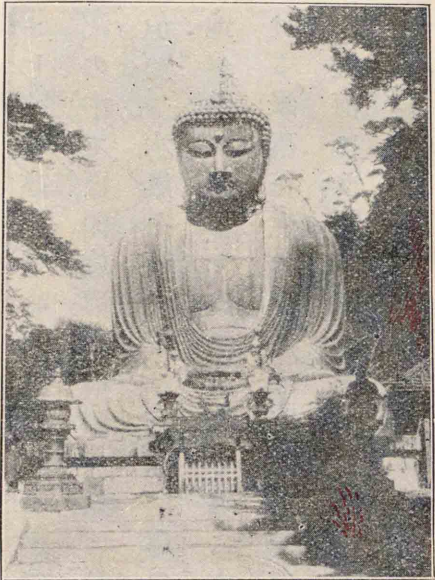


横須賀市に接し、長浦に水雷砲術の練習場、追濱に飛行機の練習場がある。

鎌倉の大佛

鎌倉にはまた有名な大佛がある。

相模灣には珍しい生物が多く、東京帝國大學は三崎の附近に臨海實驗所を設けてゐる。



かれ、工廠では艦艇の建造が行はれてゐる。その東南の觀音崎を廻れば浦賀港人口がある。附近の久里濱はわが國に開港を促したアメリカ合衆國の使節ペリーが始めて上陸した處である。

相模灣岸の鎌倉は源頼朝が幕府を開いた所で、鶴岡八幡宮、鎌倉宮を始めとして、圓覺寺、建長寺等史蹟が甚だ多く、また逗子、大磯、小田原と共に避暑避寒の地として知られてゐる。

東海道線は横濱から西に向ひ、大船から横須賀線をつつ、本線は箱根山の北を廻り、熱海線は國府津から分れて小田原を過ぎ、共に静岡縣に入る。



### 三 千葉縣



安房、上總全部  
下總の大部

館山は好避泊港で、漁業が盛である。

本縣は家禽の飼養が甚だ盛である。

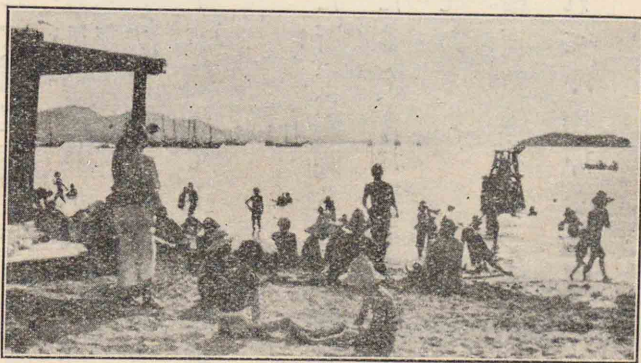
鏡浦(館山灣)  
海水浴場

近海には鯨を産する。

南半は丘陵性の房總半島で、海岸には木更津、北條、館山等の都邑がある。このあたりは海水浴場として著れてゐる。

北半は平野で、森林原野が多く、湖沼もまた少くない。原野の中で習志野は練兵場として名高く、その附近に兵營が多い。湖沼の中では印旛沼、手賀沼が大きなもので、魚類や水鳥を産する。海濱河岸の地は土地が殊に低平で、農産が多く、殊に本縣に於ける米、落花生の産額は關東第一である。

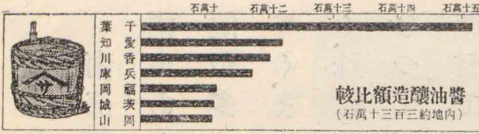
近海には鰯、鮪、鯉、鯖、秋刀魚等の産が多く、九十九里濱は有名な鰯の漁場である。



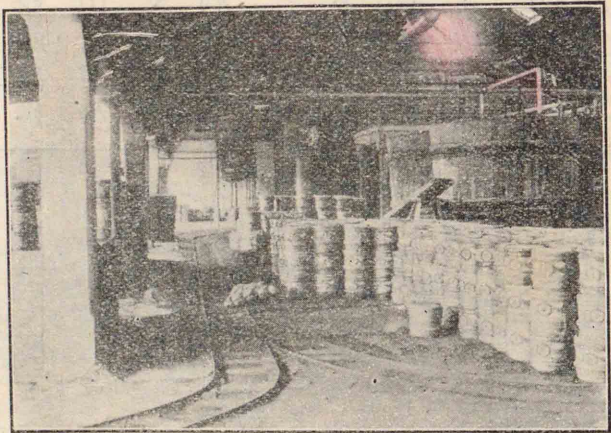
野田の醤油醸造場

銚子に無線電信局がある。

香取神宮には經津主神を祀る。フツ江戸川に沿ふ國府臺は後北條氏と里見氏の古戰場である。



東京灣岸の船橋附近には無線電信局がある。千葉市人口には縣廳と醫科大學とがある。東京から來た總武線はこれらの地を過ぎ、佐倉を経て銚子に至る。銚子人口は利根川の口に臨む商港で、鰯節の産が多い。佐倉の東北には不動堂で有名な成田があり、利根川岸の佐原の東には香取神宮がある。利根川とその分流江戸川との沿岸地方は醸造業の盛な處で、野田銚子は醤油流山は味淋で名高く、縣下のこれらの産額は全國第一位を占めてゐる。





### 四 茨城縣

管轄

下總の一部  
常陸全部

南部は千葉縣に連る平野で、霞ヶ浦北浦等の湖沼があり、その水は利根川に通じて、水運灌漑の便が多い。農業はよく發達して、米、麥の産出が多く、また大豆、蕎麥を産する。海岸は出入が少く、殊に南半の鹿島浦沿岸は沙濱が長く弓形になつて連る。その沿海は鰯、鯉等の漁利に富み、漁村では鰹節の産が少くない。

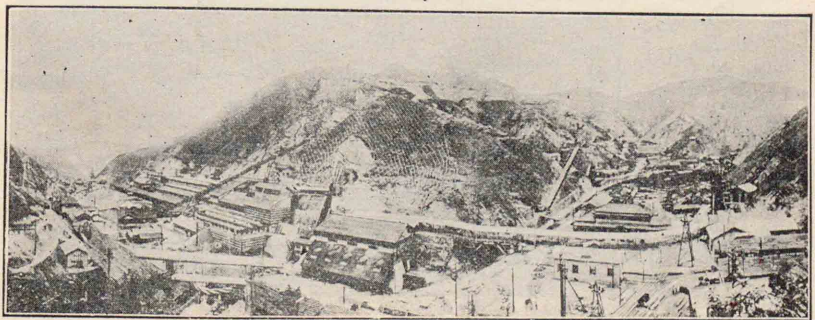
北部には阿武隈山脈が奥羽地方から延びて来て、石炭、大理石を出す。日立、鑛山には銅を産し、また規模の宏大な製鍊所があつて、金、銀製鍊の額は内地に傑出してゐる。平野の中には筑波山が屹立し、その北方には花崗石を産する。

米、麥、大豆、蕎麥

日立鑛山採鑛所の一部

日立鑛山ではまた各地の鑛石を買ひ集めて盛に製鍊する。

筑波山上には故山階宮殿下の創設せられた測候所がある。

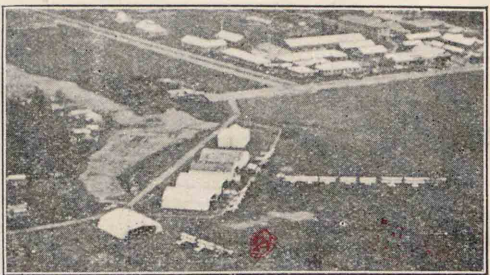


水戸市には弘道館・常磐公園等がある。市の附近に高等學校がある。

霞ヶ浦海軍飛行場

霞ヶ浦の西南岸に近く海軍飛行場がある。

鹿島神宮には武甕槌神を祀る。



紬の産地として名高い。

海岸には湊、平潟等の漁港があり、湊附近の大洗岬は風景が壯絶である。また鹿島には鹿島神宮がある。

### 五 埼玉縣

管轄

武蔵の一部

西半の秩父地方は山が多く、その間に秩父の盆地があつて、秩父

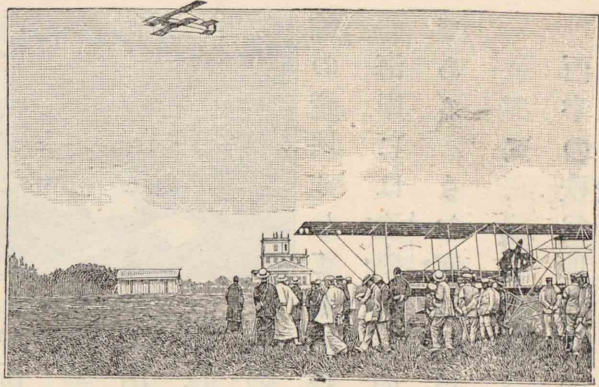


浦和に高等學校がある。

所澤陸軍飛行場

鐵道は幹線の外に東北線を横きつて縣の東部を走る東武線がある。また秩父電氣鐵道は熊谷から分れて秩父地方その他に至る。

所澤に陸軍の氣球隊及び航空學校がある。



が盛大で、その附近は甘藷の産地として名高い。その南方の所澤には陸軍の飛行場がある。

### 六 群馬縣



上野全部

絹を産する。東半は平野が遠く連り、麥の産が多く、養蠶機業も甚だ盛で繭絹織物、木綿織物の産が少くない。南部の浦和は縣廳の所在地である。

東北線は東京から來て、浦和を過ぎ、その北方の大宮から高崎線を分岐する。大宮には鐵道工場があり、また武蔵一の宮と稱する氷川神社がある。高崎線に沿ふ熊谷は蠶業の中心になつてゐる。浦和の西北平野の中にある川越市人口は養蠶機業

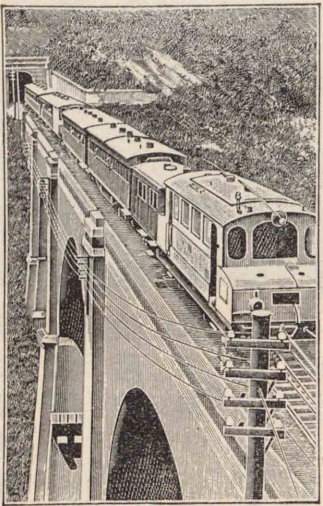
赤城・榛名・妙義を上野の三山といふ。

妙義山の石門

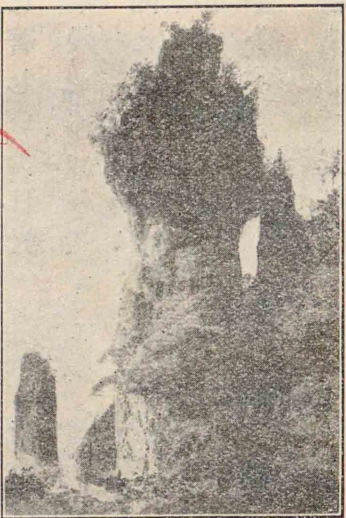
西境の白根火山の麓に草津温泉がある。

アプト式軌道と電氣機關車

碓氷峠には二十六箇のトンネルがある。傾斜が急なので汽車はアプト式軌道を電氣機關車によつて上る。



三面山に包まれ、たゞ東南の一部のみ平坦である。赤城・榛名の兩火山は縣の中部に聳え、榛名は風光の美を以て著れ、有名な伊・香・保温泉もある。西南部の妙義山は奇岩の多いので名高い。利根川は縣の中央を南流する。縣下は一般に養蠶機業が甚だ盛で、都邑



の多くはこれを業とする。前橋市人口は平野の中にあつて、利根川に沿ひ、縣廳の所在地で、繭生絲の市場である。西南の高崎市人口は交通の要點で、信越線はこゝから西に向ひ、碓氷峠の險を上る。富

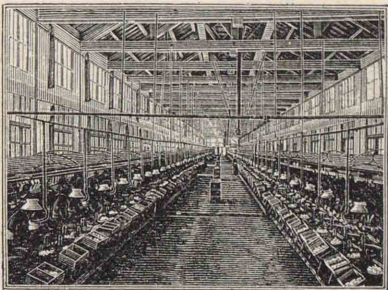


桐生市に高等工業  
學校がある。

上、富岡製絲  
場

下、日光火山

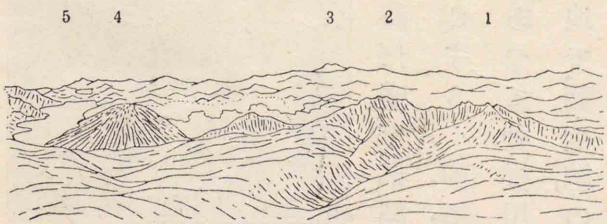
- 1 赤 薙 山
  - 2 女 靨 山
  - 3 白 根 山
  - 4 男 體 山
  - 5 中 禪 寺 湖
- 東部の那珂川流域には、大田原・喜連川等の都邑がある。
- 那須山の南麓には那須野の草野がある。近年開墾が進んで耕地が次第に増加した。



岡には著名な製絲場がある。前橋から東に向ふ兩毛線上の伊勢崎は銘仙の産地で、桐生市人口は絹織物の産が關東第一である。

### 七 栃木縣 管轄 下野全部

西部から北境にかけて山岳が連つてゐる。その多くは火山で、日光火山の主峯男體山が殊に著しい。日光山中には、風光の秀絶な中禪寺湖・華嚴瀧等があり、また東照宮は建築の美で内外に聞えてゐる。日光の西南足尾三三には有名な銅山がある。北部には高原那須等の火山があつて、鹽原・那須等有名な温泉が多い。關東平野は縣下に彎入して、鬼怒川



縣下銅・大麻・絹綿  
交織物の産額は全  
國第一位を占めて  
ゐる。

足尾銅山  
附圖は坑内  
鑿岩機使用  
の狀

宇都宮市の附近に  
高等農林學校があ  
る。

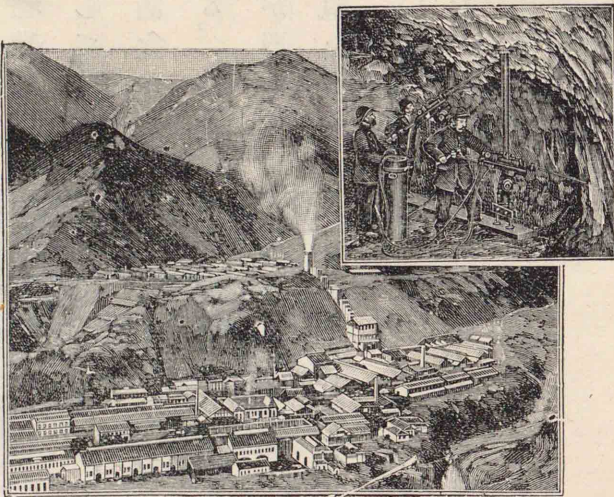
宇都宮市から日光  
線が分れてゐる。  
この線に沿つて大  
麻取引の中心地鹿  
沼がある。

足利市には足利學  
校の舊蹟がある。

那珂川はその中を南流し、鬼怒川の上流には水力による發電所があつて、東京市に電力を供給し、那珂川の沿岸には、煙草の産が多い。また中部の平野には大麻干瓢を産し、南部には養蠶機業が盛である。東北線は小山で水戸兩毛の二線と會し、縣廳の所在地宇都宮市人口を過ぎ、那須野を経て、福島縣に出る。宇都宮市の附近に第十四師團司令部がある。兩毛線に沿ふ栃木人口は繭生絲を集散し、足利市人口には絹綿交織物及び絹織物の産が多い。

(圓萬百三千三約・斤萬百二十九約地内)較比額産銅

|   |   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|---|
| 銅 | 鐵 | 炭 | 石 | 兵 | 其 |
| 水 | 線 | 田 | 分 | 川 | 餘 |

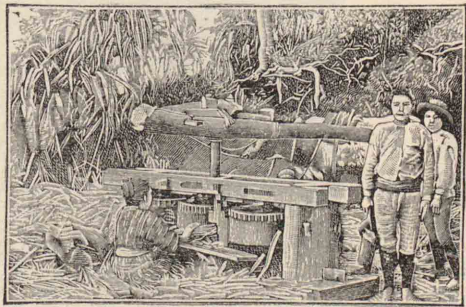




### 八 南方諸島

關東地方の南方太平洋中に多く火山島から成る伊豆諸島、小笠原諸島、硫黄諸島がある。また遙に東南に離れて南鳥島の珊瑚礁がある。これらはいづれも東京府に屬してゐる。

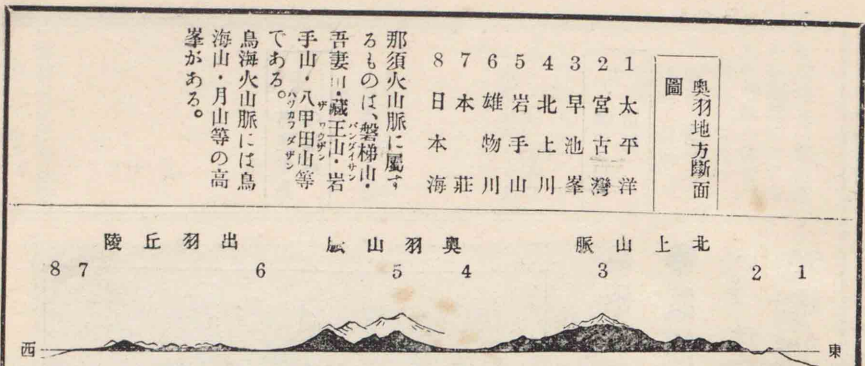
伊豆諸島中の大島には、三原山の活火山があり、八丈島には、絹織物、椿油を産する。小笠原諸島は遙に南方にあるから、氣候が溫暖で、甘蔗を栽培して砂糖を製し、また海龜を産する。その中、父島の二見港は、近海唯一の良港で、南洋諸島に至る汽船の寄港地となつてゐる。太平洋海底電信線は東京から來て、二見港を經、遠く南方のグム島に至り、終にアメリカ合衆國に達する。南鳥島には信天翁を産する。



小笠原島の製糖

大島の波浮は火口港である。小笠原島には、ヨーロッパ人の歸化したものの子孫が少くない。

奥羽地方



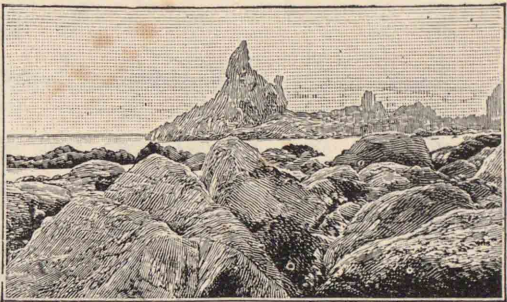
### 第二節 奥羽地方

●位置 本州の東北部を占め、東は太平洋に面し、西は日本海に臨み、北は津輕海峡を隔てて、北海道本島に對する。

●地形 奥羽山脈は中央を南北に走つて、太平洋と日本海との分水嶺となり、山脈中の高峯は多くは火山で、那須火山脈に屬する。太平洋岸には、南に阿武隈山脈、北に北上山脈があつて、奥羽山脈との間に細長い平原を挟み、阿武隈川、北上川がこれを灌ぎ、東北線がこれに沿うて走る。日本海岸には越後山脈、出羽丘陵が南北に連り、鳥海火山脈の火山がこれに沿うて噴起し、この一帯の山脈と奥羽山脈との間には、數箇の盆地があつて、阿賀川、最上川、雄物川、米代川等は各、その水を集めて、日本海に入る。奥羽



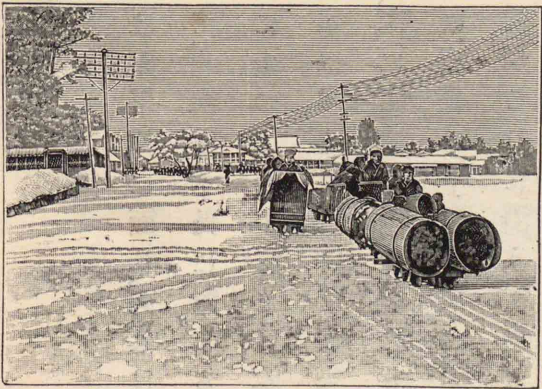
上、男鹿半島の海岸



下、雪の秋田市街

線はこれらの盆地の間を貫いて走る。海岸は北に下北津軽の二半島が突出して、陸奥灣を圍み、東に牡鹿半島が、仙臺灣を、西に男鹿半島が八郎潟を抱く外は、大きな出入がないが、太平洋岸には岬灣が出入して、鋸齒状になつてゐる處がある。日本海岸は一般に出入が極めて少く、砂丘が多い。

③氣候。奥羽地方の冬は本州中最も寒い。殊に日本海斜面の地は降雪が多く、天候がわるくて、海運の不便が少くない。

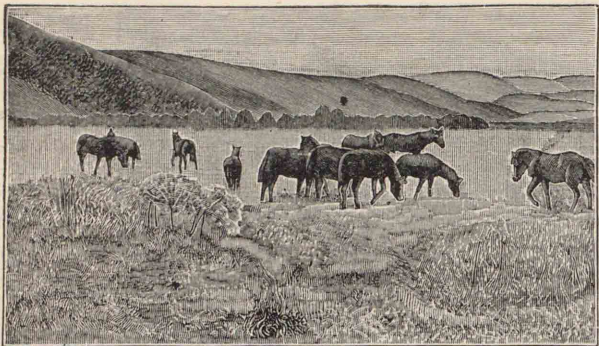


奥羽地方は東山道の東北部にあたる左の七國を含む。

磐城 岩代  
陸前 陸中  
陸奥 羽前  
羽後

人口約五百八十万、人口一萬以上の市町が二十九ある。

福島縣の白河牧場



常磐炭田は茨城縣に連つてゐる。

④區劃。行政上六縣に分たれる。南端に福島縣があり、その北方太平洋斜面に宮城・岩手の二縣、日本海斜面に山形・秋田の二縣がある。そして北端には青森縣がある。

この地方は北海道樺太に次ぎ、列島中の人口の稀薄な處で、面積は本州島の七分の二に餘つてゐるが、人口はその七分の一にも満たない。中にも岩手縣は密度が最も小である。従つて都邑も多くない。

⑤産業。産業は農業がおもで、米・大豆・馬鈴薯を産する。また福島・山形二縣は蠶業が盛で、太平洋側の四縣は牧場が多く、馬を産する。鑛産は秋田・岩手・福島に盛で、秋田の銅・銀、岩手の鐵は殊に多く、福島、常磐炭田、秋田の油田



も知られてゐる。北部の三縣は林産と林橋とで名高く、太平洋岸は水産に富んで、金華山沖には捕鯨が行はれる。

●交通。東北線は阿武隈北上の河谷を走り、奥羽線はこれから分れて西部の諸盆地を貫き、共に青森に至り、連絡船によつて北海道本島の鐵道と結ぶ。南部には太平洋岸を走る常磐線がある。また磐越陸羽横黒の三線は東西兩斜面を連絡する。汽船の往來は東岸には多いが、西岸には少い。

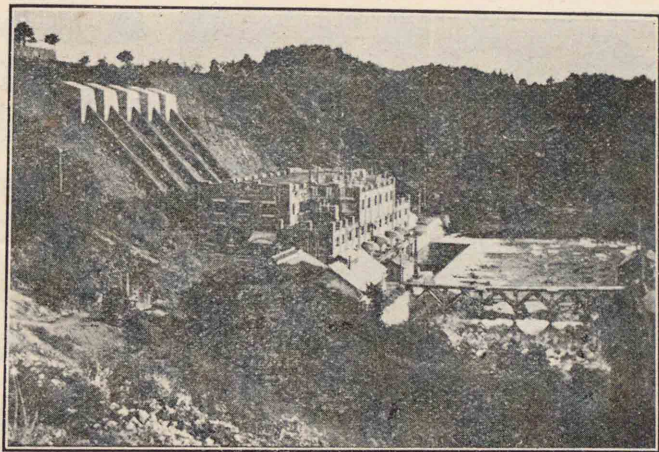
一 福島縣

管轄

磐城の大部  
岩代全部

東部には高臺性の阿武隈山脈があり、中部には那須火山脈に屬する吾妻

猪苗代湖附近の日橋川水力發電所

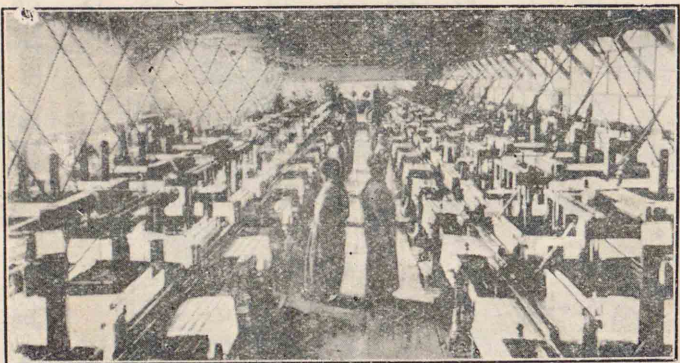


白河の西方に軍馬の牧場がある。

川俣の羽二重工場

福島市の北に飯坂の温泉がある。福島市の附近に高等商業學校がある。川俣の東北には靈山の史蹟がある。

磐梯等の活火山が聳え、磐梯山の麓には數箇の湖水がある。中にも猪苗代湖は最も大きく、附近にはその水力による大發電所が設けられ、電力は遠く東京に送られてゐる。この火山脈の東には、阿武隈川が南から北に流れて、その沿岸の平野には養蠶牧馬が盛に行はれ、また葉煙草を産し、都邑が多い。白河は古來奥羽の門戸にあたり、馬市で名高く、附近には古關の址がある。郡山市人口三九〇は鐵道の交點に位して、製絲業が盛である。福島市人口三六〇は縣廳の所在地で、また繭生絲の取引を行ふ。奥羽線はこゝから起つて山形縣に向ふ。福島の東南川俣には羽二重の産が多く、三春は馬の産地として名高い。



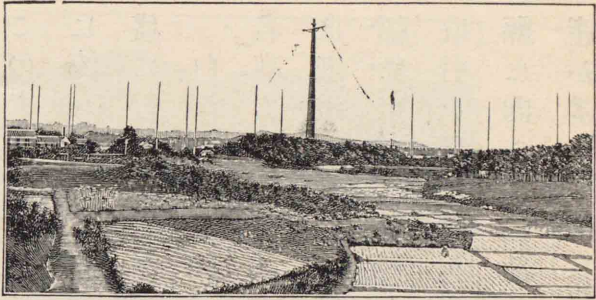


磐城無線電信局(原町の發信所)

會津盆地には櫻桃の産が多い。

若松市の附近には製鍊その他の工場がある。市の郊外飯盛山には白虎隊の墓、東山には温泉がある。

喜多方には漆器を産する。



松喜多方を経て新潟縣に出る。

### 二 宮城縣

管轄 陸前城の大部

西境の奥羽山脈には藏王山、駒ヶ岳等の火山が聳え、また東には北

阿武隈山脈の東麓の海岸は、常磐線の通じてゐる所で、平三附近の地は多く石炭を出す。原町と富岡には規模の壯大な磐城無線電信局があつて、アメリカ合衆國西海岸その他との間に通信が行はれる。中村には相馬焼を産する。縣の西半は山岳が多く、會津盆地がその中に横はる。阿賀川はこの地方の水を集めて、新潟縣に入る。盆地の中にある若松市三九には若松城址がある。市には漆器を、附近には陶器を出す。平から來た磐越線は郡山で東北線と交り、若

牡鹿半島の南端に近い金華山島には燈臺がある。その附近は鮎鱒の漁場で、遙に東の沖では鰯が獲れる。鬼首に有名な間歇泉がある。

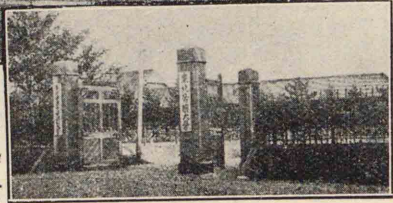
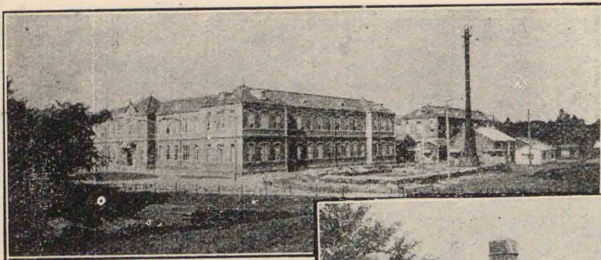
下、松島

宮戸島の大高森から見た景色。

東北帝國  
上、大學  
(附圖は正門)

東北線上の小牛田から分岐した陸羽線は奥羽山脈を横ぎって山形縣に入る。

仙臺市に第二高等學校・高等工業學校がある。



上山脈が延びて、終に牡鹿半島となる。東西兩山脈の間から仙臺灣岸にかけては仙臺平野が展開して多く米を産する。松島灣は仙臺灣の支灣で、大小幾多の島がその中に散在し、風景の美で名高い。東北線は阿武隈川の口に近い岩沼で、常磐線を合せ、仙臺を過ぎて北進する。

仙臺市人口は奥羽第一の都會で、縣廳第二師團



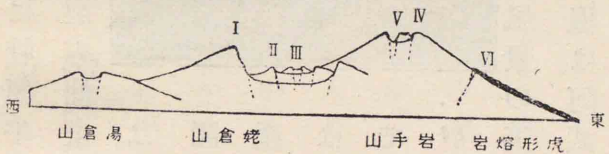
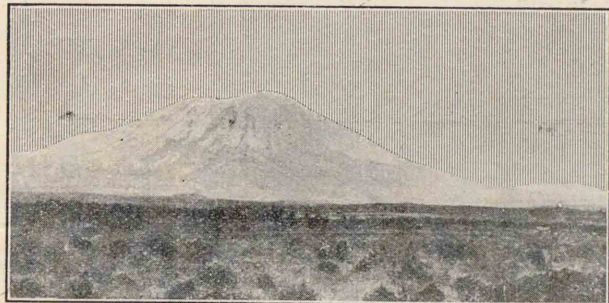


鹽竈には鹽竈神社がある。またその附近に多賀城址がある。

上、雪の岩手山

下、岩手山断面圖

數字は噴火の順序を示す



司令部控訴院及び東北帝國大學等がある。仙臺平と埋木細工はその名産として世に知られてゐる。鹽竈は松島灣の岸にある港市で、鐵道の支線が通じてゐる。北上川の口には石巻の港市があるが、海が浅いので大船を寄せることが出来ない。されば大船は牡鹿半島の荻濱に寄港する。

### 三 岩手縣 管轄

陸前陸奥の各一部陸中の大部

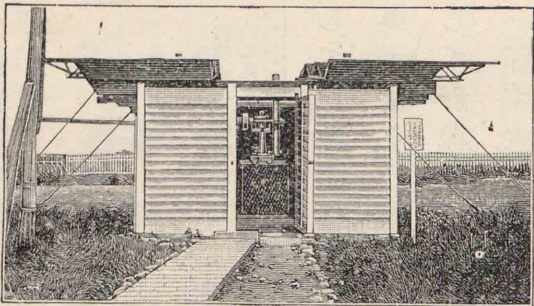
北上山脈は縣の東半を占め、早地峯はその高峯である。また西境には奥羽山脈が連り、岩手山がこれに接近して高く聳える。北上川はこの兩山脈の間を南に流れ、馬淵川は北に向ふ。沿岸の平野は牧馬がよ

中尊寺には藤原時代に於ける建築の標本として著名な金色堂がある。

下、小岩井農場

上、水澤緯度観測所の天頂儀

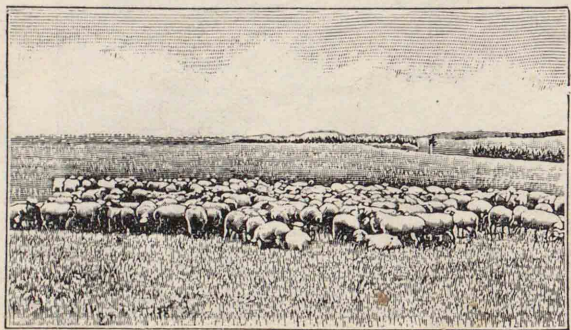
近海には鮪、鮑、烏賊等を産する。



く行はれてゐるが、耕作はまだ普及しない。

東北線はこの平野を縦走する。一、關は南端の門戸にあたり、その北方に平泉の史蹟があつて、中尊寺には今尙藤原時代榮華の名残を留めてゐる。水澤には緯度観測所がある。盛岡市人口は縣廳の所在地で、高等農林學校が置かれ、また鐵瓶を産する。

海岸地方は北上山脈の支脈が直に海中に突出し、その間に大船渡、釜石、宮古等數多の良灣を造つてゐる。しかしこれらはいづれもその後方に険しい山を負うてゐる



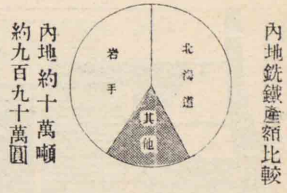


釜石鑛山の外、縣の西部に仙人鑛山がある。

津輕半島には羅漢柏の良材を産する。

白鳥群

野邊地灣の西岸には白鳥の渡來地がある。毎年十月頃數千羽の白鳥はここに來り、翌四月頃北に向つて去る。湖沼には東部の海岸に小河原沼、西部の海岸に十三湯がある。また十和田湖には鱒を産する。



から、内地との交通に不便である。釜石鑛山は鐵鑛の産出が多く、釜石人口には製鐵所が設けられてゐる。

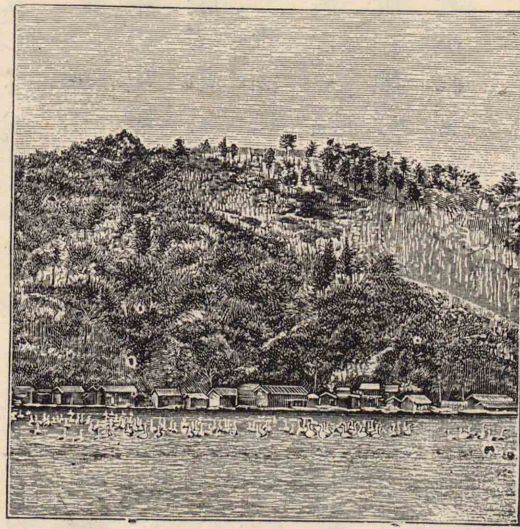
四 青森縣

管轄

陸奥の大部

本州島の東北端に位し、三面海に臨み、下北津輕の兩半島は北に斗出

して、その間に陸奥灣を抱く。陸奥灣はその南部に夏泊崎が突出して、青森野邊地の二支灣を造る。那須火山脈は縣の中部に八甲田山を、下北半島に恐山を起してゐる。西方津輕平野の中には別に岩木火山津輕富士が屹立し、南境の山中には十和田湖の勝地がある。

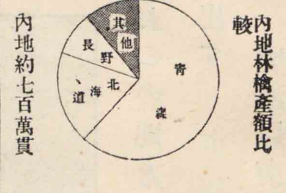


本縣馬鈴薯の産額は府縣中第一位を占めてゐる。

青森市は東京を距ること約百九十里。

十和田湖

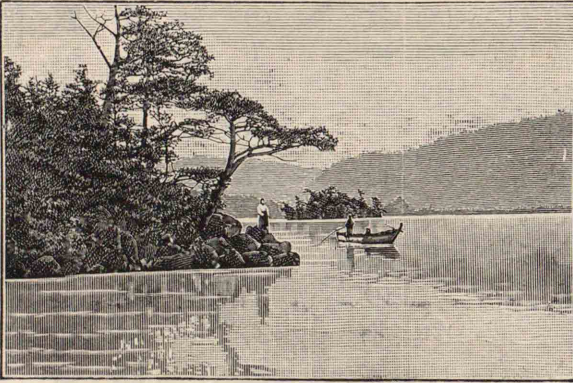
弘前市に高等學校がある。陸奥灣の東南岸に野邊地港がある。下北半島に安部城鑛山があり、銅、鉛に金、銀を産する。



ある。東部の平原は牧馬が最も盛で、三本木七戸の牧場は殊に著名である。津輕平野は岩木川に灌がれ、農産が多く、また林檎の産が夥しい。

青森市人口は陸奥灣の西南岸に位し、縣廳の所在地

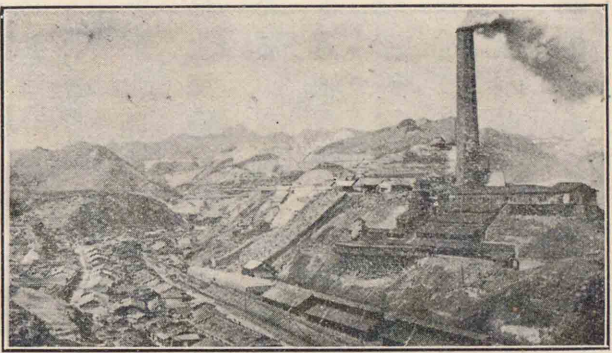
で、東北奥羽兩鐵道線の終點にあたり、また北海道に渡る要地で、開港場となつてゐる。弘前市人口は津輕平野の中央にある舊城市で、第八師團司令部を置かれ、また津輕塗、木通細工を産する。大湊は陸奥灣の東北隅に位して、海軍要港である。縣の東南部馬淵川の下流には八戸の都邑がある。





八郎宮は  
米代川のほきあす砂か河川  
突進の方向を西北浪同との  
南係工西南に砂洲をなすし  
雄物川の土砂はまといし河水  
突進の方向は初川をなすし  
こに突進の方向は初川をなすし  
傷と相違り  
生るるに河川をなす  
一箇の河川をなす

小坂鑛山



たこの地方の山林には多く杉を産し、河口の能代港で製材して積出す。  
中部以南の地はおもに雄物川の流域で、その下流に臨んでゐる

### 五 秋田縣

陸中の一部  
羽後の大部

東境には奥羽山脈が長く連り、中央には森吉火山がある。日本海岸には男鹿半島が突出して寒風山を戴き、八郎瀉を抱く。半島の海岸は風景の美しいここで知られてゐる。

米代川は數箇の盆地を貫いて縣の北部を流れ、その流域には鑛山が甚だ多く、中にも小坂は銅銀の産に富む。尾去澤不老倉阿仁等はいづれも有名な銅山である。ま

雄物川の流域には荒川及び日三市の銅山がある。秋田市には鑛山専門學校がある。市には大路を産す。

能代港に於ける製材

雄物川の上流地方には横手・大曲の名邑がある。横手から横黒線が奥羽山脈を横きつて岩手縣に出る。羽越線は秋田市から海岸に沿うて南進する。

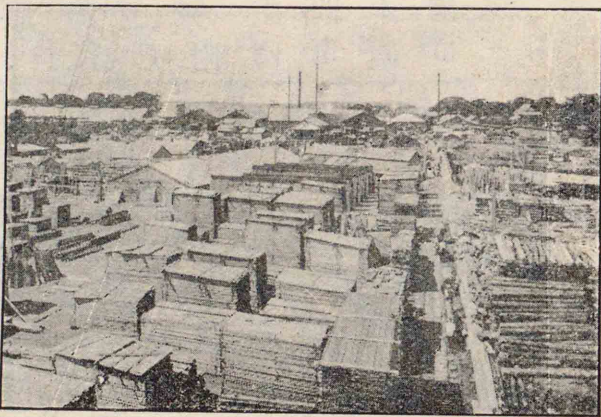
秋田市人口は縣廳の所在地で、絹織物を産する。市の北方には石油を産し、またアスファルトを産する處がある。土崎港には鐵道工場製油工場等がある。その港は冬季は西北風のため碇泊に不便なので、船舶は男鹿半島の船川港に着ける。奥羽線は青森縣から來てほゞ米代雄物の二川に沿うて山形縣に出る、また支線を小坂その他に通ずる。

### 六 山形縣

管轄

羽後の一部  
羽前の全部

東境には奥羽山脈が連り、西部もまた丘陵が連つて、北に鳥海山南に月山がある。兩山脈の間には米澤山形等の盆地が南北に並び、最上川はこれを貫いて北流し、西に折れて日本海に入る。そ





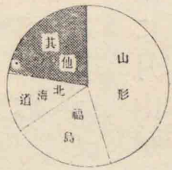
下、酒田港

米澤市に高等工業学校がある。山形市の附近に高等学校がある。また市の近くに上、山温泉及び山寺の勝地がある。

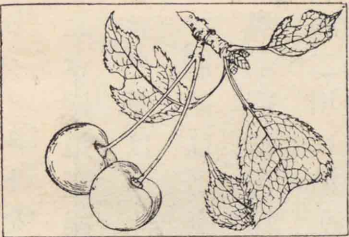
上、櫻桃

陸羽線は宮城縣から来て新庄で奥羽線と交叉し、最上川に沿って下り、二派に分れ、一は鶴岡を経て鼠ヶ關に至り、一は酒田を過ぎ、更に北方秋田縣に出る。

内地櫻桃産額比較



約四十九萬貫



で、米を集散する。

第三節 中部地方

の下流に沿うて庄内の平野がある。

奥羽線は福島から板谷峠を越えて本縣に入り、諸

盆地を貫いて秋田縣に出る。

米澤市は蠶業の中心地で、

また絹織物の産が多く、米澤織

の名は世に聞えてゐる。山形

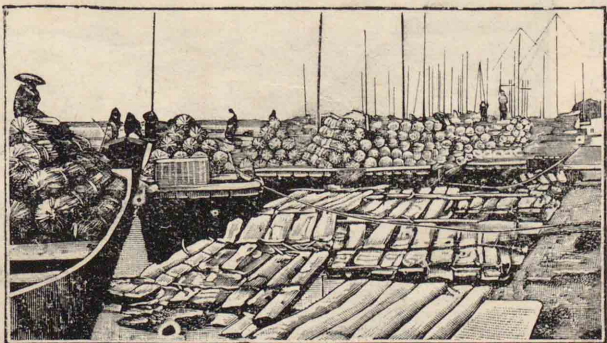
市人口は縣廳の所在地で、その附

近に多く櫻桃を産する。庄内

平野は豊沃で米を産し、鶴岡市

人口はその地方の中心である。酒

田人口は最上川の口に臨む港市



上、中部地方 断面圖

1 高嶺山 2 榛名山 3 碓氷峠 4 浅間山 5 千曲川 6 佐久平 7 飯繩山 8 松本平 9 飛驒山脈は日本アルプスとも呼ばれて、夏季に登山するものが多い。

下、鎗ヶ岳

1 信濃 2 飛驒 3 濃 4 飛驒 5 高 6 地 7 地 8 飛驒 9 高 地



●位置 東は關東に西は近畿に、北は北陸に界し、南は太平洋に面して、本州の中部に廣い地域を占めてゐる。  
●地形 この地方は南彎北彎兩山系の相會する所で、北彎山系は關東山脈となり、南彎山系は高大な數條の山脈となつて横はる。即ちこの地方の中央を南北に走る飛驒山脈は、本州第一の高山脈で、鎗ヶ岳、白馬岳等の高峯を戴き、四時殆ど白雪の絶えることがない。この山脈の西には飛驒高地が連る。東南には木曾赤石の兩山脈が並び走り、殊に赤石山脈はその高さ飛驒山脈に劣らず、その餘脈





富士山上の噴火口

富士山の最高點は海拔約三千七百米に達する、静岡縣の須走・御殿場・大宮及び山梨縣の吉田を著名の登山口とする。



は西南に延びて太平洋岸に渥美半島を造る。また西方近畿の境には伊吹山脈がある。この地方は最も火山に富み、南北兩山系の間には富士火山脈が南北に走り、天城・富士・八岳・飯繩等の火山を噴き出してゐる。また關東の境には淺間山の活火山を起し、飛驒山脈の上には御岳・乗鞍岳等が峙つ。

おもな河川は中央高地から出て、南北の兩斜面を流れる。即ち日本海斜面には内地第一の長流信濃川があり、長さ九十四里に及ぶ。太平洋斜面には富士・大井・天龍・木曾の諸川があるが、多くはその流が急で、水運の利に乏しい。

諏訪湖上のスケート

諏訪湖には冬季スケートの遊戯が盛に行はれる。中部地方は東海道の六國と東山道の三國とを含む。その國名は左の通り。

尾張 三河  
遠江 駿河  
甲斐 伊豆  
美濃 飛驒  
但し伊豆七島を除く。



海岸は東に駿河灣があり、伊豆半島はその東に突出してゐる。

西には伊勢海が彎入し、知多渥美の二半島はその東に横はつて、別に支灣の三河灣を抱く。駿河灣と伊勢海との間は海岸が平滑で、屈曲が少い、その海面を遠州灘と稱する。沿海の地は概ね平坦で、殊に伊勢海の北岸、木曾川下流の地には有名な沃野がある。これを名づけて濃尾平野といふ。

●氣候 太平洋岸は温暖で、雨量に富み、保養に適する處が多く、伊豆半島の南部は特に暖である。山間の地は冬寒がやゝ強く、湖水は結氷するに至る。

●區劃 行政上五縣に分たれる。静岡・愛知の二縣は海岸に連り、岐阜縣は濃尾平野の北から飛驒高地までを含む。長野縣は北部東半の高



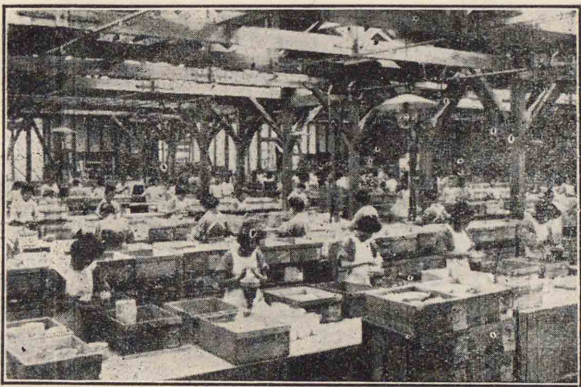
人口約六百八十萬  
で人口一萬以上の  
市町五十五ある。

下、木曾地方  
の林業

上、日本陶器  
會社工場

處に最大の面積を占め、山梨縣  
はその東南に位する。

⑤ 産業。海岸地方は土地がよ



く開け、  
農業は  
濃尾平  
野に最も盛である。静岡縣は製茶の産が  
極めて多く、水産業もまた盛である。山岳  
の地方には林産が甚だ豊富で、木曾森林は  
わが國第一と稱せられてゐる。蠶業は一  
般に盛で、長野・愛知二縣の繭生絲は産額が  
全國に傑出してゐる。この他紡績・製紙等  
の工業は愛知・静岡等の諸縣に行はれ、陶器



は多く濃尾平野の東部から出る。

⑥ 交通。東海道線は關東地方から來て濃尾平野を貫き、關西線は  
こゝから分れて西南に向ひ、いづれも近畿に入る。中央線もまた  
關東地方から來て山梨・長野の二縣を經、木曾川に沿うて下り東海  
道線に合する。また本州を横斷する信越  
線があつて、中央線と連絡してゐる。海上  
には汽船の往來が頻繁で、清水・名古屋の二  
港はそのおもな發着點である。

一 長野縣  信濃全部

西境には飛驒山脈が高く聳え、南部にも  
木曾・赤石の山脈が高く連り、東境には白根・  
淺間等の活火山がある。また富士火山脈  
は縣の中央に連る。これらの山地の間に



飛驒山脈白馬  
岳の雪溪

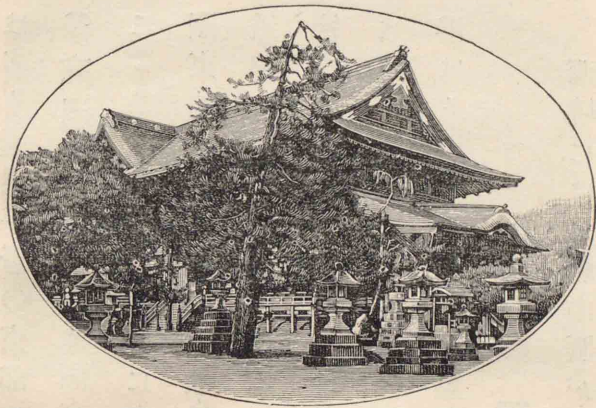
峠の有名なものに  
は、縣内に和田峠、  
鹽尻峠、鳥居峠等、  
縣境に碓氷峠、野  
麥峠、針ノ木峠等  
がある。



碓氷峠を上げれば輕井澤がある。海拔約千米の高處に位して避暑地として名高い。

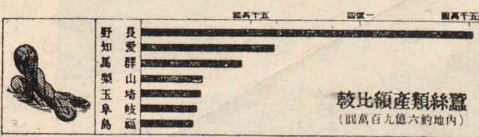
上、善光寺

上田市には蠶絲専門學校がある。また上田紬を産する。長野市の西南にある娵捨山は觀月の名所である。長野市の東方に碓氷の温泉がある。



は谷狀の盆地があつて、大河がこれを灌ぐ。蠶業は到る處に盛である。

東部には信濃川の上流千曲川が北流し、その沿岸に佐久平、上田盆地、善光寺平等があつて、碓氷峠を上つて來た信越線がこれに沿うて走る。上田盆地の上田、市人口は繭の集散地である。善光寺平の長野市人口は縣廳の所在地で、また有名な善光寺がある。千曲川とその支流犀川との會點には川



松本市に高等學校がある。松本市の西方には梓川の畔に上高地の温泉がある。

諏訪盆地には寒天の産が多く、支那へ輸出する。

寒天製造

天龍川には天龍峽、木曾川には磨崖ノ床の勝地がある。岡谷は湖水の溢れて天龍川となる處にある。

中島の古戰場がある。

西部の松本平では松本市人口がその中心地で、繭を集散する。大町は飛驒山脈登山の要點にあたる。縣のほぼ中央には諏訪盆地があつて、諏訪湖を湛へ、その水が西に溢れて天龍川となる。上諏訪、下諏訪は湖岸の都邑で、温泉がある。岡谷には製絲工場が極めて多い。飯田は南部の伊那谷の名邑である。

また縣の西南部には木曾谷があつて、有名な森林を有し、殊に檜を以て著れ、福島はその中心である。

## 二 山梨縣



甲斐全部

東境には關東山脈が連り、西境には赤石山脈があつて、南と北と

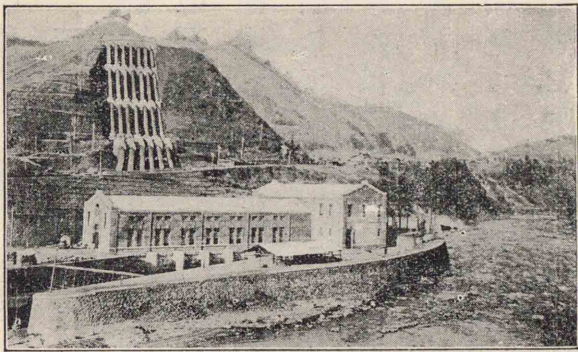




には富士八ヶ岳の二大火山があり、金峯山がまた北方に聳え、中に甲府盆地が横はつてゐる。笛吹釜無等の河流は盆地の中に會して富士川となり、その西南隅から峽流になつて南下し、静岡縣に出る。

その流は急で、風景がよい。

縣の東部には桂川がある。源を富士山の東北麓にある山中湖から發し、下流は神奈川縣に出る。その流域地方を郡内といひ、甲斐絹の主産地で、谷村がその中心地である。河畔には水力による発電所があつて電力を東京市に供給する。關東から來た中央線は桂川の峽流に沿ひ、猿橋を経て笹子の大トンネルを過ぎ、甲府盆地に入る。甲府市人口は盆地の中央にあつて縣廳の



桂川の水力発電所

笹子の大トンネルは長さ約一里六町あつて、わが國最長の鐵道トンネルである。

勝沼附近の葡萄畑

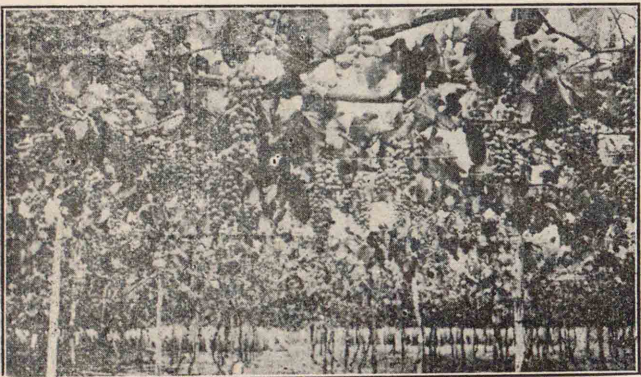
所在地である。生絲はその主産物で、また水晶細工等の特産がある。有名な甲州葡萄の栽培は盆地の東部に盛で、殊に勝沼附近がその中心である。中央線は甲府から西北に進み、八ヶ岳の裾野を走つて長野縣に出る。富士川西岸の身延山には日蓮宗の本山久遠寺がある。富士川の支流早川の畔には壯大な水力発電所が設けられてゐる。

### 三 静岡縣

管轄

伊豆の大部  
駿河遠江全部

北境には富士赤石等の高山がある。殊に富士山は本州第一の高山で、美しい圓錐形になつてゐる。北方の山地から流れる富士大井天龍等の諸川はいづれも急流で、下流には廣い積がある。

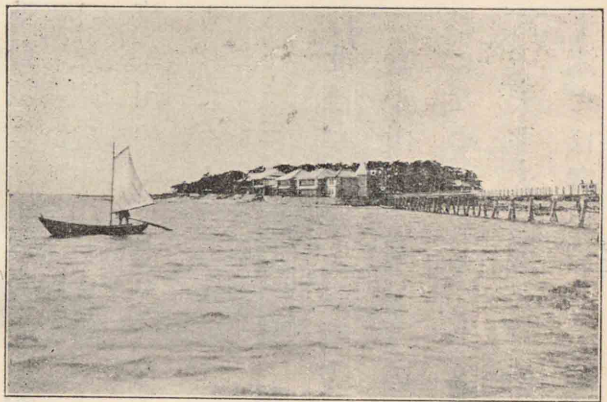




神奈川縣の國府津から熱海を經、丹那山トンネルを過ぎ、沼津附近に通ずる東海道線の新線工事は目下進行中である。

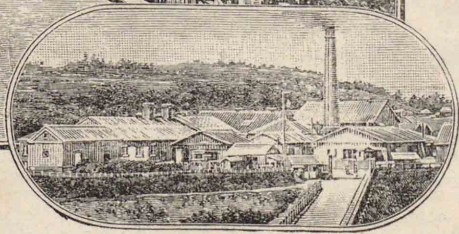
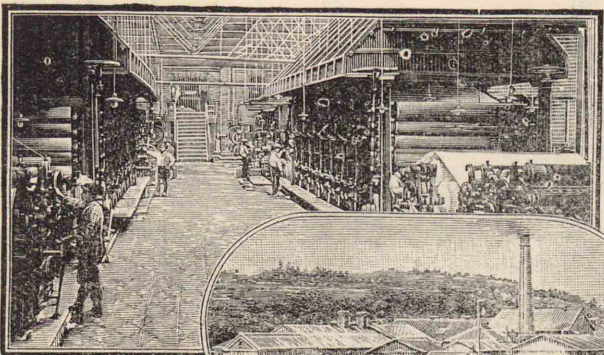
上、濱名湖

下、富士製紙會社工場



を<sup>ヲ</sup>負<sup>ヒ</sup>ひ、田<sup>ノ</sup>子<sup>ノ</sup>浦<sup>ノ</sup>三<sup>ノ</sup>保<sup>ノ</sup>松<sup>ノ</sup>原<sup>ノ</sup>の絶景、沼津市<sup>ノ</sup>三<sup>ノ</sup>口<sup>ノ</sup>興<sup>ノ</sup>津<sup>ノ</sup>の保養地、清水市<sup>ノ</sup>二<sup>ノ</sup>六<sup>ノ</sup>の開港場等がある。東海道線は富士山の東麓か

東部には山がちな伊豆半島が突出し、熱海の間歇泉、修善寺等温泉に富み、天城火山には有名な森林がある。下田は南部の港市である。駿河灣の北岸は、後に富士の秀峯



静岡市の東方にあたる久能山には東照宮がある。

静岡市の附近に高等學校がある。

茶 畑

大井川に沿ふ島田は静岡市と共に製茶の集散地である。縣下また柑橋類の産が多い。

濱松市には高等工業學校の設がある。また捺染・リボン製造等の工業が行はれる。

天龍川に沿ふ久根嶺山には銅鐵の産が多い。

らこの海岸に來て、静岡・濱松等を經、濱名湖口を渡り、後愛知縣に出る。

静岡市七九は縣廳の所在地で、漆器、竹細工の産がある。静岡以東には古來製紙の業が盛で、三極から半紙を製し、今は大宮附近に洋紙の大工場もある。静岡附近及びその以西の地は茶の栽培が頗る盛で、おもに清水港から海外に輸出する。縣下の製茶産額は府縣に傑出してゐる。

生薑絲瓜の産もまた甚だ多くて、海外に出す。濱松市八口は樂器帽子等の製造が盛である。沿海は鰹鱈等の漁獲が多く、海藻の産も少くない。駿河灣には興津鯛の名産がある。





### 四 愛知縣 管轄

三河尾張全部

東部の山地に風來寺山が聳えてゐる。

濃尾平野の都會分布

本縣には人口一萬以上の市町が二十四ある。

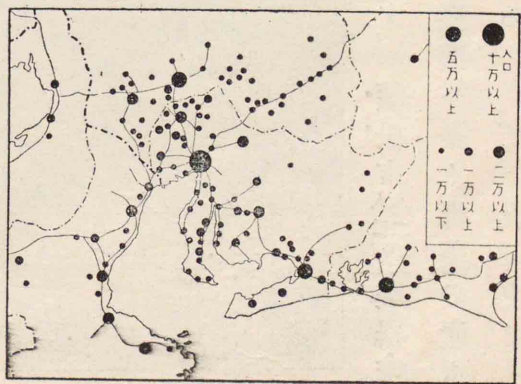
豊橋から分れる豊川線に沿ふ豊川には有名な豊川稻荷がある。

名古屋市は東京を去ること約百里。

東部は木曾山脈の餘脈が延びて来て、山地になつてゐるが、西南に向つて次第に低くなり、丘陵性の渥美、知多の兩半島は三河灣を抱き、豊川、矢作川がこゝに注ぐ。この部分には養蠶業が盛んで、多く生絲を産する縣の西半は濃尾平野の一部で、土地がよく開けて、米、麥、野菜の産に富み、各種の工業も大に興つて、都會が甚だ多い。

東海道線に沿うてゐる豊橋市七〇の附近に第十五師團司令部がある。矢作川の岸には岡崎市四三がある。

名古屋市六三九は平野の中に位し、わが國第四の大都會である。もと徳川氏親藩の居城地であつた處で、金の鯨で有名な城閣は今



市に愛知醫科大學、第八高等學校、高等工業學校、高等商業學校等がある。

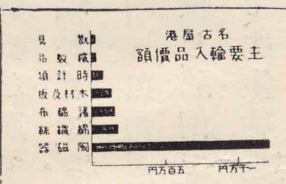
名古屋市街

縣下には繭、蠶絲、毛織物、マンチの産が多い。

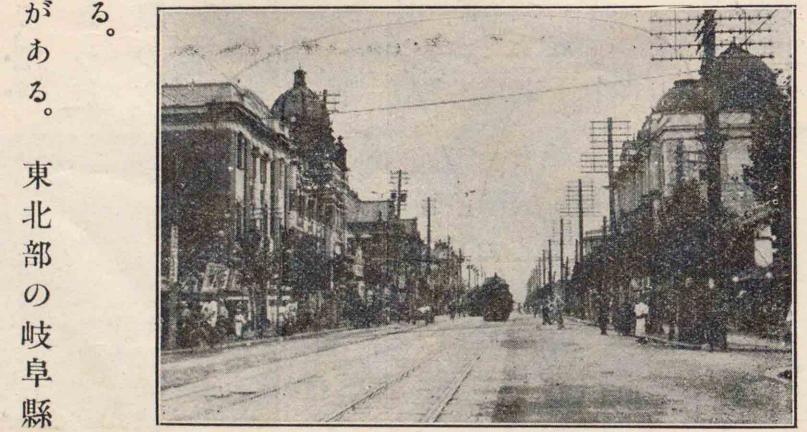
(圓萬百四千五約地内)較比類産器滋陶

|    |    |    |    |    |
|----|----|----|----|----|
| 愛知 | 岐阜 | 京都 | 佐賀 | 其他 |
|----|----|----|----|----|

は離宮となつてゐる。市に縣廳、第三師團司令部、控訴院が置かれ、また南部に熱田神宮がある。



市は商工業が極めて盛大で、時計、七寶、燒陶器、扇子等の特産を出し、紡織、車輛、兵器等の工場がある。市は東海道線、中央線、關西線の集中する處で、また電氣鐵道は四方に射出してゐる。市はまた開港場になつてゐて、盛に陶器を輸出する。



名古屋市の北方に一宮市二九がある。東北部の岐阜縣



知多半島の半田・  
龜崎は醸造を以て  
知られ、常滑には  
陶器を産する。  
有松の東南には桶  
狭間の古戦場があ  
る。

長良川の鶴飼

木曾川及び長良川  
にはその水力を利用  
する電氣事業が  
起つて、沿岸に發  
電所の設がある。  
岐阜市の附近に高  
等農林學校がある。  
また市の東南方に  
あたる各務野及び  
その附近に陸軍の  
飛行隊が設けられ  
てゐる。

と境を交へる地方は有名な陶器の産地で、瀬戸  
人口はその中心である。縣下の陶器産額はわが  
國第一に位する。知多半島には東海道線の支  
線が通じ、その終點に武豊の開港場がある。縣  
下木綿織物の産も多く、有松絞は有名である。

五 岐阜縣

管轄

美濃飛驒全部

南部の濃尾平野に屬する地方は、木曾長良掛  
妻の三大河が潤し、土地がよく肥え、米の産が甚  
だ多く、平野の北部からは美濃紙を産する。東  
南愛知縣に連る地方は製陶業が盛で、多治見は  
その中心地である。

岐阜市人口は平野の中央に位し、鶴飼で名高い  
長良川に臨み、縣廳の所在地で、絹織物、提燈、團扇



上、養老ノ瀧

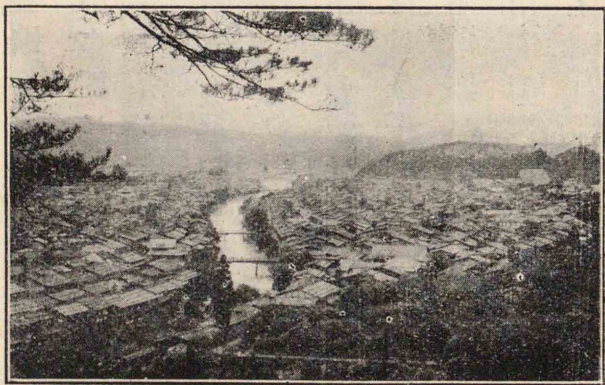


等を産する。その西方にある大  
垣市人口は米の集散地である。東  
海道線はこの兩市街を経て西に  
向ひ、古戦  
場として  
名高い關

下、高山盆地

飛驒高地の河流は  
多くは峽流で、そ  
のおもなものは北  
流する神通川・射  
水川、南流する益  
田川等である。  
飛驒高地の西部に  
は黒鉛を産する處  
がある。

原の隘路を過ぎて、滋賀縣に出る。大垣の  
西北にある赤坂には大理石を産し、また西  
南の養老公園には、有名な養老瀧がある。  
北部の飛驒高地では、高山はその中央に  
ある小盆地の中心都邑で、生絲、春慶塗、水松  
細工等の産がある。その北方の船津には  
神岡鑛山があつて、銀鉛、亞鉛鑛を産する。







第四節 北陸地方

北陸地方は北陸道七國を含む。その國名左の通り。若狭、越前、加賀、能登、越中、越後、佐渡。

北陸地方の積雪

左は小千谷の除雪、右は高田市附近のスキ。

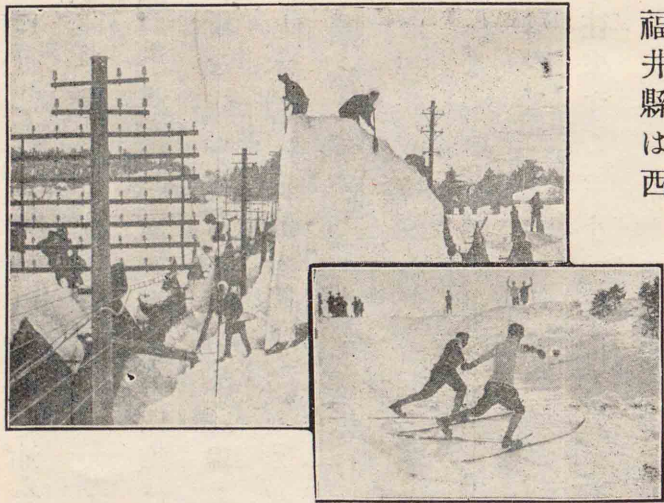
人口約三百八十五萬。人口一萬以上の市町が二十三ある。

區劃 行政上四縣に分たれる。福井縣は西

南部にあつて若狭灣の南岸から起り、石川縣はその東北に隣る地方から能登半島を占め、富山縣は石川縣の東に接して、富山灣に臨み、新潟縣は東北部に位し、佐渡を合して、最大の面積を占めてゐる。この地方は裏日本中で人文の最もよく開けた處で、人口の密度も中部の太平洋沿岸地方と大差がない。

産業 この地方は産業がよく發達し、越後富山兩平野は農業が

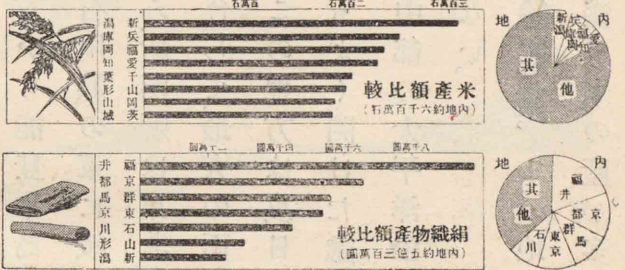
盛で、米の産が多く、中にも新潟縣はその産額が内地第一である。





鐵道は幹線から數條の支線を分つてゐる。

小濱線は敦賀から分れ、小濱を過ぎて京都府に出る。



(圓萬十六千六約地内)較比額産重二羽向輸出

|    |    |   |   |   |   |
|----|----|---|---|---|---|
| 福井 | 石川 | 京 | 神 | 其 | 他 |
|----|----|---|---|---|---|

機業は一般に盛で、殊に輸出向羽二重の産が多い。漆器、陶器、その他の工業も處々に行はれて、新潟縣には石油、金等の鑛業が盛である。

**四 交通。** 小濱、北陸、信越、羽越の四線は海岸平野を走つて、東海道線、磐越線等と連絡し、本州の表裏を結んでゐる。

は日本海岸第一の良港で、開港場となつてゐて、對岸のウラヂウオス、トクシの間には、定期航海の汽船が往來する。小濱には若狹塗の名産がある。

一 福井縣管轄 越前者狹全部

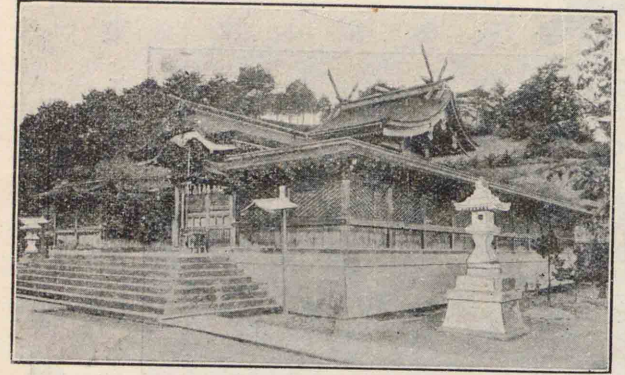
西半は若狹灣に臨み、その近海は水産に富む。灣岸は出入が多く、敦賀、二〇

九頭龍川の上流には大野の名邑、その河口には三國港がある。

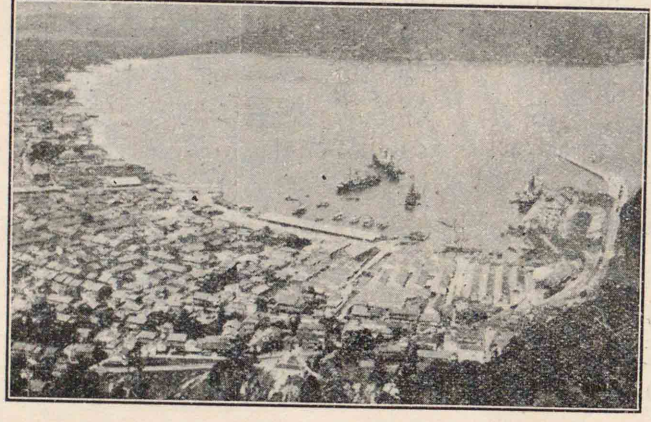
下、敦賀港

上、藤島神社

福井市に新田義貞を祀る藤島神社がある。また市の東方に曹洞宗の本山永平寺がある。福井市の附近に高等工業學校の設がある。



東半はおもに九頭龍川の流域で、土地がよく開け、産業が盛である。北陸線は滋賀縣から來て、敦賀を經、武生、福井を過ぎ、石川縣に出る。武生は鳥子、奉書等の紙類を産し、福井市は人口は縣廳の所在地で、また羽二重機業の中心になつてゐる。縣下羽二重の産額はわが國第一である。



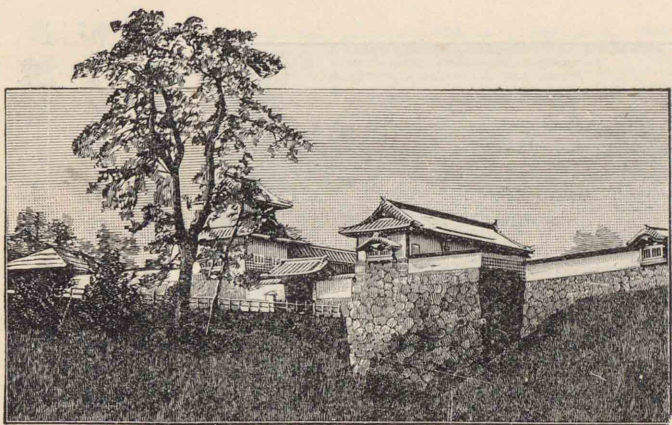


## 二 石川縣 管轄

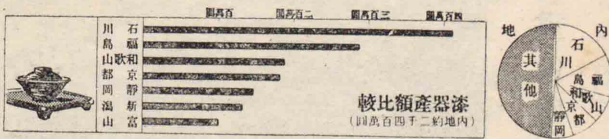
加賀能登の全部

東に南には山脈を繞らし、白山は殊に有名な高山で、手取川の水源になつてゐる。北部には丘陵性の能登半島が突出し、平野は加賀の海岸から半島の頸部にかけて横はり、河北潟等の潟湖がある。工業は縣下到處に盛で、羽二重漆器陶器等の産は殊に著しい。

北陸線は福井縣から來て平野に沿ひ、俱利伽羅峠の北を過ぎて富山縣に出る。沿道には都邑が多い。大聖寺は附近の



金澤城址



## 兼 六 園

金澤市に有名な兼六園がある。また醫科大學・第四高等學校があり、附近に高等工業學校が置かれてゐる。

山代と共に九谷焼を産し、山中からは漆器を出す。山代山中はまた温泉で知られ、小松は羽二重の産地として名高い。

金澤市人口は嘗て百餘萬石の大藩前田氏の城市であつた處で、今は北陸第一の都會となり、縣廳並に第九師團司令部が置かれてゐる。市には漆器陶器を産し、羽二重の機業も盛である。市に近い海岸に金石港がある。

鐵道によつて能登半島に至れば、七尾

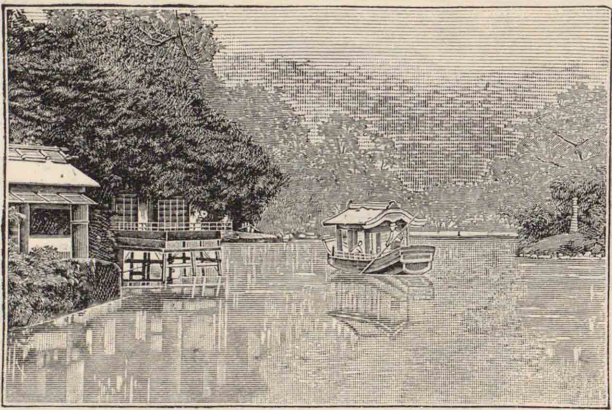
灣に七尾の開港場がある。半島の北岸の輪島には輪島塗を産する。

## 三 富山縣

管轄

越中全部

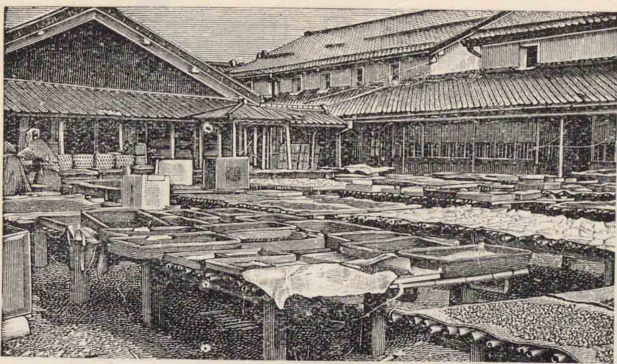
北方は富山灣に臨み、その他の三面には山を繞らし、東部の飛驒





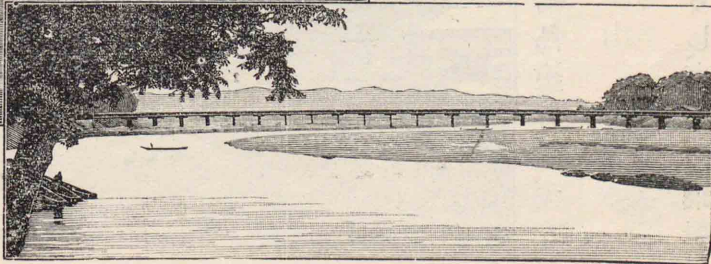
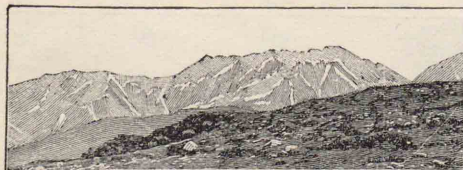
富山市の製薬工場

富山市の附近に薬學専門學校及び高等學校がある。



山脈は殊に高峻で、立山がその中でも最も著しい。河川はいづれも北流して、富山灣に注ぎ、神通川、射水川は飛驒高地から來て、その下流の沿岸には豊沃な川。富山平野が展開して、米の産が多い。黒部川は飛驒山脈の間を流れて、深い峡谷を造つてゐる。

富山市人口は縣廳の所在地で、昔から賣薬業者の



立山

高岡市に高等商業學校がある。  
魚津に近い滑川附近には蟹島賊の特産がある。

親不知は昔は旅人が海濱を歩み危険が多かつたが、今は街道が高く崖の中腹に通じ、鐵道も數多のトンネルによつて崖腹を走つてゐる。

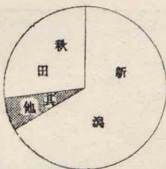
多いので知られ、また羽二重の機業が行はれる。その西方の高岡市三八には銅器と漆器を産する。また射水川流域の地は機業が盛で、その河口に近い伏木の開港場は米を積出すことが多い。東部の海岸には魚津の名邑がある。その海上には蟹氣樓の見えるところがあるので名高い。

#### 四 新潟縣



越後佐渡全部

内地石油産出價額比較



内地約四千四百萬圓

東には越後山脈、南には三國山脈が長く連り、西南には妙高山、燒山等の火山が聳えてゐる。海岸は出入が殆どなく、多くは沙濱であるが、境界附近に米山、彌彦山等の海に迫るあたりは險崖になつてゐる。

信濃川、阿賀川、荒川等は縣下を灌漑し、その沿岸の平野には米の産が極めて多い。平野の間の丘陵地には石油を出し、東山、西山、新津等の油田は殊に著れ、



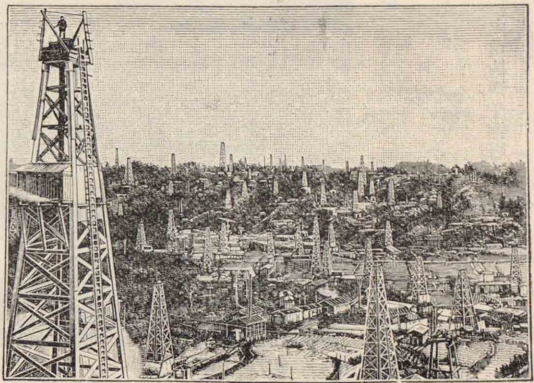
長岡市に高等工業学校がある。

上、西山油田

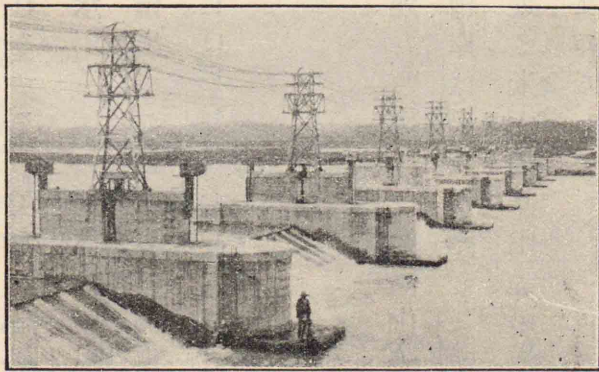
下、大河津信濃川分水路

新潟市に醫科大學及び高等學校がある。

小千谷には上布・越後縮、十日町には透綾・五泉平を産する。



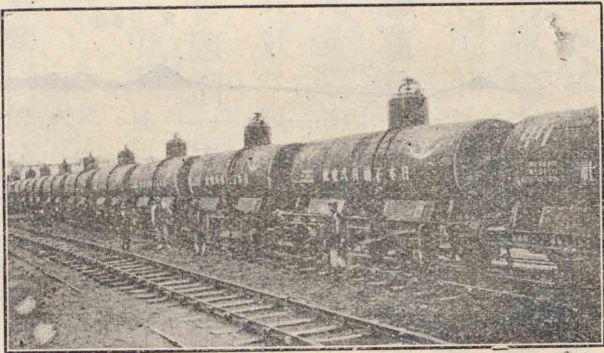
縣廳の所在地で、信越線の終點である。また開港場になつてゐるが、貿易は盛でない。川を溯れば小千谷十日町等の都邑があり、阿賀川流域の五泉と共に機業地として知られてゐる。



長岡市人口四三はその取引の中心である。信濃川は近年大河津から日本海に直通する分水路を開鑿したため、その下流の地は洪水の災を免れ、川口には土砂の堆積を見ないやうになつた。川口に臨んでゐる新潟市人口九は

村上に近い三面川は鮭を産するので名高い。長岡市及び新津にも製油工場がある。

日本石油會社油槽車



夷港は新潟の副港として開港場になつてゐる。新潟港の風浪が穏でないときは、船舶は概ねこゝに來泊する。

東岸の夷港は良港として知られ、西岸の相川には古來有名な鑛山があつて、金銀銅を産する。

られてゐる。北部には新發田村上等の名邑がある。新津は信越磐越羽越三線の會合地で、海岸の柏崎には製油工場がある。直江津は日本海の港市で、また信越北陸兩線の會合になつてゐる。その南の高田市人口二八は古來大雪で名高く、近年スキーを用ゐるものが多い。市に第十三師團司令部がある。佐渡島は二條の竝行山脈の間に一帯の平野を挟み、平野の兩端に各小灣がある。



第五節 近畿地方

●位置地形。本州の西南部に位し、東は中部と界し、また

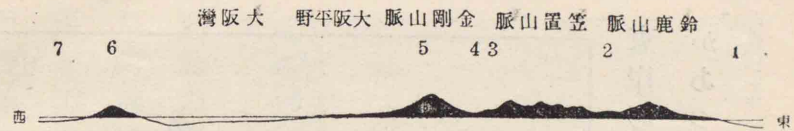
伊勢海に臨み、北は日本海に、南は太平洋に面し、西は中國地方に連り、また瀬戸内海及び紀伊水道に面する。瀬戸内海には淡路島があつて、大阪灣と播磨灘とを分ける。

南部には紀伊山脈が連り、北部には中國山脈が起伏して共に山地となつてゐるが、この兩山脈の間には低地があつて、その中を縦に走る鈴鹿比叡笠置金剛等の諸山脈のために分たれて、數個の盆地と平野とを造つてゐる。

即ち東岸には伊勢の平野があり、その西北に近江盆地があつて、中に琵琶湖を湛へ、これに隣つて山城大和の盆地がある。大阪灣の岸には大阪平野が展開し、その西方には別に播磨灘沿岸の平野がある。

1 伊勢海  
2 伊賀盆地  
3 大和盆地  
4 奈良山  
5 生駒山  
6 淡路島  
7 播磨灘

近畿地方断面



近畿地方は畿内五國・東海道三國・山陰道三國・東山道・山陽道各一國及び南海道二國を含む。その國名左の通り。

山城 大和  
河内 和泉  
攝津 伊賀  
伊勢 志摩  
近江 丹波  
丹後 但馬  
播磨 紀伊  
淡路

河流は中部の低地を貫いて流れる淀川が大阪灣に入り、南部の半島には熊野川、紀川がある。播磨灘斜面では加古川が最も大きく、日本海斜面には由良川、朝來川がある。

●氣候。南部の紀伊半島は温暖で雨量が多く、北部は冬季降雪を見る。中部の平野は晴天が多く、全國中稀に見る。良好な氣候を有してゐる。

●區劃。行政上二府五縣に分たれる。大阪府は中央にあつて、大阪平野とその附近の地を占め、京都府はその北に隣つて日本海岸に及び、滋賀縣は近江盆地を占め、奈良縣は大阪府の東に隣り、三重縣は伊勢海及び熊野灘に臨み、和歌山縣は紀伊半島の西南部にある。兵庫縣は播磨灘と日本海との間の地を占めて、淡路島もこれに屬する。この地方を通過する東經百三十五度の子午線の時刻を以てわが國の中央標準時と定める。



中央標準時標  
兵庫縣明石市に  
ある。

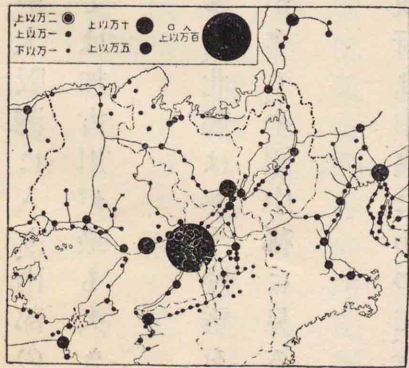
人口約九百二十  
萬。人口一萬以上  
の市町が五十一あ  
る。

近畿地方都會  
分布



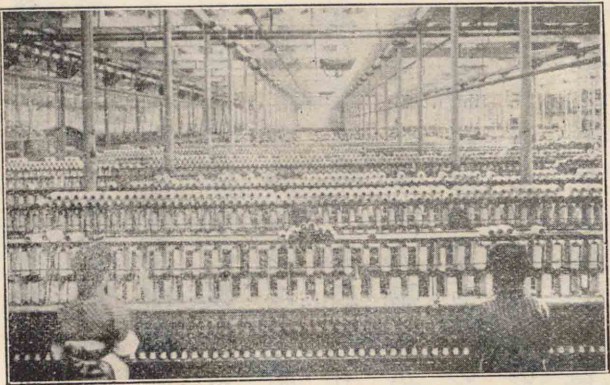
この地方は最も古くから開けた處で、明治維新に至るまで歴代の帝都を置かれた。従つて史蹟が甚だ多く、特別保護建造物や國寶に富んでゐる。人口密度は關東に次いで大きく都會の數も多い。

④産業。平野地方は地味が肥沃で、農業がよく行はれ、米、麥、粟種の産が多く、三重、京都には特に茶を産する。紀伊山脈には有名な森林があり、沿海は水産に富む。商工業は關東と相對してわが國の一大中心となり、殊に京都は美術工藝に秀で、大阪、兵庫は製造工業に長じてゐる。中にも紡績機業は最も發達し、大阪、兵庫の綿、大阪の白木綿、和歌山の綿、フランネル、滋



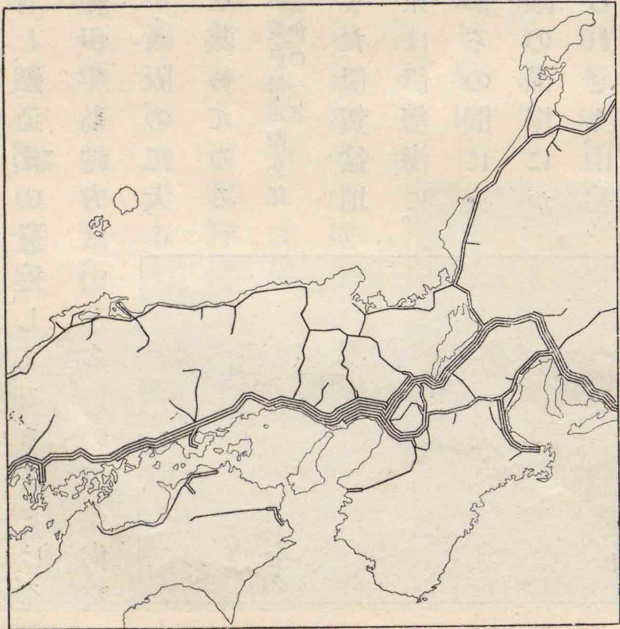
上、紡績工場  
大阪市にあるもの。

下、鐵道交通  
圖



地地方に盛で、鐵道は東海道、山陽の幹線を始め、關西線、山陰線及びこれらと接續する

漆器も名高い。交通は低



賀の麻織物等はいづれもその産出額が全國に冠絶してゐる。この他灘地方は古來酒造で知られ、京都の絹織物、陶器、和歌山の



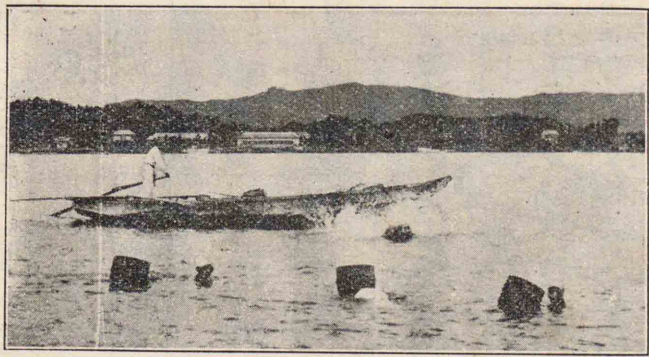
多數の支線と電車軌道とを有し、鐵道網の發達してゐることは、全國中稀に見る處である。たゞ紀伊半島地方は山が多いので、今尙交通が不便である。水運は神戸・大阪の二大港を有して、内外航路の汽船を集めてゐる。

一 三重縣

管轄

伊賀・伊勢・志摩全部  
紀伊の一部

西境には鈴鹿山脈が連り、また伊賀盆地を隔てて笠置山脈がある。東は伊勢海に、南は熊野灘に臨み、志摩半島がその間に突出してゐる。半島から熊野灘の沿岸にかけては海岸線の出入が多いけれども、山岳が背後に迫つてゐるので、土地が開けない。これに反して伊勢海の沿岸には平野が連り、雲出川・宮川等が灌漑して、米・菜種・茶等の



志摩半島の英虞灣に於ける眞珠貝の採取

志摩半島の英虞灣に於ける眞珠貝の採取

内 宮

附圖 二見ヶ浦。

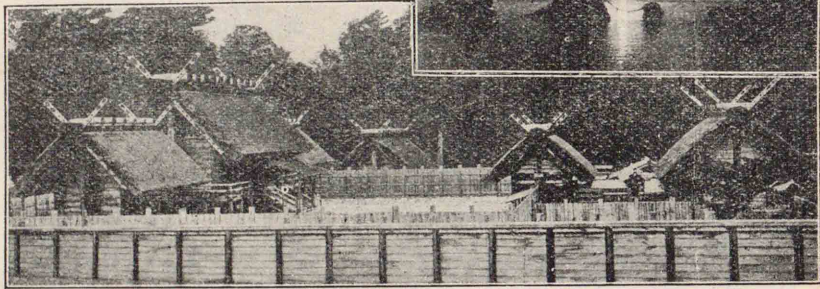
津市に高等農林學校がある。  
宇治山田市の附近に神宮皇學館がある。  
宇治、五十鈴川の畔に皇大神宮があつて内宮といひ、山田に豐受大神宮があつて外宮といひ、これを併せて伊勢神宮と呼ぶ。

農産に富み、都邑が少くない。

平野の北端、揖斐川の口にある桑名は米穀の取引が盛である。その南方の四日市・市三六は開港場で、また紡績・製紙等の工場がある。その附近には萬古焼を産する。

關西線はこれらの市街を過ぎ、龜山に至つて參宮線を分つ。これに沿うて南

すれば縣廳の所在地津市人口五二〇と、木綿織の産地松阪人口四〇〇を過ぎる。市には伊勢神宮がある。社殿は莊嚴で、參拜の人が四時絶えない。附近の海岸に二見ヶ浦の勝地がある。沿海は鰹・鰯等の水産が豊で、志摩半島の海灣には眞珠貝シジミガイの養殖が行はれ、また多く鮑を産す





琵琶湖は面積がおよそ四十五方里あつて、淡水魚族の産に富み、また小汽船は沿岸諸港を廻航して交通の便が少なくない。湖の北部に竹生島の勝地がある。瀬田川は淀川の上流である。本縣人は各地に行商するものが多く、近江商人といはれてゐる。

（圓萬千二約地内）較比額産物織麻

|    |    |    |    |    |    |     |    |
|----|----|----|----|----|----|-----|----|
| 其他 | 東京 | 大阪 | 福井 | 富山 | 奈良 | 北海道 | 滋賀 |
|----|----|----|----|----|----|-----|----|

る。鳥羽は半島の北岸にある良港で、造船業が行はれる。關西線は鈴鹿山脈を越えて伊賀盆地に入り、北に草津線に分ける。盆地の中央に上野の名邑があつて、その北方から伊賀焼を産する。關西線は更に西走して京都府に出る。

### 二 滋賀縣 近江全部

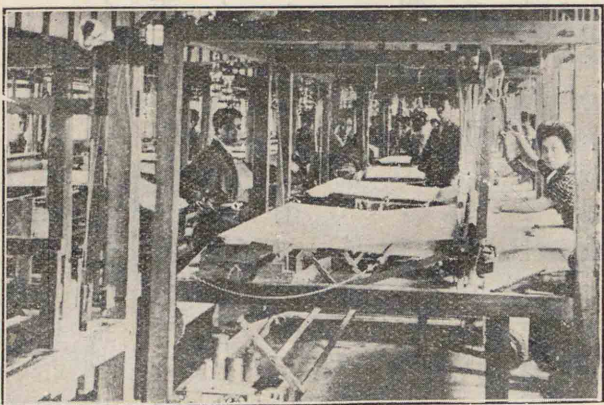
四境山で圍まれ、東北に伊吹山、西に比良山、比叡山等の高峰がある。わが國第一の大湖たる琵琶湖は中央の盆地にあつて、野洲川その他の水を集め、南端から溢れて瀬田川となり、峽流を造つて、山城盆地に出る。また別に疏水を京都市に通じてゐる。湖畔は山水の勝に富み、近江八景は世に名高い。その東南岸は平野がよく開け、米を産する。平野の北半は蠶業が盛で、長濱は縮緬の集散地である。また南部には麻織物の産が

八幡の東方八日市附近に陸軍飛行隊が置かれてゐる。

上、八幡の麻織物工場

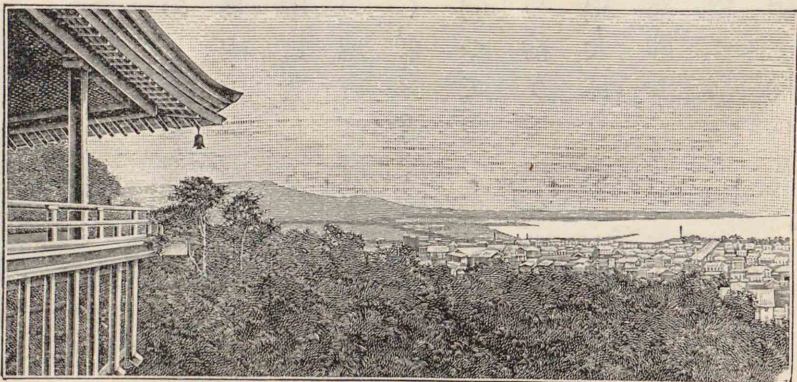
三井寺から望んだ下、大津市街及び琵琶湖

北陸線は長濱を過ぎ、姉川を渡り、賤ヶ岳古戦場を西に見て、柳ヶ瀬トンネルを經、福井縣に出る。彦根に高等商業學校がある。



甚だ多く、日野八幡はその中心となつてゐる。

随つて湖東には都邑が多く、鐵道もこの地方に通じ、東海道線は米原で北陸線と分ち、本線は彦根の舊城市を過ぎ、て草津に至り、草津線を併せて京都に向ふ。大津市人口は縣廳の所在地で、湖港になつてゐる。市に三井寺がある。また比叡山に





は天台宗の大本山延暦寺がある。

### 三 京都府

**管轄**

山城・丹後全部  
丹波の大郡

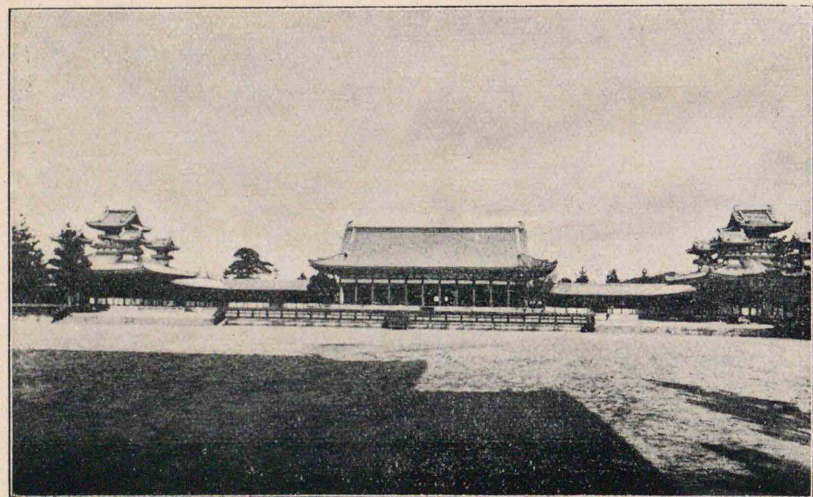
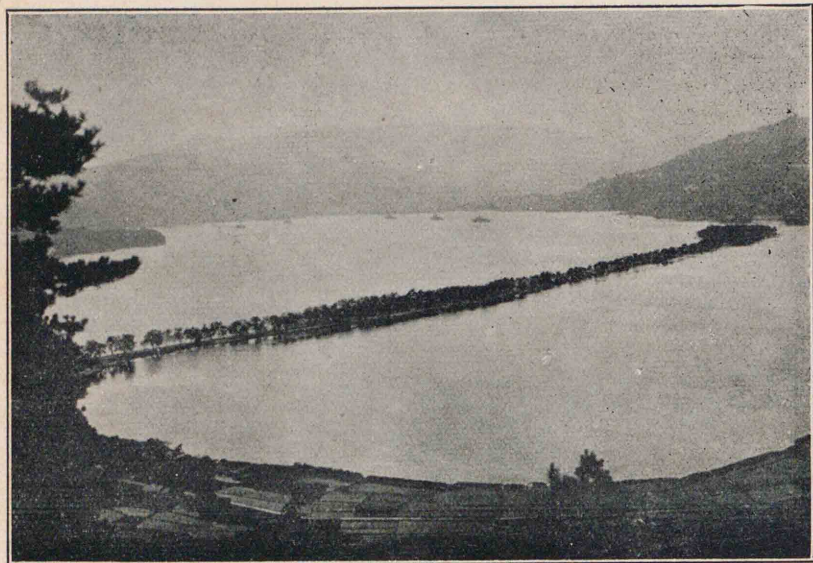
府の地形は東南部の山城盆地と西北部の丹波山地とに分れる。山城盆地を圍む山岳の中では、比叡山・鞍馬山・愛宕山等が殊に知られてゐる。また宇治川・桂川等は盆地の中に會して淀川となり、西境の山脈を破つて大阪平野に出る。この地方は府下で最もよく開けた處で、京都市を始として都邑が多く、東海道線はその中部を、關西線は南部を横斷し、山陰線は西北に向つて走つてゐる。

京都市は、桓武天皇がここに都を奠め給うてから、一千餘年間帝都となつてゐた處で、今後も即位の大禮・大嘗會は永くこの地で行ふことと定められてゐる。されば京都御所・二條離宮等の宮殿を始として、社寺が極めて多く、到る處史蹟に富む。また市區がよく整ひ、且四時風光の美しいことによつて稱せられる。

京都市は東京を去ることおよそ百三十里に位する。市は上京・下京の二區に分たれる。

市の四方にあたる嵐山は櫻花で高尾は紅葉で名高い。

天の橋の立



平安神宮 (京都)



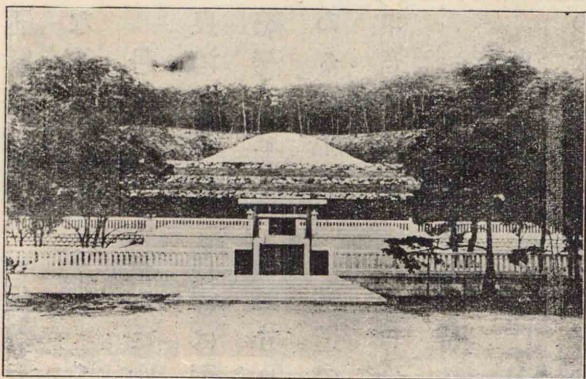
社寺には平安神宮・北野神社・東本願寺・西本願寺・知恩院・清水寺・金閣寺等がある。學校には醫科大學・第三高等學校・高等工藝學校・高等蠶業學校・繪畫專門學校等がある。

下、京都の絹織物工場

上、伏見桃山陵

伏見に桃山城址があり、宇治に平等院がある。後者の鳳凰堂は藤原時代に於ける建築の模範と稱せられる。

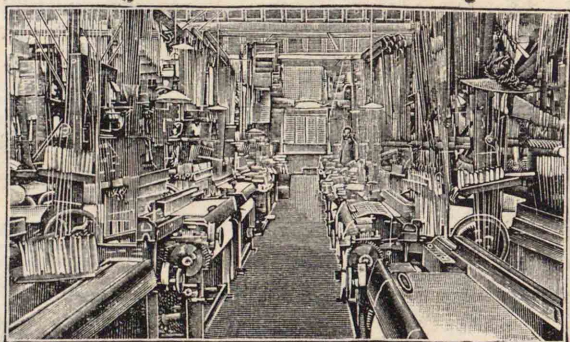
市は府廳の所在地で、また京都帝國大學博物館等があり、附近には第十六師團司令部が置かれてゐる。美術工藝は市の特技



で、西陣織・友禪染・刺繍の類から清水焼・粟田焼・漆器・銅器等は早くからその名聲を海の内外に博してゐる。

京都市の南に位

する伏見には清酒を産する。その東方桃山に明治天皇及び昭憲皇太後の陵がある。宇治附近は製茶の主産地で、殊にその





宇治附近には瀬田川の水力を利用した大發電所が設けられてある。

丹波山地の東部には満庵を産する。

舞鶴には無線電信局がある。

山陰線は綾部から支線を分ち舞鶴・宮津に通ずる。

大阪市は東・西・南・北の四區に分たれる。

玉露茶は品位の優等なものである。府の南境に近く、史上に有名な笠置山がある。

丹波山地はおもに由良川の流域で、海岸には宮津灣舞鶴灣等の良港がある。宮津は開港場で、その北に天橋立の名勝がある。舞鶴灣は東西二灣に分れ、東灣は海軍の要港で、西灣は商港となつてゐる。福知山は鐵道の會點にあつて、山地の名邑である。山地の北部には蠶業が行はれ、峰山には縮緬を産する。

### 四 大阪府



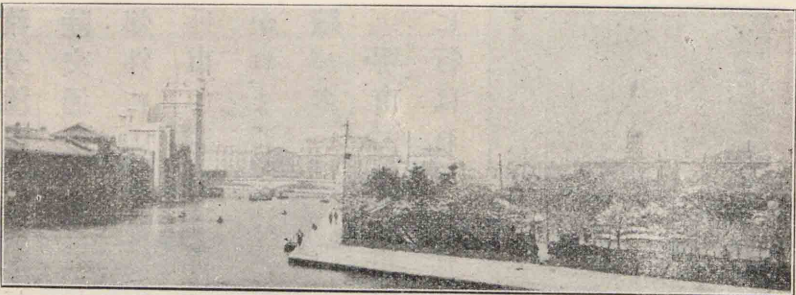
和泉河内全部 攝津の一部

東に金剛山脈、南に和泉山脈があり、北は丹波山地に隣する。府の大部分は大阪平野で、淀川大和川がこれを貫流して、大阪灣に注ぐ。平野には米・菜種・罌粟を産する。

大阪市は大阪灣に臨み、淀川の三角洲に位し、人口百三十四萬、わが國第二の大都市である。古來商業の一大中心で、わが國の南半

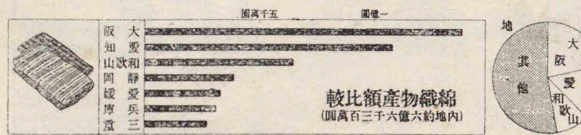
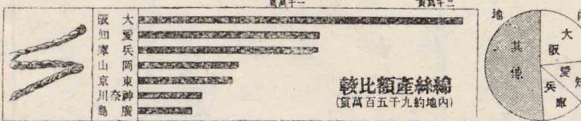
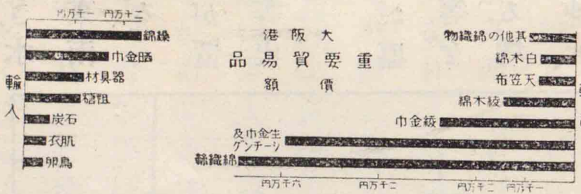
大阪市の製造工業のおもなものは金屬製鍊・機械類・船舶・人造肥料・綿布・メリヤス・毛織物・洋紙・ガラス器・皮革・マツチ・雜貨等の製造である。

上、大阪市役所附近



に於ける物資の大集散地である。外國貿易も支那を得意先として盛に行はれる。市の内外には綿絲紡績を始め、諸種の工場が極めて多く、煙突林立の壯觀を呈し、造兵廠工廠造幣局も設けられてゐる。

市は陸には東海道線關西線等の鐵道と數多の電車軌道を集め、水には淀川の





市に醫科大學・高等工業學校・高等商業學校・外國語學校があり、附近に高等學校が設けられてゐる。

下、大阪築港棧橋

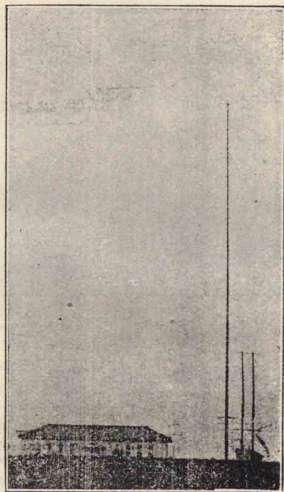
府下に住吉・濱寺・箕面等の公園がある。

平野の北部にある池田は炭・清酒等を産する。北部一帯の地には寒天の産が甚だ多い。

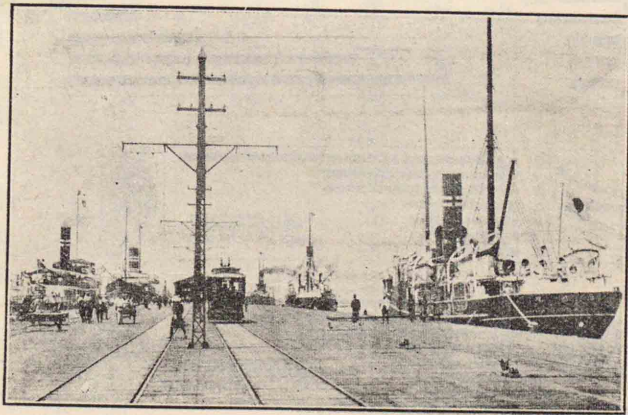
上、大阪無線電信局

四條畷には四條畷神社があつて楠木正行等を祀る。

諸分流及び築港に無數の船舶を繋ぎ、水陸交通の中心になつてゐる。市の東南郊外には大阪無線電信局の設がある。市に府廳控訴院第四師團司令部が置かれ、また高津宮址四天王寺大阪城等史蹟が多い。

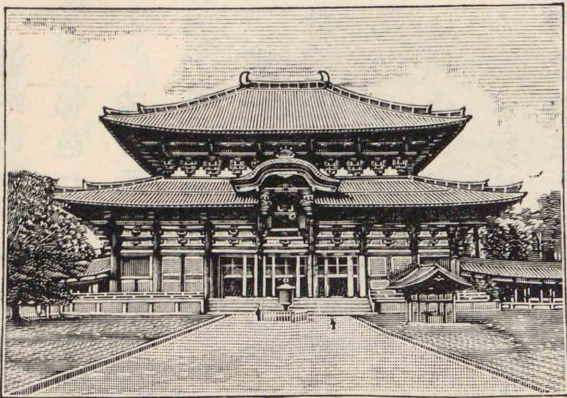


堺市人口は大和川の口に近く、工業が盛に行はれ、清酒利器セルロイド製品等を産する。堺市の東には仁徳天皇の大山陵を始め、陵墓の宏大なものも多く、金剛山・四條畷は古戦場と



東大寺大佛殿

東大寺には有名な大佛がある。またその北には勅封の寶藏正倉院がある。市に女子高等師範學校がある。法隆寺はその建築が極めて古く、奈良朝以前に於ける建築の模範と稱せられる。



して名高い。岸和田市は府の南部に位する工業地である。

五 奈良縣

管轄

大和全部

北半の大和盆地は上古からよく開け、神武天皇が始めて橿原に都を奠め給うてから以來、皇居の地となり、殊に奈良朝に至つて、規模の宏大な平城京を營まれ、久しく帝都の地となつてゐたから、史蹟が極めて多い。

奈良市人口は縣廳所在地で、三笠山を負ひ、その麓に東大寺春日神社興福寺帝室博物館等がある。市には根來塗・墨人形等を産する。古の平城京は市の一部からその西南に及んだ地で、その附近には古寺が甚だ多く、法隆寺は最も名高い。



農産物は米・茶を主とする。高田の東南には畝傍山の麓に橿原神宮があつて神武天皇を祀り、多武峯に談山神社があつて藤原鎌足を祀る。

右、吉野川の筏流し

左、吉野山の一目千本

山上岳には夏季登山者が多い。吉野には後醍醐天皇を祀る吉野神宮がある。

盆地の中には農産が多く、また木綿織を産する。都邑には奈良の外に郡山・高田・櫻井等がある。隣府縣との間には汽車及び電車の交通が甚だ便である。

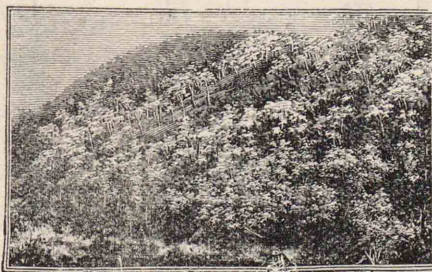
縣の南半は山が深く、大臺原山・山上岳等の高峰がある。十津川の峽流は南流して熊野川となり、吉野川は西流して紀川となる。山中には林産が多く、吉野杉の名は大に知られてゐる。吉野は吉野朝の皇居のあつた所で、また櫻花の名所である。

### 六 和歌山縣



紀伊の大部

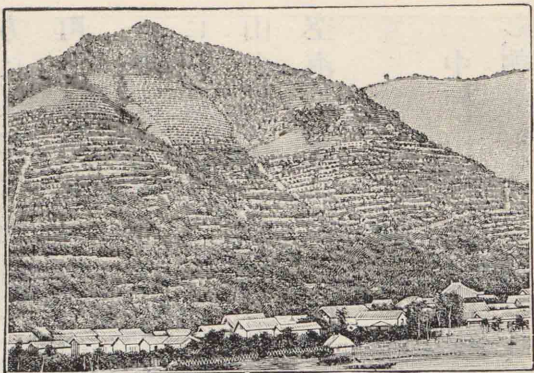
縣は紀伊半島の西南部を占め、山岳が多くて、高野・熊野等の大森林を有し、林産に富む。



有田川附近の蜜柑山

和歌山市の南方に高等商業學校がある。

潮岬には無線電信局が設けられてゐる。



平地は極めて乏しく、たゞ紀川沿岸に見られるだけである。

縣廳の所在地和歌山市人口は紀川の口に臨み、もと徳川氏の親藩を置いた處である。木材の集散が盛で、また綿・フランネルを産し、その産額が全國第一である。市の南には和歌浦の勝地がある。黒江は日用の漆器を出す。

有田川と紀川の流域は蜜柑の産地で、湯浅・箕島の二港から盛に積出す。また田邊・串本は沿海の港市である。田邊に近い瀬戸・鉛山は温泉で名高く、京都帝國大學の臨海實驗所がここに置かれてゐる。

半島の南端を潮岬と云ひ、これから東方を熊野地方と稱し、その



下、高野山  
金剛峯寺  
上、熊野川の  
木材集積

近海を熊野灘と呼ぶ。熊野川の口に臨む新宮。人口は木材を集散する。この地方には那智瀧、瀨八町等の名勝がある。西北部の高野山には眞言宗の大本山金剛峰寺がある。空海の開基で、僧院が甚だ多い。



### 七 兵庫縣

管轄

攝津・丹波の一部  
但馬・播磨・淡路全部

中國山脈は縣の中央を東西に走つて、日本海と播磨灘とを分水し、朝來川は北に流れ、加古川市川、揖保川等は南に注ぐ。この南斜



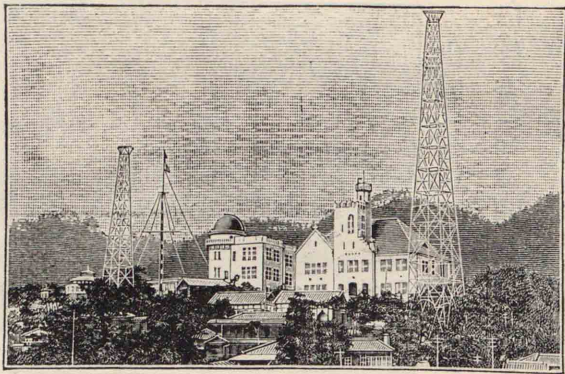
縣下米の産額は二百萬石を超えてゐる。

神戸市はわが國第三位の大都市である。

上、海洋氣象臺

市の東北部に布引の瀧がある。市に高等商業學校・高等工業學校及び海洋氣象臺がある。市の東方に高等商船學校が設けられてゐる。

下、神戸港の重要貿易品



面には播磨の平野があつて、米を産するところが極めて多い。縣下にはまた多く麥粉を産する。

神戸市はわが國第三位の大都市である。市の東北部に布引の瀧がある。市に高等商業學校・高等工業學校及び海洋氣象臺がある。市の東方に高等商船學校が設けられてゐる。市の東北部に布引の瀧がある。市に高等商業學校・高等工業學校及び海洋氣象臺がある。市の東方に高等商船學校が設けられてゐる。市はまた工業地で、紡績・マッチ製造・樟腦精製等が盛に行

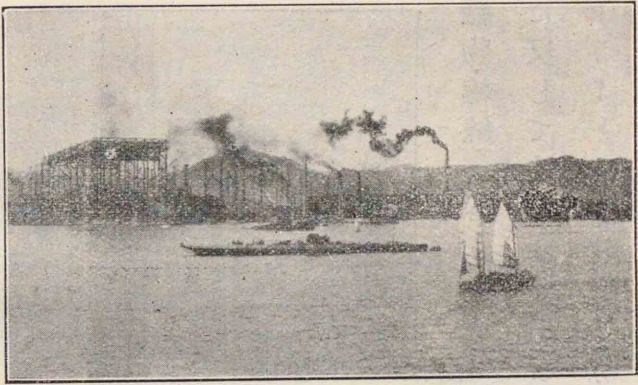
| 品名  | 輸入        | 輸出        |
|-----|-----------|-----------|
| 米   | 1,200,000 | 1,000,000 |
| 小麦  | 500,000   | 100,000   |
| 大豆  | 300,000   | 50,000    |
| 綿   | 200,000   | 10,000    |
| 絹   | 100,000   | 5,000     |
| 紙   | 80,000    | 2,000     |
| 茶   | 60,000    | 1,000     |
| 糖   | 40,000    | 500       |
| 塩   | 30,000    | 100       |
| その他 | 20,000    | 50        |



御影・西ノ宮を含む沿海の地方を灘と稱する。

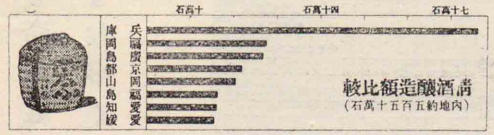
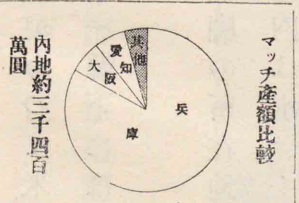
川崎造船所

神戸市西部の須磨及び舞子・明石市附近は有名な保養地であった。一ノ谷その他の古戦場がある。



山陽線は神戸から起り、舞子・明石市人口等白砂青松の間を過ぎて、播磨の平野に入る。姫路市人口は平野の中央に位し、第十師團

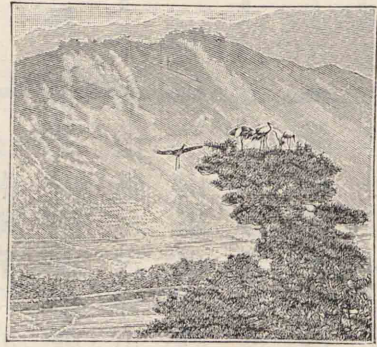
はれ、壯大な川崎三菱の兩造船所がある。また市には湊川神社がある。市の東方にある御影・西ノ宮・人口伊丹等は清酒醸造の最も盛な處で、その産額は全國第一である。その背後の山間には有馬の温泉がある。また炭酸泉を噴出する處が多い。尼崎市人口は工業地で、綿絲板ガラス・セメント等の製造が盛である。



姫路市の附近に高等學校がある。市の東方の高砂は松の名所で、また製紙場がある。

上、出石附近の鶴の巢籠り

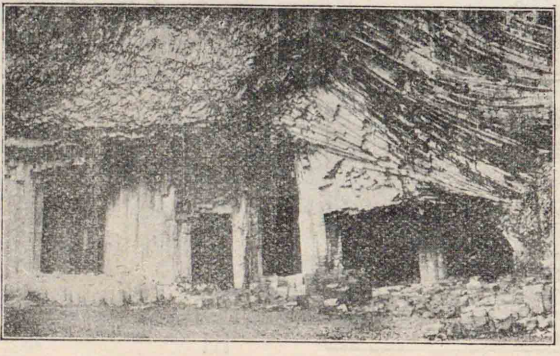
生野には金銀・銅を産する。但馬には牧牛が盛である。



城崎の西方には餘部陸橋がある。橋は餘部の村落に跨つて兩高地の間に架せられ高さ四十米に及ぶ。

下、玄武洞

業が行はれ、また出石には出石焼・豊岡には柳行李を産する。出石の附近には鶴の渡來地がある。海岸に近く城崎の温泉や玄武洞の奇勝がある。淡路島は瀬戸内海第一の大島で、紀淡鳴門の兩海峡はその南部を挟んで、内海の門





上、中國地方  
断面圖

1 瀬戸内海  
2 兒島半島  
3 岡山  
4 大分  
5 中津  
6 島根半島  
7 日本海  
8 都會分布  
圖



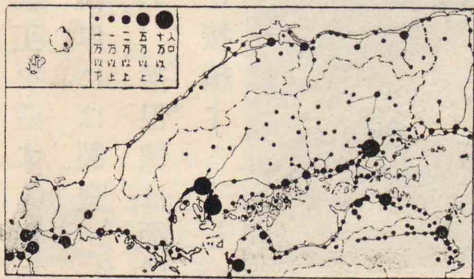
### 第六節 中國地方

●位置地形。中國は本州の西部に位する半島で、中國山脈がその脊梁となり、山陽・山陰の兩斜面を分つてゐる。

山陰には白山火山脈を通じ、大山火山は中國第一の高峰である。

河流は山陰に江川、斐伊川等があり、山陽に吉井川、旭川、大田川等がある。

山陽は山陰に比すれば面積が廣く、その海岸は極めて出入に富み、多少の平野を伴ひ、また風波の穩な瀬戸内海に臨み、古からよく開けて人口の密



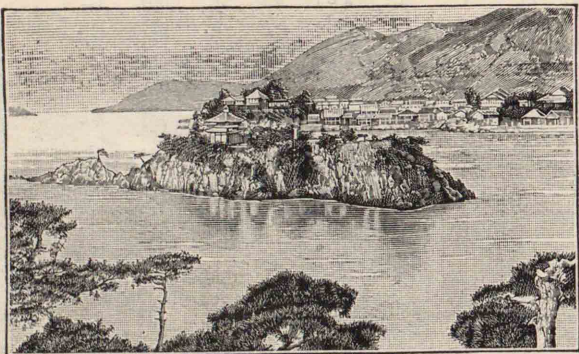
人口約四百九十七萬。その四分の三以上は山陽にある。人口一萬以上の市町が二十九あり、山陽にあるものは二十四で、山陰にあるものは五に過ぎない。

瀬戸内海の景  
(瀬瀧辨天島)

度が頗る大きく、都會港市が甚だ多い。山陰はこれに反して島根半島が宍道湖・中海を抱いてゐる外には、海岸の大出入がなく、且その土地が一方にかたよつて山岳が多く、交通系の發達が不十分であつたので、人文の進歩は山陽に一步を譲つてゐる。

瀬戸内海は中國の南にあつて、下關・豐豫・鳴門・紀淡の四海峽で僅に外海と連つてゐる。内海は更に分れて大阪灣・播磨灘・備後灘・安藝灘・伊豫灘・周防灘等となる。その海上には多數の島が散在して、風光が麗しく、また東西交通の要路にあたつてゐる。

山陰地方は冬季は曇天が多く、雨雪が少くないが、山陽地方は氣候が溫和で、降雨が



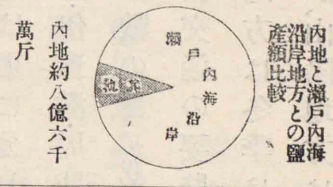


中國地方は山陰道の五國と山陽道の七國とを含む。その國名は左の通り。因幡 伯耆 出雲 石見 隱岐 美作 備前 備中 備後 安藝 周防 長門 山口縣は兩斜面を有するが、普通これを山陽に入れる。



### 交通

鐵道には南北の兩海岸を一貫する山陽線及び山陰線があつて、中國線その他數條の支線を分つ。海上の交通は内海方面には發達してゐるが、日本海方面はまだ盛でない。



少く晴天が多い。

**區劃** 行政上五縣に分たれる。山陰に鳥取島根があり、山陽に岡山廣島山口がある。

**産業** 産業は農牧を主とし、牧畜は大規模ではないが、多數の食牛を供給する。山陽には果樹の栽培が行はれ、桃、夏蜜柑を産する。

水産は沿海の到る處に豊富で、また内海の岸には製鹽が盛に行はれる。山陽の中部では花筵、麥、稗、眞田、經木、眞田を造り、これらは輸出品となる。鑛産にはこの地方の特産である砂鐵の外に銀、銅等がある。

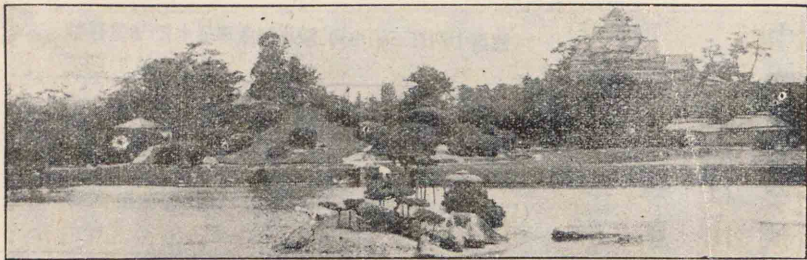
## 岡山縣

美作・備前  
備中全部

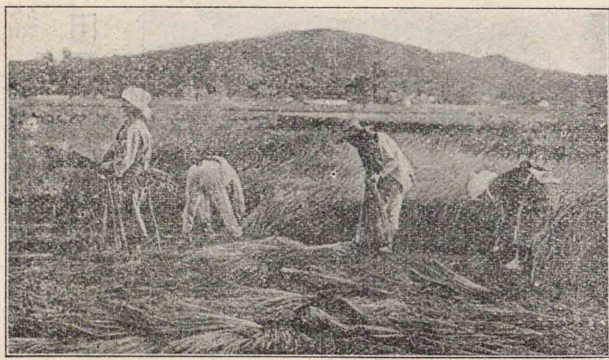
兒島半島の味野は製鹽業の中心で、下津井には無線電信局がある。また宇野は中國・四國連絡の要點にあたる。兒島灣内の淺海は次第に水田に化せられて行く。

上、後樂園  
下、齒田

岡山市にある後樂園は極めて風趣に富む。  
市に醫科大學・第六高等學校がある。



縣は吉井川、旭川、邊川の流域を占め、その下流の沿岸には平野があつて、米、麥、藺草の産に富み、また多く桃を産する。兒島半島は南部に横はつて、内に兒島灣の淺灣を抱く。半島の南部海岸地方には鹽田が多い。





縣下花筵・麥稈眞田・經木眞田・壘表類の産がわが國第一位にある。また薄荷の産も多い。川邊川上流に吉岡倉敷の東方に帶江の銅山がある。

廣島縣東北部の牧場

江ノ川は中國第一の大河である。

(圓萬十四百三約地内) 較比類産田眞木經・田眞稈麥

|    |    |    |    |
|----|----|----|----|
| 其他 | 廣島 | 香川 | 岡山 |
|----|----|----|----|

(圓萬十四百千三約地内) 較比類産類莢・筵花・表壘

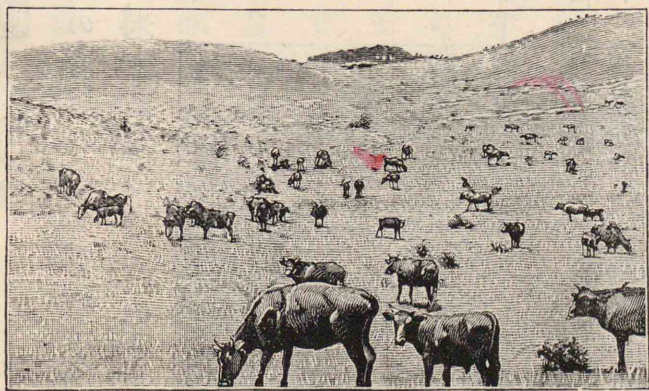
|    |    |    |    |    |    |
|----|----|----|----|----|----|
| 其他 | 熊本 | 静岡 | 大分 | 廣島 | 岡山 |
|----|----|----|----|----|----|

數・玉・島・山口・笠岡等と共に綿絲を産する。川邊川沿岸地方は眞田類の産が多く、高梁はその中心である。縣の東部では三石に耐火煉瓦、伊部に備前焼を産する。岡山から中國線によつて吉井川の上流地方に至れば津山の名邑がある。

## 二 廣島縣

管轄 備後安藝全部

東北部は山地で、江ノ川はその水を集め、中國山脈を横ぎつて山陰に出る。その



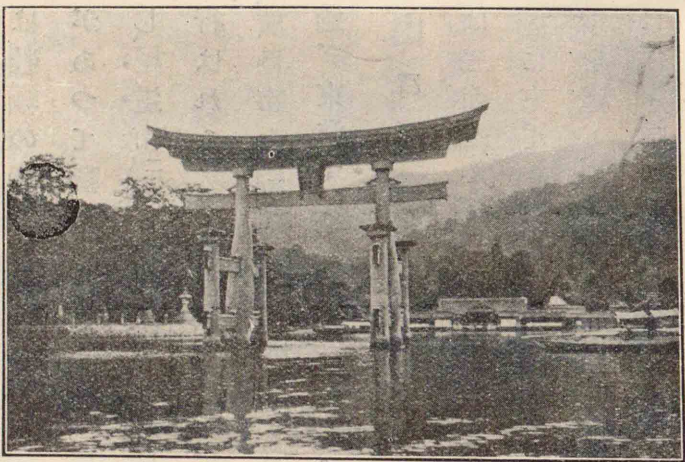
本縣人及び山口縣人には海外に出稼するものが多い。市に高等師範學校、高等工業學校、高等學校がある。

嚴島神社

呉市の東南方にある廣には海軍の工廠があつて航空機等を作る。嚴島には嚴島神社があつて、松島・天ノ橋立と共に日本三景と稱せられる。

流域の盆地には牛と大麻を産し、三次はその中心に位する。縣の西南部は廣島灣に臨み、大田川がこゝに注ぎ、その三角洲に廣島市人口がある。中國第一の都會で、縣廳第五師團司令部控訴院等が置かれてゐる。宇品はその港で、日清日露の二大戦役に於て、軍隊輸送の基點となつたことで名高い。北方の可部には山繭織を産する。

呉市人口は廣島灣に沿ひ、第二海軍區の軍港で、鎮守府が置かれ、その工廠では製艦製鋼が行はれる。廣島灣の江田島には海軍兵學校がある。また灣の西部にある嚴島は風





尾道市の東方にあたる松永は製鹽業の中心である。

景の美しいので、その名が高い。灣には牡蠣の養殖が盛である。安藝灘と備後灘との間には、數多の島があつて、藝豫海峡を造る。備後灘の海濱には備後表花筵を産し、尾道市人口と福山市人口とはその取引地で、製鹽もこの地方で盛に行はれる。糸崎は開港場である。山陽線はこれらの都邑を連れ、廣島市を経て山口縣に向ひ、その支線には吳市に至るもの、三次を過ぎ東進するもの等がある。

秋吉臺の瀧穴

西部の秋吉臺は石灰岩の臺地で、ドリネと稱する鐘鉢状の凹地が數百の多きに達し、地中には石灰洞窟を存し、瀧穴はその最も著しいものである。日本海には鯨、鱈、鰹等を産する。



三山口縣管轄

周防・長門全部

縣は三面海を繞らし、中國山脈はこゝに來て漸く低く、丘陵または臺地を造り、岩國川・佐波川等は内海に注ぎ、阿武川は日本海に流れる。その沿岸の平野には米の産が多い。瀬戸内海の内海は

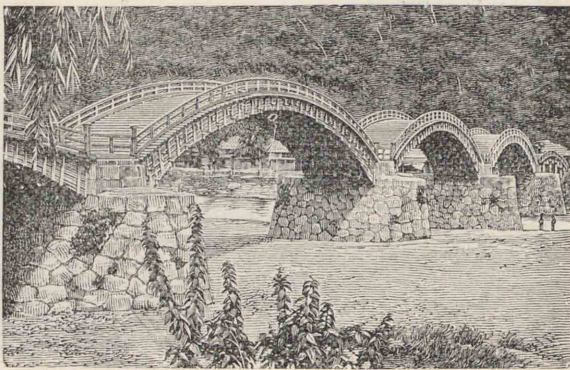
本縣人には朝鮮近海に出漁するものが多い。阿武川中流には長門峽の勝地がある。

錦帯橋

三田尻は宮市を合せて防府と稱し、人口二萬一千を有する。

山口に高等學校及び高等商業學校がある。南海岸の小野田にはセメント、硫酸の工場がある。

下ノ關市は東京を距ることおよそ二百八十里に位してゐる。市に安徳天皇を祀る赤間宮がある。また硯を産する。



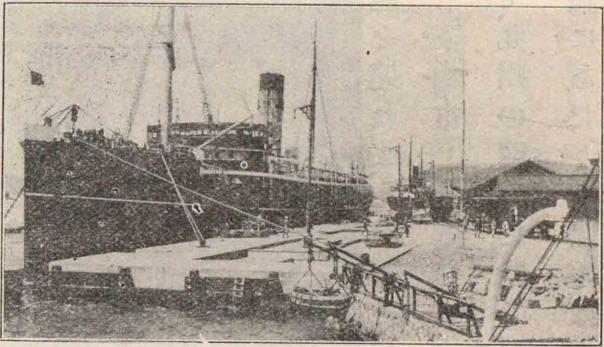
多く鹽を製し、また鯛、鰹等を漁し、近海の水産價額は中國五縣の第一である。

岩國川の口に近い岩國は錦帯橋で名高い。柳井は醬油を産し、また柳井編を集散する。徳山の開港場には海軍燃料廠の設がある。三田尻は製鹽の中心で、これより少しく内地にある山口人口は縣廳の所在地である。宇部市人口は南海岸にあつて炭坑がある。山陽線は海岸の市邑を連ねて、山口線その他の支線を分ち、下關に至つて終る。

下ノ關市人口は瀬戸内海の咽喉にある開港場で、同名の海峡を隔てて九州の門司に對し、形勝の地を占めてゐる。市は水陸交通の要點にあたり、山陽線は連絡船によつて九州の鐵道と結び、また朝鮮



下ノ關釜山連  
絡船



山口線は山口縣から來て、津和野を過ぎ、益田に至り、山陰線に結ぶ。中海の大根島には人蔘を産する。出雲大社には大國主命を祀る。

の釜山との間にも連絡船が往來して大陸との交通を便にしてゐる。穀物の取引もまた甚だ盛である。市の東に壇浦の古戦場がある。日本海岸にある萩は夏蜜柑萩焼を産する。

#### 四 島根縣

出雲石見  
隠岐全部

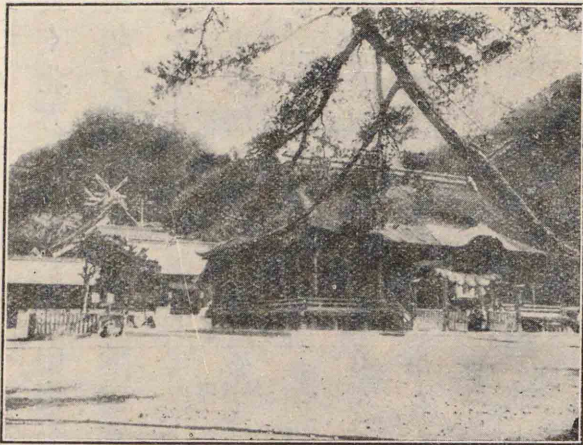
中國山脈の主脈は縣の南境に連り、また三瓶山、青野山等の火山が聳えてゐる。西半の石見は殊に山岳が多くて銀銅を産し、また大麻、石見半紙を出す。海岸の濱田は開港場で、津和野は内地の名邑である。東半の出雲では斐伊川が宍道湖に注いで、その下流は豊沃な杵築平野を造つてゐる。杵築には出雲大社がある。

山陰線は鳥取縣から來て、松江市濱田を過ぎて西走する。松江市の附近に高等學校がある。

上、出雲大社

下、松江市

島前には後鳥羽法皇の舊蹟がある。島後は後醍醐天皇の遷幸せられた處である。



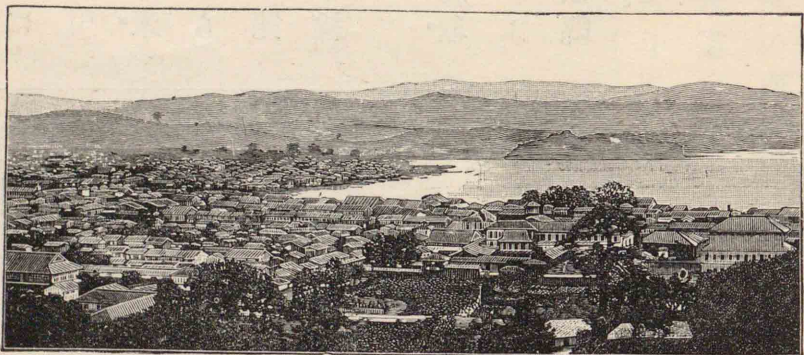
松江市人口は宍道湖の東口に跨り、風光が美しく、縣廳の所在地で、瑪瑙細工を産し、附近からは出雲焼を産する。

隱岐は日本海中にあつて、

島前群島と島後島とから成り、島後に西郷港がある。

#### 五 鳥取縣

因幡伯耆全部





鳥取縣には一般に養蠶が行はれ、また西部には綿を産する。

日野川上流には砂鐵の産がある。

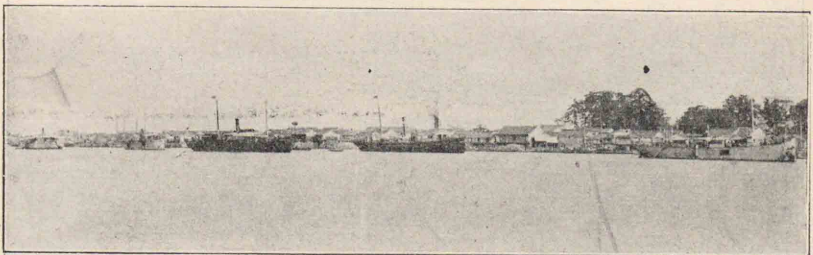
倉吉に近く東郷三朝の温泉がある。

境 港

鳥取市に高等農業學校がある。

伯備線は山陰線から分れ日野川に沿うて南進し、岡山縣に入らうとしてゐる。

西部には大山火山が高く聳え、その裾野には牧場と船上山の史蹟とがある。日野川天神川は大山の兩側を流れ、日野川下流の平野には米子<sup>人口</sup>の港市がある。夜見濱の砂嘴はこれから長く北方に突出して、中海を抱き、尖端に境の開港場がある。倉吉は天神川流域の中心で、木綿織を産する。東部は千代川の流域で、その下流に沿ふ鳥取市<sup>人口</sup>には縣廳がある。河口の港を賀露といふ。山陰線は兵庫縣から來て、海岸に沿ひ、島根縣に通じ、鳥取市米子等から支線を分つてゐる。

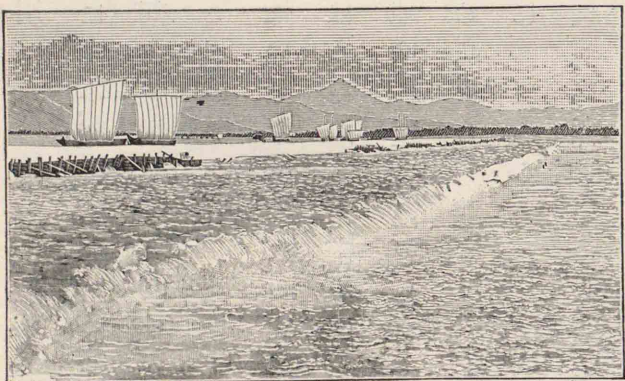


第七節 四國地方

上、四國島斷面圖  
1 土佐灣 2 高野川 3 吉野川 4 新居濱 5 備後灘 6 四國山脈は紀伊山脈・九州山脈と相應して南彎山系の一部を造つてゐる。  
下、吉野川  
平野は瀬戸内海の沿岸と吉野川の下流とにのみある。



●位置地形。四國島は瀬戸内海の南に位し、紀伊水道を隔てて紀伊半島に對し、豊後水道を挟んで九州に向ふ。南方には室戸<sup>ムロト</sup>蹊<sup>セキ</sup>の兩岬が斗出して、土佐灣が灣入し、北方瀬戸内海には讚岐<sup>サンギ</sup>高繩<sup>タカヅナ</sup>の兩半島があつて、その間に備後灘を抱いてゐる。島中山岳が多くて、平野は少く、四國山脈はほぼ東西に連つて主脈を石槌山脈といひ、その東北に讚岐山脈、東南に劍山<sup>ツルギ</sup>山脈がある。吉野川は四國第一の大河で、これらの山脈の間を東に流れて、紀伊水道に注ぐ。この他





人口約三百六萬。  
人口一萬以上の市  
町は十七ある。  
四國地方は南海道  
の西部四國を含む。  
その國名左の  
通り。  
阿波 讚岐  
伊豫 土佐  
内海の島には美麗  
な建築石材を産す  
る。

仁淀川・四萬十川は土佐灣に入り、肱川・重信川は瀬戸内海に注ぐ。  
四國山脈の海に盡きる處は海岸が出入に富み、殊に西岸には佐  
田岬を始め、半島や港灣が極めて多い。南部は氣候が殊に暖で、ま  
た雨量が多く、海岸には榕樹の繁茂してゐる處がある。

●**區劃産業**。行政上四縣に分たれ、徳島・高知は太平洋岸に、香川・愛  
媛は瀬戸内海の岸にある。内海沿岸の地は人口が甚だ密で、都邑  
も多く、農業・製鹽等が行はれ、太平洋斜面の地は林産に富む。水産  
は四縣いづれも盛で、高知はその首位を占めてゐる。鑛産は愛媛  
に最も多く、工業では高知・愛媛の製紙が殊に盛である。

●**交通**。内地の交通は不便で、鐵道も香川・愛媛二縣を連ねる讚豫  
線の外は、たゞその地方一部の便に止つてゐる。沿岸の諸港間に  
は汽船の往來が頻繁である。

一 徳島縣 管轄

阿波全部

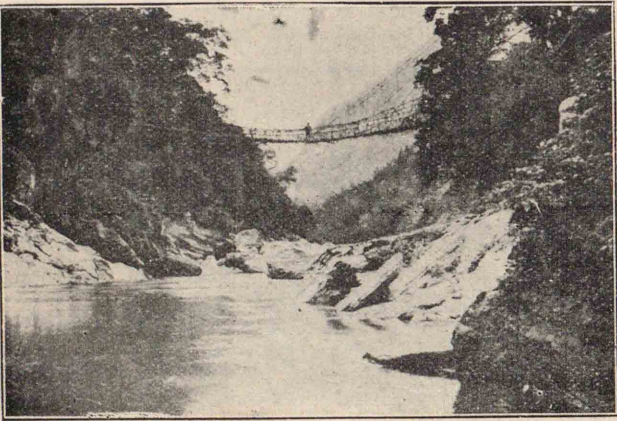
吉野川の支流祖谷  
川は大崩壞の下流  
で本流に會する。  
その上流は深山の  
間にあつて村落が  
別天地をなし、有  
名な葛橋が、この川  
にかゝつてゐたが  
近時針金橋に改め  
られた。

上、徳島市

下、葛橋(舊態)



四國山脈の東部は縣下に連り、吉野川は高  
知縣から來て讚岐山脈の南を流れ、沿岸に平  
野を造り、下流は廣い三角洲の間を流れて、紀  
伊水道に入る。そ  
の沿岸の地は最も  
よく開けて、盛に藍  
を作り、その産額は  
わが國第一に位し  
脇町はその集散地  
である。またその  
上流の池田附近で  
は多く煙草を作る。  
徳島市は吉野





徳島市に高等工業学校がある。

南部の海岸には富岡・日和佐の名邑がある。

高松市附近の鹽田から屋島を望む。

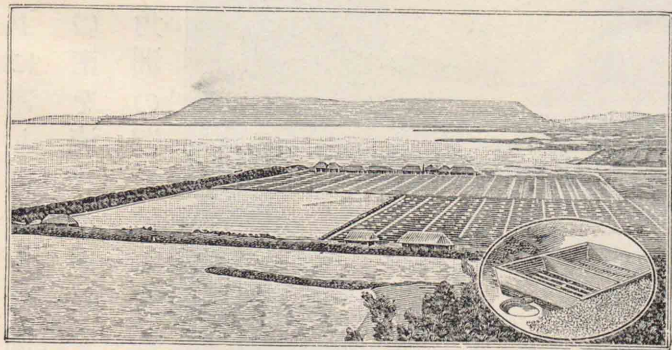
屋島は熔岩の高臺で、その形は屋根のやうである。山上は眺望が絶佳で東南麓には有名な古戦場がある。縣下製帽真田の産が多い。

川の三角洲に位し、縣廳の所在地で、水運の便を有し、またこゝから川に沿うて徳島線を通じ、物資を集散する。その南に小松島港がある。撫養は鳴門海峡に面し、齋田鹽を産する。海峡は潮流が急激で、渦巻をしてゐるので名高い。

### 二 香川縣

管轄 讃岐全部

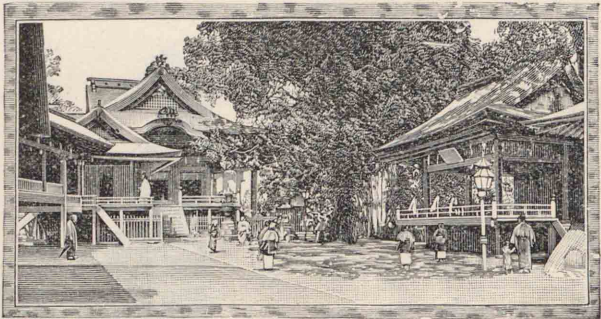
縣は讃岐半島の地を占め、南境には讃岐山脈がある。地勢は次第に北に低くなつて平野となり、丘陵がその中に散在し、飯野山(讃岐富士)五劍山は殊に名高い。平野は農産に富み、甘蔗を産する。海岸には港市が連り、また製鹽が盛である。近海には漁利が多い。人口の密度は甚だ大で、四國の



高松市に高等商業学校を置く、また栗林公園の名勝がある。

坂出の東北にある白峯には崇徳天皇の陵がある。

金刀比羅宮



首位を占めてゐる。

高松市人口は縣廳の所在地で、内海の良港である。市の東方に屋島半島がある。讃豫線は高松から西進し、坂出、丸龜市、多度津の都邑を連ねて、愛媛縣に入る。坂出は製鹽業の中心である。多度津は港市で、その南方にある善通寺には第十一師團司令部がある。鐵道の支線に沿ふ琴平には金刀比羅宮がある。小豆島には醤油、花崗岩を産し、また神懸の名勝がある。

### 三 愛媛縣

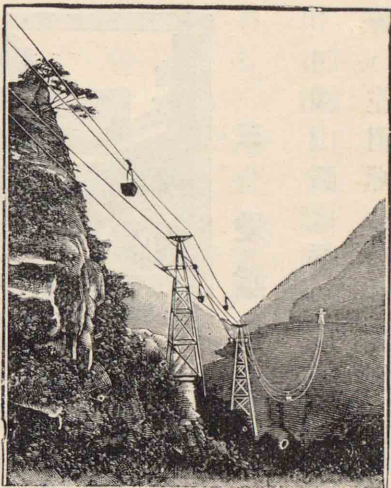
管轄 伊豫全部

四國山脈は縣の南部に連り、石槌山を戴くその主脈は延びて細長い佐田岬を造り、肱川は山地の水を集めて伊豫灘に入る。伊豫



別子銅山の鐵索

備後灘の四阪島には別子銅山の製鍊所がある。



灘の東には高繩半島が突出し、その尖端に沿うて潮流の烈しいので名高い來島海峽がある。縣は地形上東豫西豫南豫に分たれる。

東豫は概して備後灘斜面の地で、有名な別子銅山がある。海岸の新居濱との間に鑛石運搬の鐵索及び鐵道を通じてゐる。市川鑛山にはアンチモニーを産する。今治市西條はこの地方の都會で、今治市人口は開港場になつてゐて、綿フランネルの産が多い。讚豫線は香川縣から來て西條を過ぎ、西北に向ふ。西豫には重信川流域の平野がその主要部を占め、伊豫緋の産出によつて知られ、また綿絲、砥部燒を産する。縣廳の所在地松山市人口は平野の中央に位し、附近に道後温泉がある。高濱、三津濱は共

松山市に高等學校及び高等商業學校がある。

伊豫緋  
製糸業  
製紙業は東豫にも行はれる。

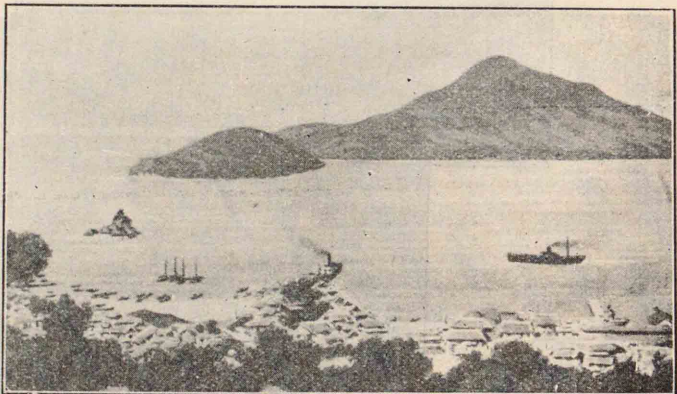
高濱港

に松山の前港で、高濱は興居島がその前に横はつて、自然の良港になつてゐる。平野の中には鐵道があつて、これらの都邑を連絡する。肱川の流域には製紙の業が行はれ、大洲はその中心である。河口に臨み長濱港がある。南豫は豊後水道の斜面で、その海岸は出入が多く、八幡濱、宇和島市、和島市、知等の港市がある。この地方は肱川流域以西と共に木蠟の産が多い。

#### 四 高知縣 管轄

土佐全部

縣は四國南部の大部を占め、山がちである。森林は到る處に深く、良材を産し、また特に樟を出す。仁淀川流域には多く樟、三楡を



氣候は甚だ暖くて米の收穫一年二回に及ぶ處がある。



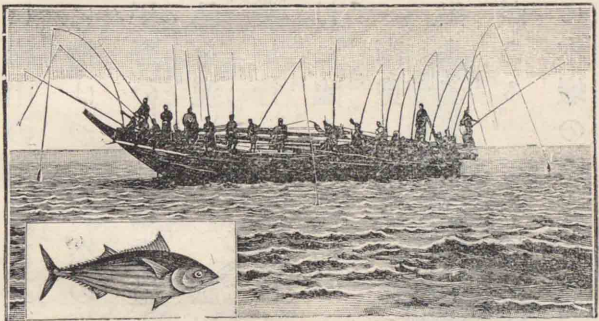
植る、その下流の地方は半紙の製造が盛で、その産額は全國第一である。

捲取紙の製造

下、伊野の製紙場

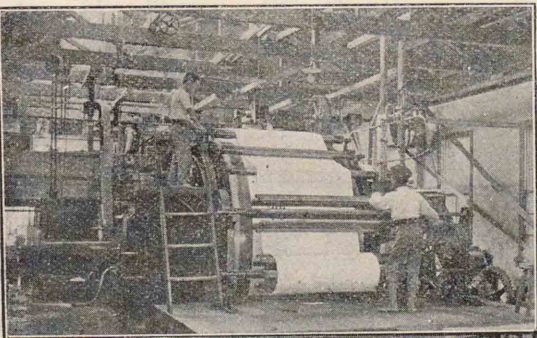
上、鯉漁と鯉

高知市に高等學校がある。

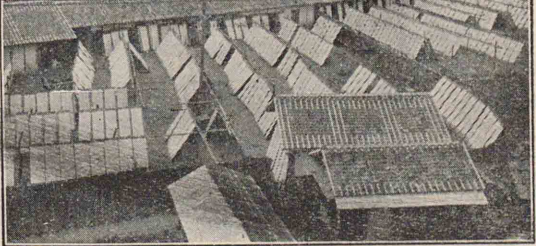


近海は水産に富み、殊に鯉節の産は古來最も名高い。捕鯨は室戸崎の沖

に盛で、西南の海中には珊瑚を産する。高知市人口は縣廳の所在地で、浦戸灣に臨ん



半紙の製造



浦戸灣附近には石灰の産が多く、またセメントを製する。

有明、海の潮汐干満の差は列島中最大で、およそ六米に及び、低潮の時は沿岸に大きな干潟を造る。

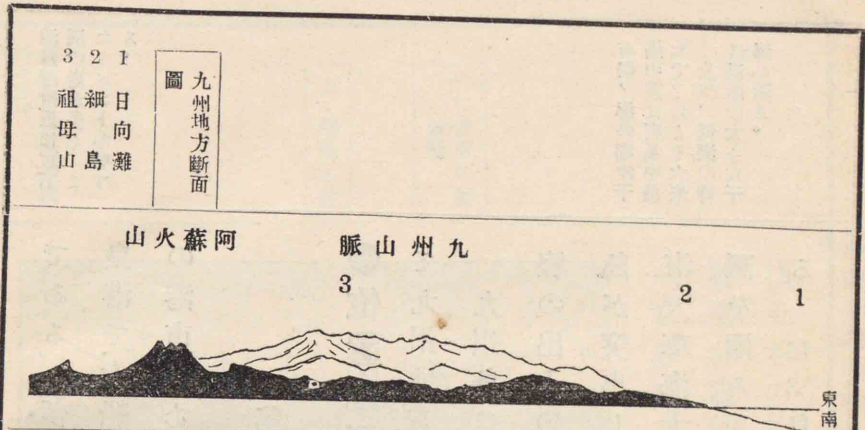
である。伊野はその西方にあつて、製紙業の中心である。須崎は良港で、大船を容れることが出来る。また豊後水道に面して宿毛の港市がある。

### 第八節 九州地方

●位置・地形 九州島は日本列島西部の大島で、附近の島々を合せて九州地方と稱する。

九州島は地形の複雑なことは、列島中にその比を見ない。海岸線の出入の多いことも、またわが國第一である。西方には肥前半島が突出し、その端は更に分れて島原、西彼杵の兩半島となり、有明海天草海、大村灣等を抱く。南方には薩摩、大隅の兩半島が鹿兒島灣を圍み、東北には國東半島が突出して、別府灣はその南に彎入する。たゞ島の東岸日向灘に面する處は海岸が單調である。

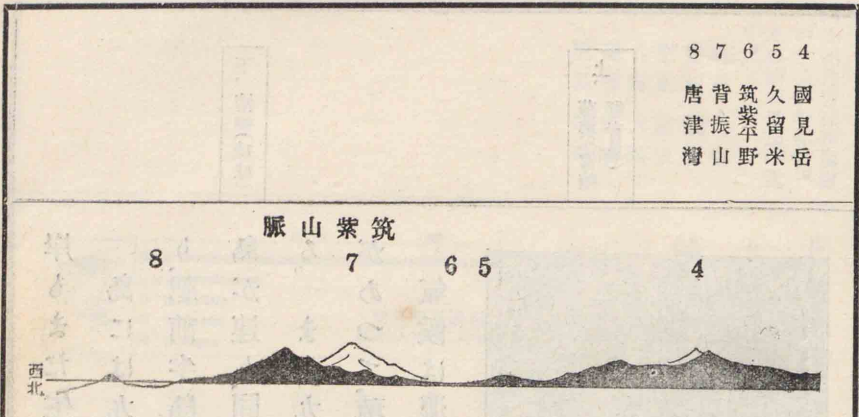




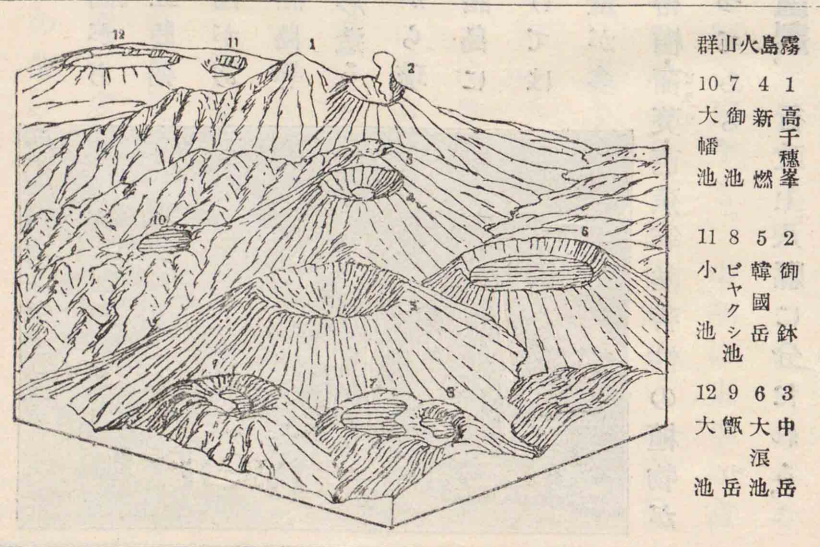
中國山脈の續きは島の北部に現れて筑紫山脈となり、四國山脈の續きは九州山脈となり、島の東岸から斜に南部地方に連り、祖母山、市房山、その他の高峯を戴き、餘脈は延びて南方の琉球諸島に及ぶ。

この地方はまた火山に富み、南北兩山脈の間には阿蘇火山脈があつて本島を横斷し、九重山、阿蘇山、温泉岳等の火山を起し、南部には霧島火山脈があつて、霧島火山群、櫻島、開聞岳を噴出し、延いて南方の海中に數多の火山島を造つてゐる。

平野は處々に展開して、特に北部の筑紫平野が最も著しく、九州第一の大河筑後川はこれを貫流する。これに次ぐものには熊本平野があつて、阿蘇火山の火口原から流れて來る白川及び菊池川、緑川はこれを潤す。



この他河流には、急流で有名な球磨川は八代海に入り、川内川は薩摩半島にあつて、その沿岸の平野がよく開けてゐる。日向灘斜面には大きな河流が多いけれども、未墾の原野が尙少くない。その流域の開けてゐるものとしては大淀川が推される。別府灣に注ぐ大野川の沿





下、榕樹(琉球)

上、蒲葵(宮崎縣青島)

岸もまた生産に富んでゐる。島には九州島の西北に壹岐對馬があり、肥前半島の西には平戸島及び五島列島が連り、同半島の南には天草諸島がある。また九州島の南方には薩南諸島等があつて、琉球諸島と共に列島を形造る。氣候は溫暖で、殊に九州島南部から琉球諸島にかけては雨量が多く、榕樹蒲葵芭蕉等熱帯性の植物が繁つてゐる。



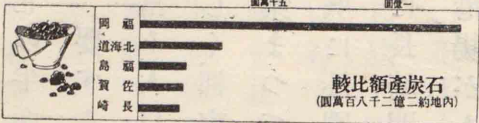
● 區劃。行政上八縣に分たれる。

九州地方は西海道の十二國を含む。その國名は左の通り。

筑前 筑後  
肥前 肥後  
日向 大隅  
薩摩 壹岐  
對馬 琉球



石炭産額比較表  
(四萬八千二百二約地内)



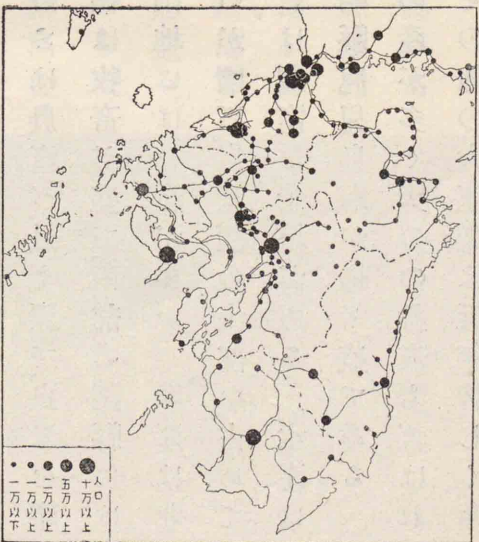
北部には大分福岡の二縣があり、肥前半島には頸部に佐賀縣があり、その餘は壹岐對馬五島は長崎縣に屬する。中部の東半は宮崎縣で、西半は熊本縣に入る。南端の兩半島は薩南諸島は鹿兒島縣に、琉球諸島は沖繩縣に屬する。

● 産業。西北の半面は東南の半面に比して土地がよく開け、筑紫平野と熊本平野は農産が最も豊で、良米を産する。熊本鹿兒島の二縣は牧畜が盛で、南部の諸縣には甘蔗甘藷を産し、東南の山地には林産が多い。鑛産は北部に筑豊炭田があつて、わが國石炭産額の大部を占めてゐる。南部の鹿兒島縣には豊富な金坑がある。水産は到る處に多く、殊に長崎縣鹿兒島縣が最も盛である。工業は肥前半島に陶器の産が多く、大分の壘表も著はれてゐる。また製鐵造船その他の大工業は近年著しく西



人口約八百七十三萬。その中西北の半面に住するものは六割に及ぶ。人口一萬以上の市町の数は五十一ある。

都會分布圖



北の半面に發達して來た。要するに西北の半面は生産に富み、人口が稠密で、聚落の發達著しく、都市の大部分はこの方面に集まつてゐる。またこの方面は夙に外國貿易の門戸にあたり、現に長崎・門司を始として多數の開港場がある。これに反して東南の半面は生産が乏しく、人口が疎で、都市も少い。

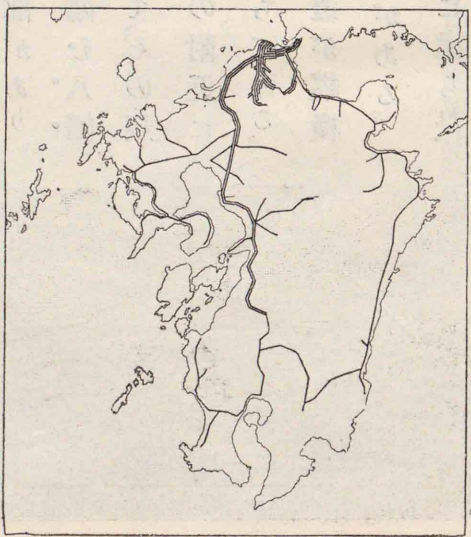
④交通。鐵道は西北の半面によく普及して、鹿兒島線は門司に起り、筑紫平野に至つて長崎線を分ち、更に南走して熊本平野を過ぎ、矢岳の險を越え、鹿兒島に至り、内地幹線の南端になつてゐる。東部には日豊線が通じて、鹿兒島線に連絡してゐる。これらの線路

九州地方鐵道交通圖

からは數多の支線を分ち、筑豊炭田地方には鐵道網が甚だ密である。

一 福岡縣

管轄 筑前・筑後全部 豊前の一部



北は玄界灘と瀬戸内海とに面し、狭い下、關海峡を挟んで山口縣に對する。遠賀川は筑紫山脈の中を北流し、その流域には炭田が極めて多い。

玄界灘の岸には海、中道と名づける沙嘴が突出して、中に博多灣を擁する。平野は灣頭から南に延び、山脈の間を過ぎ、縣の南部筑後川下流の地に及び、大に發展して豐沃な筑紫平野の一部となり、米、菜種の産額が極めて多い。

海、中道の西戸崎は船舶の多く集まる處である。



門司市は鹿兒島線の起點である。

小倉市の西方にある戸畑市人口三、四に明治専門学校がある。

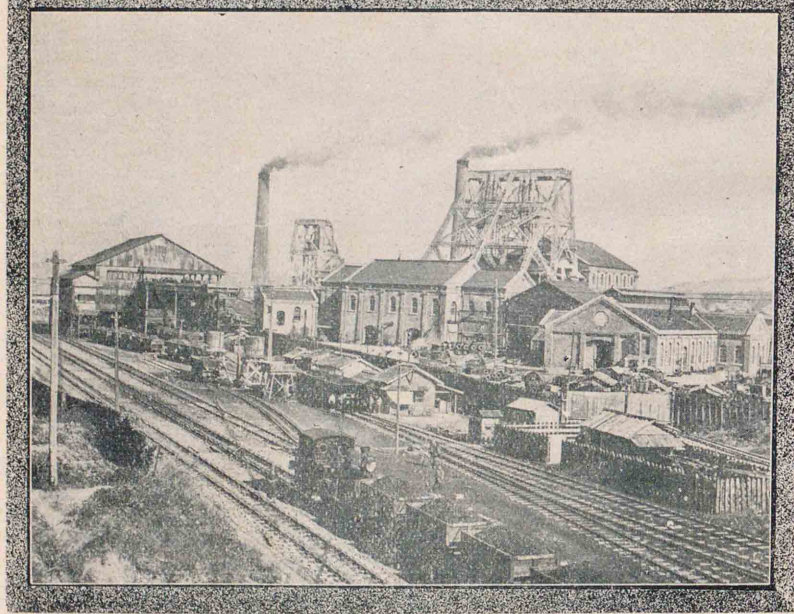
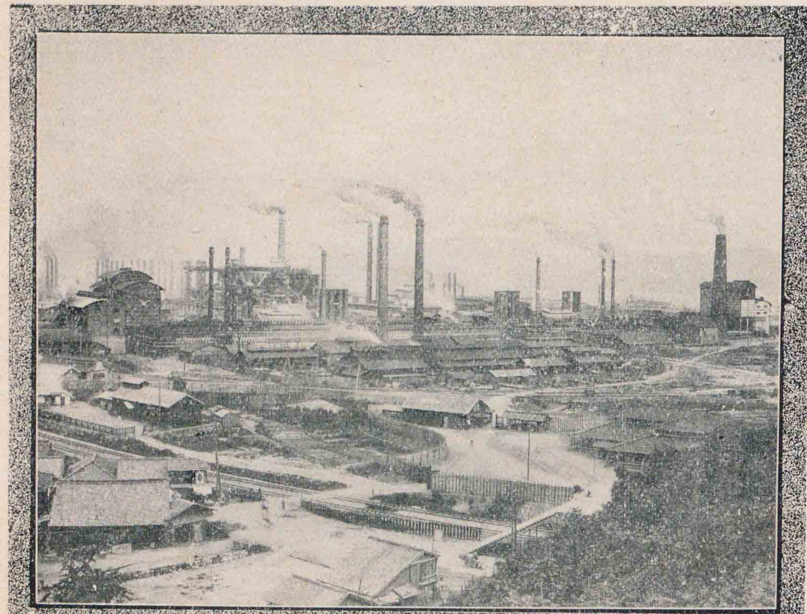
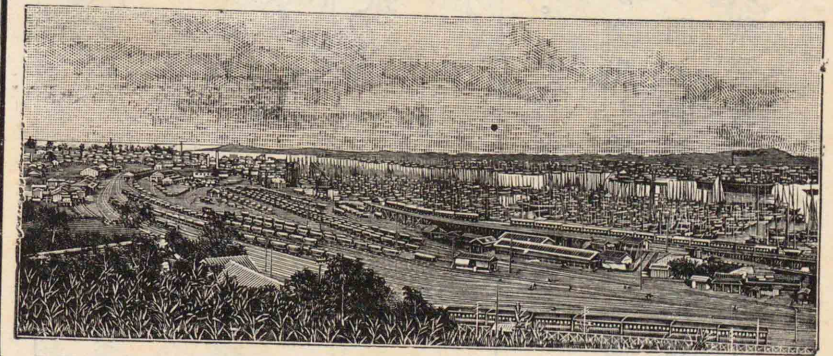
八幡市は製鐵所の創立と共に發達した市街である。製鐵の原料はおもに支那の大冶、朝鮮の載寧タイネイ、殷栗等の嶺山に仰ぐ。

若松市

若松港は帆船の出入の多いこと全國に比類が少い。

縣下戸口が密で、都市が多く、市の數が七に及び、他に比を見ない。

門司市人口八、五は下關海峡に臨む開港場で、下關市と相對し、内外船舶の寄港するものが甚だ多く、石炭の輸出が盛である。その西南の小倉市人口三、五には第十二師團司令部があり、また南に日豊線を分つ。洞海に臨む八幡市人口一、三には官設の製鐵所があつて、その規模は東洋第一と稱せられる。その附近には諸種の工場が櫛比し、活氣が充ちてゐる。遠賀川流域の筑豊炭田には鐵道が縱横に走り、飯塚人口二、九、直方人口三、〇等の中心都邑がある。その産出する石炭は一部は門司に送られ、



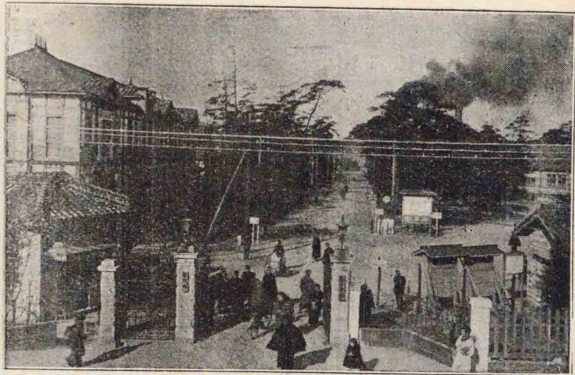
坑田萬池三 (下) 所鐵製幡八 (上)



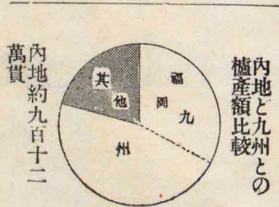
博多灣の西に位する糸島半島の西北端に柱状玄武岩からなる芥屋大門の奇景がある。  
市の東北方には香椎宮・箱崎八幡宮等がある。

九州帝國大學

福岡市に高等學校がある。  
太宰府には太宰府神社があつて菅原道真を祀る。  
柳河・若津は共に有明海岸に近く、清酒を産する。  
久留米市の東北太刀洗に陸軍飛行隊がある。



また一部は洞海の口にある開港場若松市五口に送られて、内外各地に積出される。  
博多灣の南岸にある福岡市二口は縣廳所在地で、福岡博多等の諸部から成り、開港場である。商工業の盛なことは、九州中稀に見る所で、博多織を産する。市の東方の千代松原に九州帝國大學がある。また名勝史蹟が多く、南方の太宰府には古の太宰府の址がある。  
筑後川下流の平野は米粟種の外に多く、櫛を植ゑ、木蠟を製し、また壘表を産する。川に沿ふ久留米市四八には久留米餅の特産がある。その附近に第十八師團





大牟田市には紡績業が盛である。

三池港

佐賀市外に高等學校がある。

司令部が置かれてゐる。南境の三池はわが國第一の炭坑を有し、大牟田市人口がこのために發達した。その附近の三池港は開港場で、石炭の輸出が極めて盛である。

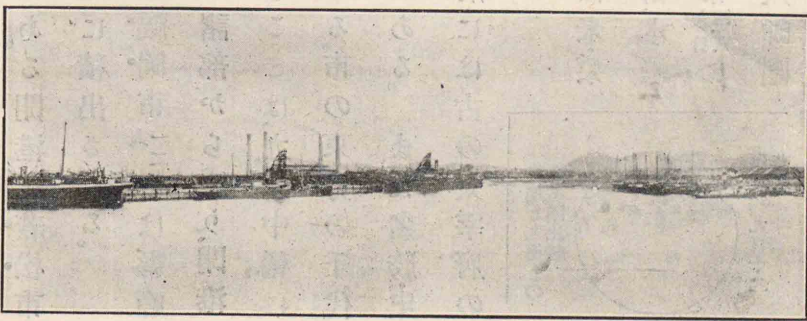
二 佐賀縣

管轄

肥前の一部

南部は筑紫平野の一部で、有明海に面し、農産が多い。北部には筑紫山脈が連つて、炭田が多く、東松浦半島は北岸に突出して、唐津伊萬里の二灣を擁してゐる。

縣の東北部の鳥栖で、鹿兒島線から分れた長崎線は西南に向ひ、縣下を横斷して、長崎縣に出る。佐賀市人口は長崎線に沿ひ、平野の中央に位し、縣廳の所在地である。唐津線はそ

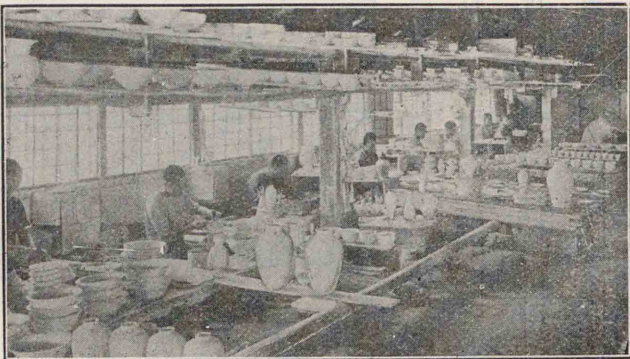


唐津の港は東と西との二部に分れ、西港は大きくて石炭を輸出する。近海は松浦灣といひ古からの名勝である。

有田の製陶工場

東松浦半島の北岸にある名古屋は豊臣秀吉が征韓役の根據地とした處で知られてゐる。

縣下は平地に乏しいから米の産が多くない。甘藷の栽培は盛に行はれ、また牛・豚を飼養する。



て九州島の軀幹と相連り、西彼杵半島は東に大村灣を擁してゐる。佐賀縣との境にある多良岳と島原半島の温泉岳とは共に有名な火山である。

の西で北に分れ、終點に近く唐津の開港場があつて、石炭を輸出する。

長崎線に沿ふ武雄には温泉がある。有田はその西にあつて、陶磁器を産する。鐵道の支線は伊萬里港に通ずる。有明海には牡蠣蛭の産が多く、その沿岸に住江の開港場があつて、石炭を輸出する。

三 長崎縣

管轄

肥前の一部 壹岐・對馬全部

縣の主部は殆ど半島から成り、殊に西彼杵島原の兩半島は僅に諫早の地峽によつて九州島の軀幹と相連り、西彼杵半島は東に大村灣を擁してゐる。佐賀縣との境にある多良岳と島原半島の温泉岳とは共に有名な



温泉岳の温泉には夏季外国人の避暑するものが遠く上海・ホンコン等から来る。

上、温泉岳の温泉

市内に醫科大學・高等商業學校等がある。

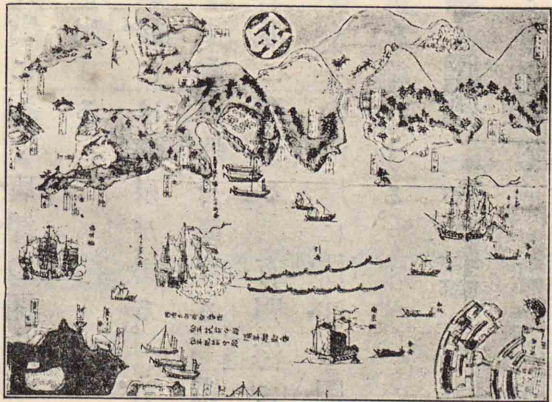
下、長崎古圖

佐世保市は大村灣口の北にある佐世保灣に臨む。



長崎市八口は西彼杵半島の西南に彎入する小灣に臨み、開港場中最も古いもので、鎖國の昔でも支那・オランダとの貿易を許され、西洋の學藝も獨りこの地を経てわが國に傳はつた。市に縣廳控訴院及び壯大な三菱造船所がある。灣外には高島の炭坑がある。

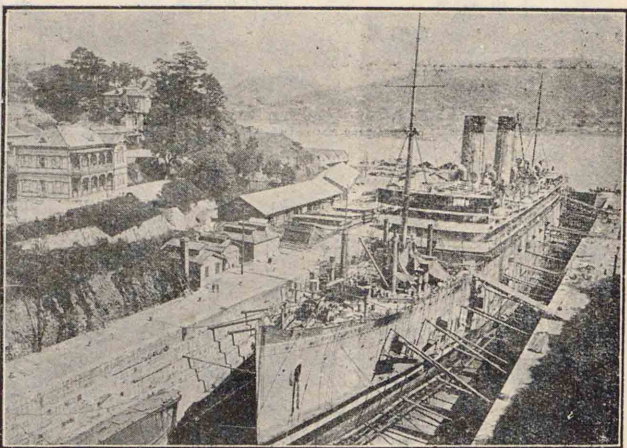
長崎線は大村を経て、大村灣の岸を走り、早岐から支線が分れて、佐世保に通じてゐる。佐世保市九口は第三海軍區の軍港で、鎮守府の所在地である。島原半島には島原及び開港場



福江島の西南端の大瀬崎には無線電信局がある。

三菱造船所乾船渠

三菱造船所は數多の船渠を有し、その規模が壯大である。



縣下到る處水産に富み、鯺海鼠の産が多い。對馬と五島とは鰯で名高く、五島の近海には鯨珊瑚等が捕れる。本縣の水産額は實に九州の第一位を占めてゐる。



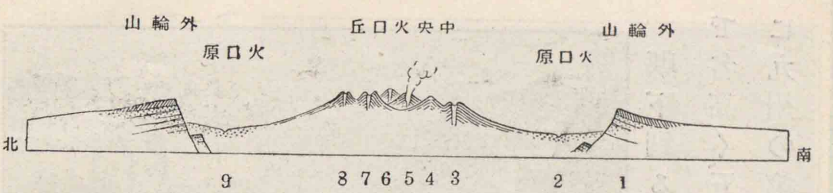
上、阿蘇火山  
断面圖

- 1 大矢峠
- 2 白川
- 3 御籠山
- 4 烏帽子岳
- 5 中岳
- 6 高岳
- 7 往生岳
- 8 杵島岳
- 9 黒川

阿蘇火山の舊火口はその直徑、東西四里、南北六里に及びその中央に火口丘があつて五岳といひ、その一峯中岳は活動してゐる。

下、水前寺  
熊本市の郊外に水前寺(成趣園)がある。

市に醫科大學・高等工業學校・第五高等學校がある。

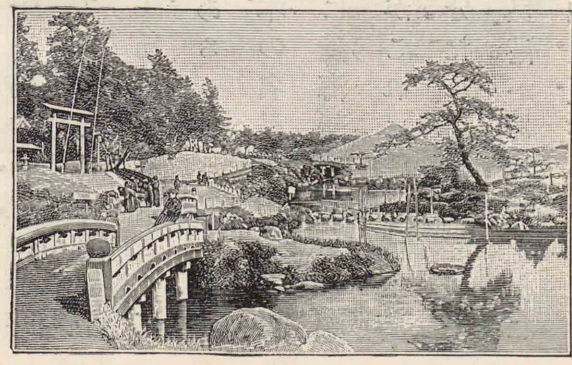


四 熊本縣

肥後全部

東北部には阿蘇の活火山がある。その舊火口の大 きなことは世界第一と稱せられる。熊本平野はその西に横はつて、農業が盛に行はれ、良質の米を産し、また粟の産額が多い。製茶も縣下主産物の一である。牧畜もよく行はれて、多く馬を産する。

熊本市は白川に跨り、縣廳の所在地である。その舊城は加藤清正の築いたもので、今は第六師團司令部が置かれてゐる。菊池川の流域には隈府山



熊本市の北方にある植木及び田原坂は西南の役に激戦のあつた處である。

下、球磨川の峽流

八代の南方には日奈久の温泉がある。

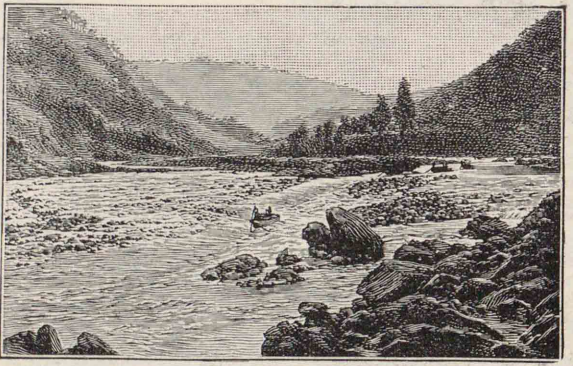
上、人吉・吉松間の鐵道

鹿兒島線には、人吉から南して山間の險を越える際、螺旋狀の迂回をするループ線がある。

鹿等の名邑がある。緑川の口に近く宇土半島が突出して、有明海と八代海とを分ち、その尖端には三角の開港場がある。南部には九州山脈が連り、球磨川の急流がその間を流れてゐる。その河口に臨む八代は水陸の便が多く、木材を集散し、またセメントを産する。中流の人吉盆地の中には人吉の名邑がある。



鹿兒島線はこの地を過ぎ、ループ線によつて矢岳の險を越えて南走する。球磨川の水源地方には五箇荘





の僻村がある。天草群島の下島には無煙炭と陶土を産する。

五 大分縣 管轄 豊前の一部 豊後の全部

阿蘇火山脈は西南境から東北に向ひ、縣下を横斷して國東半島に及んでゐる。温泉の湧き出る處が多く、別府市人口の温泉は殊に名高い。硫黄の産も少くない。

東南部には九州山脈が連り、林産に富み、椎茸の産が多い。山脈の豊後水道に盡き

る處には、佐賀、關

半島を始め、多く

の岬灣が出入し、

その間に佐賀、關

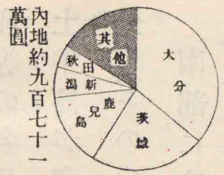
白杵、佐伯等の港

別府及びその附近には泉量極めて豊富で、海岸には砂湯浴場あり、背後の山間には噴氣孔(地獄)が多い。

別府温泉と海地獄

佐賀關製鍊所に於ける金銀の製鍊は全國に傑出してゐる。

内地金製鍊額比較



半島を始め、多くの岬灣が出入し、その間に佐賀、關白杵、佐伯等の港

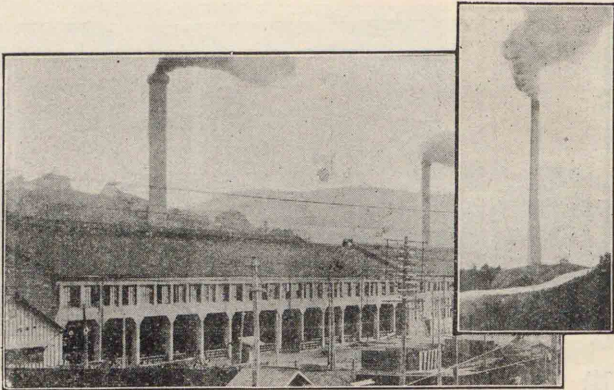


上、佐賀、關製鍊所

附圖は同所の大煙突、高さは約百七十米。大分市に高等商業學校がある。

下、耶馬溪

日田附近に筑後川の支流の水力を利用した大發電所の設備がある。



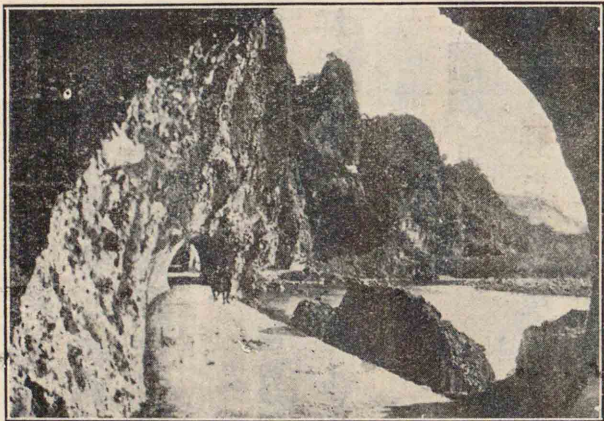
がある。北境には英彦山があつて、山國川がこゝから流れ熔岩臺地の間を刻んで奇岩峨々たる耶馬溪の勝地を

市がある。佐賀、關には壯大な製鍊所がある。別府灣の沿岸から國東半島にかけては壘表の製造が盛で、杵築はその一中心である。別府灣頭の大分市人口には縣廳を置く。

西北部は筑

後川上流の地

で、日田の盆地



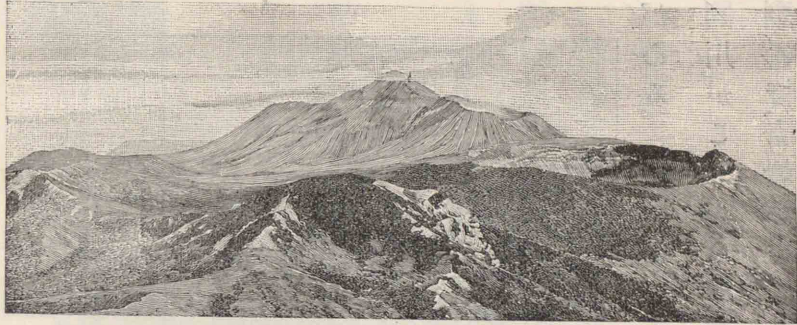


別府灣に注ぐ大野川の上流に沿ひ竹田の名邑がある。

霧島山

中央の高峯は高千穂峯で、その右に「御鉢」火口があつて現今活動してゐる。最も右にあつて近いものは「新燃」火口である。

霧島山麓に霧島神宮がある。



造つてゐる。中津はその河口に臨む都邑である。その東方の宇佐には宇佐神宮がある。日豊線は福岡縣から來て、海岸の諸都邑を連ね、佐伯を経て南進し、宮崎縣に出る。沿海には鱈烏賊の産がある。また佐賀關附近の漁民には朝鮮近海等に出漁するものが多い。

六 宮崎縣

管轄

日向全部

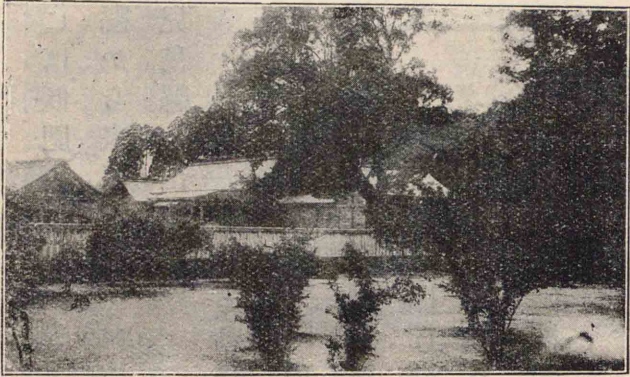
九州山脈は縣下に連り、殊に西北境に於て高峻を極め、西南境には霧島火山が聳えてゐる。地勢は東に傾き、五箇瀬川、美々津川、大淀川等はいづれも並行して日向灘に入る。海岸の出入は極めて少く、港市は北に細島、南に

古墳の最も多いのは佐土原の西北にある西都原である。

宮崎神宮

宮崎神宮には神武天皇を祀る。

都ノ城市附近には養蠶製絲の業が行はれる。



内海・油津があるのみである。内海の北方にある青島には蒲葵その他の熱帶性植物が繁茂してゐる。この地方は太古から既に知られた處で、今尙當時の史蹟を存して、處々に古墳群がある。されど土地がまだよく開けない所があつて、人口の密度は従つて小である。

縣下の大部分は山林原野で被はれ、木材、薪炭、椎茸等の産に富み、大きな竹材を出し、また樟腦を産する。沿海の水産は鱒を主とし、鯉節の製造も盛である。

海岸の平地には延岡、宮崎市等の都會がある。宮崎市は縣廳の所在地で、宮崎神宮がある。西南の内地には都城市、三、六、南部



には**鉄肥**の名邑がある。日豊線は大分縣から來て、本縣のおもな都會を連ね、鹿兒島縣に出る。

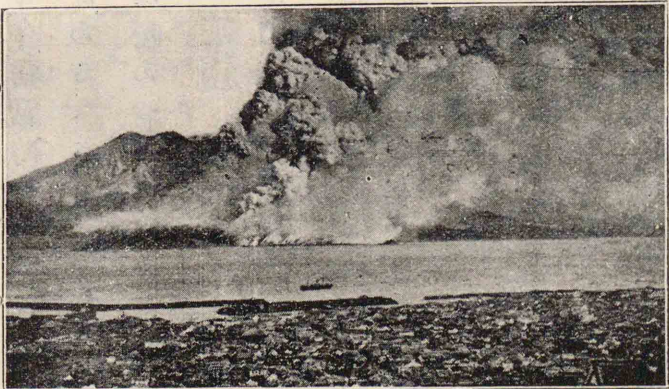
### 七 鹿兒島縣

大隅薩摩 全部

川内川の水力を利用する電氣事業が興り、その上流に發電所の設がある。  
鹿兒島市と噴火當時の櫻島  
櫻島には巨大な櫻島大根の特産がある。



薩摩大隅の二大半島が突出して、鹿兒島灣を抱いてゐる。灣内の火山島櫻島は大正三年に大噴火をして、夥しく熔岩を流し、大隅半島と連續して半島となつた。  
農産は甘藷、煙草、粟等に富み、牧畜も盛で、多く馬を牧し、牛、豚がこれに次ぐ。林産には木材、樟腦等がある。縣下には鑛山が多く、牛尾山、山野等は



### 上、櫻島大根の市場

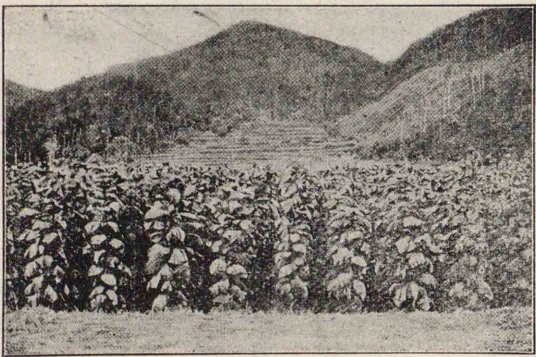
國分の附近に鹿兒島神宮がある。  
鹿兒島市に第七高等學校、造士館、高等農林學校等がある。  
市の背後には城山の史蹟がある。

### 下、國分の煙草畑



處で、開港場になつてゐる。また薩摩、緋摩、燒、錫器の名産がある。川内線は鹿兒島から西半に向ひ、支線を加世田に分ち、本線は川内に通じ、更に北進してゐる。鹿兒島

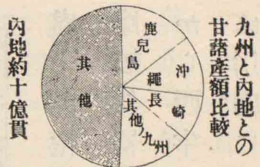
金を産し、本縣は金鑛の産額が府縣第一である。また谷山には錫を出す。近海は水産に富み、鰹、鰯、烏賊の産が多く、鰹節は特に名高い。鹿兒島線は人吉から來て、煙草の産地國分及び加治木を經、縣廳の所在地鹿兒島市に終る。市は櫻島に面し、風景が美しく、島津氏の城市であつた





屋久島の近海に鯉の産に富む。

八重山群島には石垣島・西表島等がある。



灣口の山川は火山の火口に水を通じて港となつた處である。西海岸の加世田附近には砂丘が發達してゐる。甌島の近海には珊瑚を産する。

薩南諸島の中には霧島火山脈に屬する吐噶喇諸島があり、その東北には種子島屋久島がある。種子島は低平で、甘蔗の栽培が行はれ、また畜産が多く、屋久島は高峻で、杉材を産する。南方の奄美諸島は風土や習俗が沖繩縣に似て、その大島には黒砂糖大島紬を産し、名瀬人口から積出す。

### 八 沖繩縣 管轄 琉球全部

琉球諸島は薩南諸島の西南に連つて、共に東支那海の邊緣となつてゐる。北部では沖繩諸島が最も大きく、南部には先島諸島があつて、宮古・八重山の二群に分れてゐる。氣候は溫暖で、雨量が甚だ多く、夏秋の頃颶風の中心は屢この附

近海にはまた鯉・永良部鰻を産する。

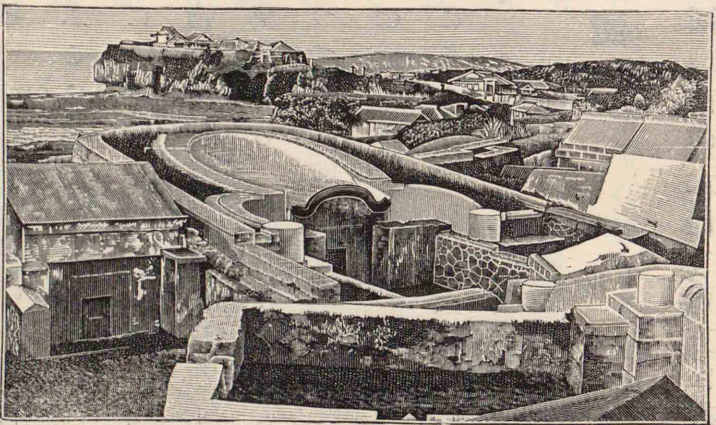
### 沖繩の墳墓

家屋は一般に平屋造で、周圍に高い石垣を繞らしてゐる。

琉球には山藍を産する。

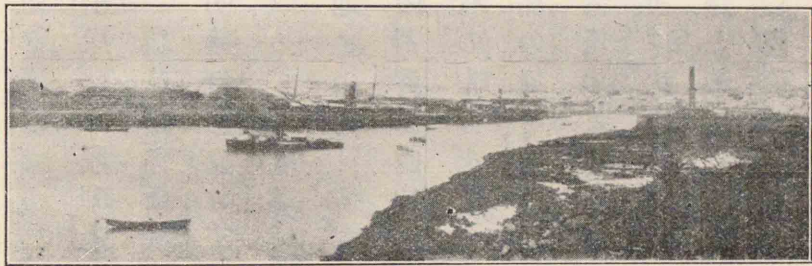
近を過ぎて、九州・四國・本州を襲ふ。島には榕樹・芭蕉等がよく茂り、沿岸には珊瑚礁が少くない。

琉球諸島はもと小王国であつたが、明治の初、改めてこれを藩とし、後更に改めて沖繩縣とした。住民は古來内地との外に支那とも交通し、従つてその習俗は内地と異なる所があつて、特有の方言を有してゐる。また支那南部の風を傳へて規模の大きな墳墓を造營する。人口が密で、近來南アメリカその他へ移民するものが多い。甘蔗を栽培して常食とし、また泡盛を醸し、芭蕉を植ゑて芭蕉布を織り、殊に甘





那覇港



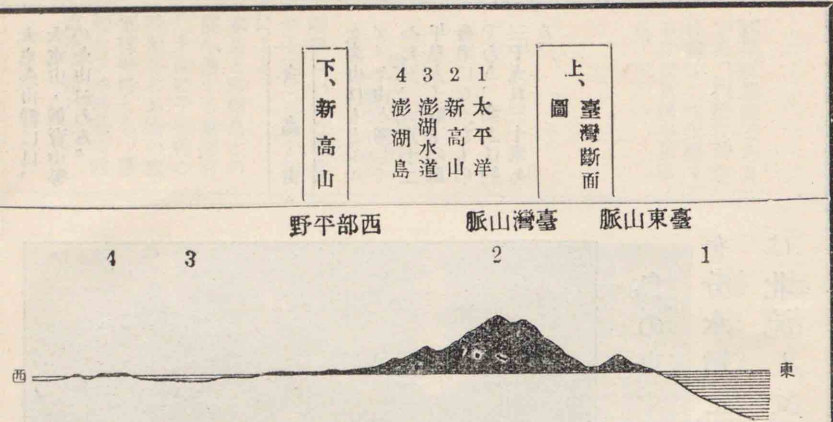
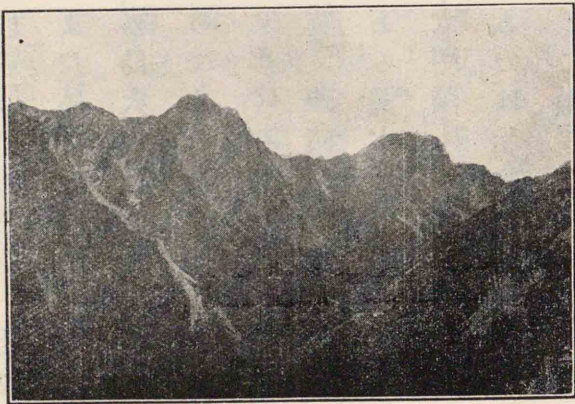
蔗を作つて、これから製する砂糖は縣の主産物である。また豚を飼ふことが極めて多い。  
那覇市五人口は沖繩島にある開港場で、縣廳の所在地である。その産物には琉球緋漆器、夏帽子等があり、また壘表を集散する。首里市二人口はその東方臺地の上にあつて、舊王城の址が残つてゐる。運天港は北部の港市である。  
沖繩島の東方洋中にあるラサ島沖大東島には多く燐礦を産する。

### 第九節 臺灣

●位置。臺灣はわが國最南の大島で、西方は臺灣海峽を挟んで、近く支那に對する。海峽の中

には本島に屬する澎湖諸島がある。

●地形。臺灣島の主軸になつてゐる臺灣山脈は、島の東北端鼻頭角から起つて、南端の南岬に盡きる。山勢が高峻雄大で、新高山、次高山等の高峯を戴いてゐる。新高山はわが國第一の高山で、海拔約三千九百六十米に達する。この山脈は西方に緩斜して、その麓には廣い平野が開けてゐるが、東側は急斜して、その直に海岸に終る處は高い絶壁になつてゐる。東岸には別に臺東山脈があつて、

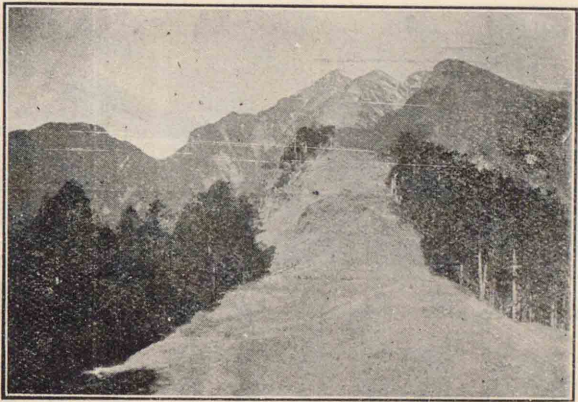




大屯火山群には、大屯山・觀音山等の火山がある。

次高山

次高山はもとシルヴィヤ山と稱してゐたが、大正十二年皇太子殿下の御命名になつたものである、高さは約三千九百三十米ある。



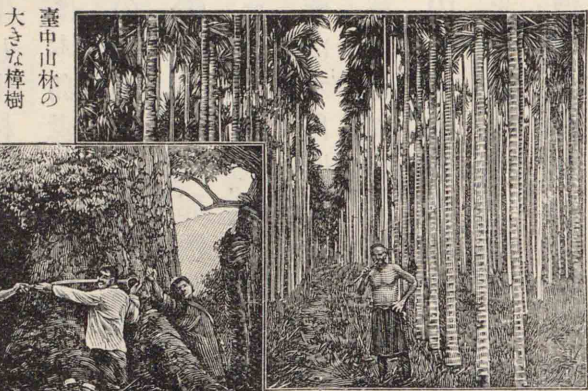
臺灣山脈と竝走し、その間に細長い低地を挟んでゐる。また島の北端には大屯火山群があつて、霧島火山脈に屬する。地形がこのやうであるから、河流の大きなものは西半に多く、平野に出ると俄に數派に分れて廣い砂礫を造るものが少くない。中部にある濁水溪はその著しいもので、大肚溪、大甲溪もさうである。舟運の便のあるものは、北部の淡水河と南部の下淡水溪とに過ぎない。

て、海に入る。

西岸は遠淺であるから、汽船は沖合に碇泊して上陸するには竹筏を用ゐる。

檳榔の造林  
(臺南平野)

暖は一年の雨量が七千三百五十耗に上る。本島と澎湖島との間を通ずる東經百二十度の子午線の時刻をわが國の西部標準時とし、臺灣及び沖繩縣の西南部で用ゐる。



臺中山林の大きな樟樹

海岸の出入はわが國中最も少く、東岸は山岳が直に海に迫つて

ゐるが、西岸は低平で沙洲が多く、また潟湖がある。港灣の見るべきものには北に基隆、南に高雄がある。屬島には臺灣海峡に澎湖諸島、東方の洋中に紅頭嶼等がある。

●氣候

南部は熱帶に入つて、島内一般に氣温が高い。また雨量が多くて、殊に北部はわが國最大の雨量を見る。颶風は屢、近海に起り、風雨の災害を起すことが少くない。低地には熱帶性の植物が繁茂し、竹、榕樹、檳榔等が森林を



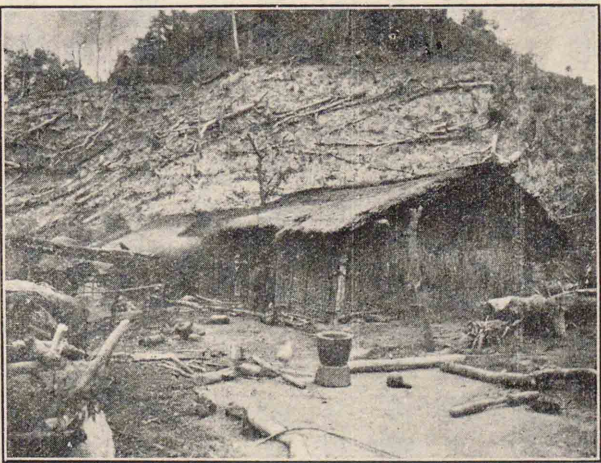
マライ種族の家屋

人口約三百八十三萬。その内譯の概數は左の通り。  
内地人 約十七萬  
本島人(支那種族) 約三百五十五萬  
マライ種族 約八萬  
外國人 約三萬

造り、ヘゴは芭蕉林投樹などと共に叢生し、密林の間には籐が長く纏ふ。樟は本島森林の王と稱せられ、また山間の高地には檜紅檜等の森林がある。

四 住民。支那種族が最も多く、内地人

マライ種族がこれに次ぐ。マライ種族は本島原始の種族で、支那南部から移住して来た支那種族に逐はれて、山中または臺東地方に住み、その中部以北の山中に住むタイヤル人は性質の慍悍なので知られてゐる。マライ種族の中には支那種族の感化を受け、山麓の地に土著して、農民となつてゐるものもある。本島の政務は臺灣總督府が掌る。總督府の下には五州二廳があ



五州二廳の名稱左の通り。

臺北州  
新竹州  
臺中州  
臺南州  
高雄州  
臺東廳  
花蓮港廳

稻の收穫

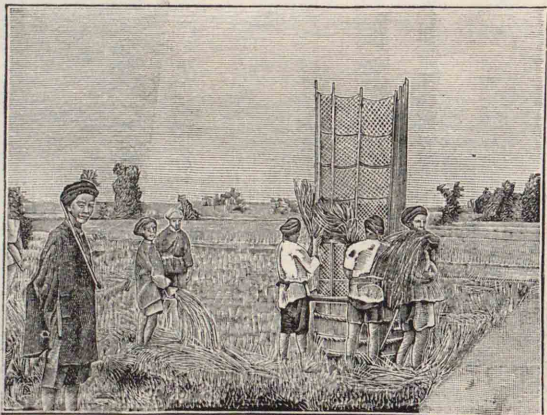
甘蔗産額比較(本日列島約十億貫)

| 種別 | 産額   |
|----|------|
| 本島 | 約十億貫 |
| 内地 | 約十億貫 |

る。また警備のため守備隊が置かれる。臺灣總督は内地の地方長官と異つて、立法司法の權を委任せられてゐる。

五 産業。島民のおもな産業は

農業で、米は西部の平野に産し、一年二回の收穫がある。茶は多く北部の丘陵地に作られ、烏龍茶及び包種茶に製せられる。甘蔗は中部以南の平野に産し、製糖業が著しく發達して、壯大な製糖工場が處々に設けられ、砂糖は實に本島第一の産物である。その粗製糖は内地の精製糖會社に原料として供給せられる。この他農産には甘藷、落花生、苧麻、黃麻等





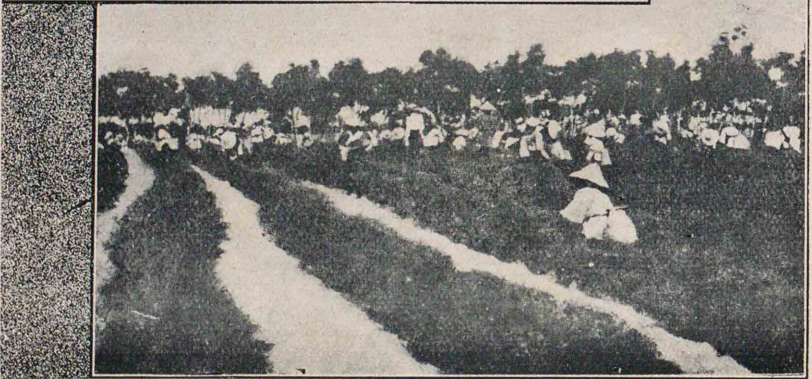
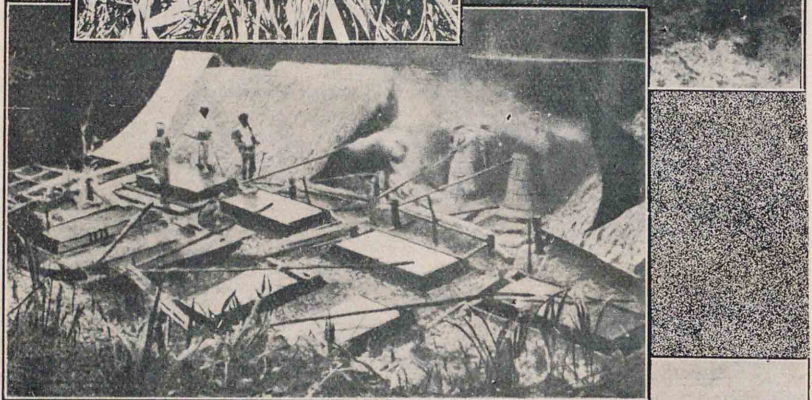
臺灣の産業

蔗園



阿里山の檜林

樟腦製造の腦灶



臺北の茶園

黄麻

がある。また文旦、鳳梨、バナナ、龍眼、肉その他の果物に富み、バナナは多く内地に送られる。

中部の

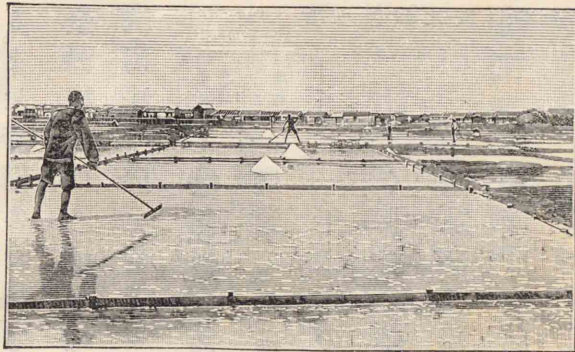
山林には

檜、紅檜等



天日製鹽

總督府は阿片を輸入して精製し、樟腦・食鹽と共に專賣する。



の良材が多く、阿里山の大森林は殊に著しい。樟腦は本島の一富源で、世界需要額の大部分を占める。家畜には水牛、黄牛、豚、山羊等があり、また家禽の飼養が盛である。

鑛産は北部に金、銅、石炭、硫黄を、中部に石油を出し、本島はわが國主要産金地の一である。西南の海岸には天日製鹽が行はれ



臺灣の貿易總額は内地との分を合せて約貳億九千萬圓に及ぶ。

西海岸には支那型船の通商に限る數箇處の特別開港場がある。

臺灣總督府

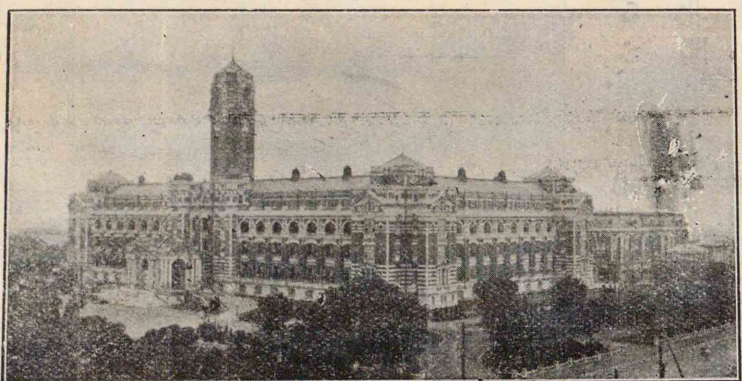
臺北市に高等學校、高等商業學校、高等農林學校及び醫學專門學校等がある。

る。手工品には大甲筵、林投帽を産する。貿易はおもに基隆、淡水、安平、高雄の四開港場で行はれる。

⑥交通。鐵道はほゞ西部の平野を南北に貫き、また多くの専用線を糖業地に分つてゐる。汽船は内地支那、マライ諸島との間に定期航海を營み、海底電線は九州地方に通じ、また對岸の支那南部とも連絡する。

### ⑦地方誌

北部。おもに淡水河の流域を占め、その沿岸にある平野の中央に臺北市、人口が三が、ある。全島の首都で、城内大稻埕、その他に分れる。城内には總督府、高等法院等があり、大稻埕





基隆築港の繫  
船岸壁

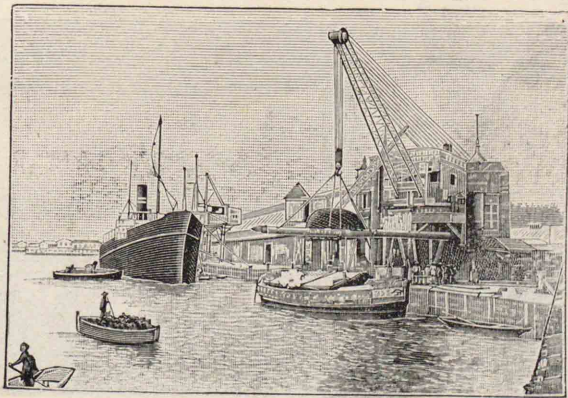
基隆は長崎を距ること約六百海里。

は商業が最も盛で、烏龍茶及び包種茶を製し、多くこれをアメリカ合衆國に輸出する。市の北部にある臺灣神社には征臺の役に陣歿せられた能久親王を合祀する。

北投温泉は大屯山の麓にあつて、泉量に富み、ラヂウム放射能が大で、浴場の設備もよく整つてゐる。

淡水河の口に臨む淡水滬尾人口は開港場で、支那との通商がよく行はれる。

淡水河の支流基隆川を遡つて海岸に出ると、基隆人口がある。自然の良港を更に修築した好開港場で、本島の北門にあたり、内地との交通が最も頻繁で、また縦貫鐵道の起點となつてゐる。製茶樟腦



林投帽の製作

日月潭の水による發電所は十三萬馬力の電力を發生する計畫である。

等の輸出が盛に行はれる。港の東には瑞芳、金瓜石等の豊富な金坑があり、石炭も附近の丘陵に産する。東岸には別に宜蘭の小平原があつて、苧麻の産が多い。蘇澳は港内が狭いが、好錨地である。

中部。この地方の平野は米、甘蔗の産が多く、また木藍、落花生を産し、臺中市人口、彰化等の都會がある。海岸にある鹿港、梧棲等の特別開港場では、支那との貿易が行はれる。大甲には大甲筵、林投帽等を産する。山岳地方には樟腦を産することが極めて多く、苗栗、斗六等で集散する。埔里は山間の盆地にある名邑である。その南方の日月潭は風景の美しいので、名高く、その水力を利用する大規模の發電所が設けられ





龍眼肉

落花生からは油を取る。また鳳梨は美しい果實を産し、その葉からは布を製する。

臺南市街

臺南市に商業専門學校がある。



製造が甚だ盛である。また落花生鳳梨檳榔子龍眼肉等を産する。海岸には天日製鹽が行はれる。

縦貫鐵道は嘉義<sup>四〇</sup>を経て臺南<sup>八〇</sup>を過ぎる。市は本島第二の都會で、最も古くから開け、オランダ人の城塞の址、鄭成功の廟等史蹟が少くない。安平<sup>ジヤウサイ</sup>はその港市で、開港場となつて、砂糖と食鹽とを輸出する。高雄

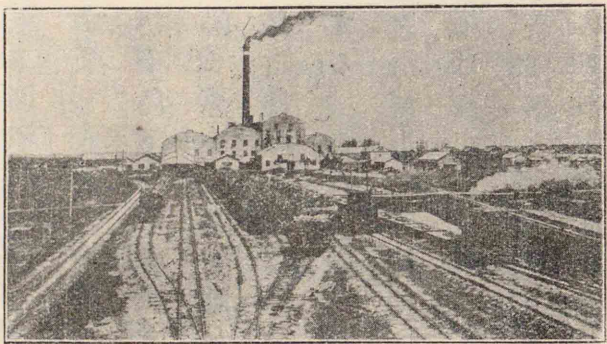


鳳山の東北方に位する屏東は製糖業の中心である。恒春附近の牡丹社の土人は明治の初年に琉球の漂流民を殺害したためこれを征討したことがある。

鹽水港製糖會社工場

人口は潟湖の口に位する開港場で、盛に砂糖を輸出する。鳳山<sup>ホウサン</sup>は内地の名邑で、その附近には鳳梨の産が最も多い。恒春<sup>コウシュン</sup>は本島の南端に近い小邑で、年平均氣温が二十四度半に及ぶ。

東部。土地が未だよく開けず、マライ種族は部落を造り、中には農業を力めるものもある。卑南平野にある臺東(卑南)はこの地方の主邑で、北部の奇萊平野には花蓮港がある。共に船舶の寄泊に便利でない。兩地の間は鐵道及び軌道で連絡してゐる。東部平野にはまた内地人の移民が農村を開いてゐる處がある。



澎湖諸島。大小の低平な島が集まつてゐる。中にも澎湖・漁翁・白



澎湖諸島は一般に低平で、海拔五十米を超える處がない。

北海道本島断面圖

- 1 太平洋
- 2 十勝河口
- 3 石狩岳
- 4 オプタテシケ
- 5 旭岳
- 6 上川盆地
- 7 旭川
- 8 苫前
- 9 日本海

天鹽山脈

十勝平野

- 9 8 7 6 5 4 3 2 1



沙の三島は相圍んで一灣を造り、馬公港はその支灣にある好錨地で、海軍の要港である。また特別開港場にもなつてゐる。

### 第十節 北海道

●**位置**。北海道は北海道本島及び千島諸島から成立つてゐる。本島は南は津軽海峡を隔てて本州島に、北は宗谷海峡を隔てて樺太に隣り、千島諸島の北端はロシヤ領カムチャッカ半島の南端に對する。これらの諸島の内側には日本海及びオホーツク海があり、外側には太平洋があつて、日本海溝が近く横はつてゐる。

●**地形**。本島の軀幹はほぼ斜方形になつてゐて、山がちな渡島半島は大魚の尾のやうにその西南部に連つ

旭岳



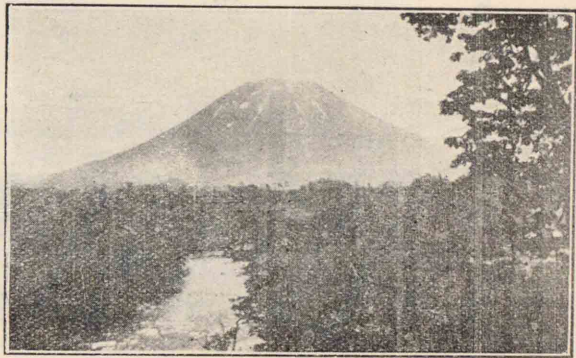
てゐる。本島の主軸になる山脈は南は襟裳岬から北は宗谷岬に至り、南部には日高山脈、その西に沿ふ夕張山脈、北部には北見山脈、その西に横はる天鹽山脈がある。

千島火山脈は本島を横斷し、島の東部に雄阿寒雌阿寒等の火山を起し、中央に至つて主軸山脈と交はる處には、本島第一の高峰旭岳を始め石狩岳、十勝岳等が聳えてゐる。その餘脈は西に延びて樽前有珠等の活火山を起し、終に渡島半島から北進する、那須火山脈と會し、マッカリスフリ(蝦夷富士)の秀峰を噴起してゐる。那須火山脈に屬するものには、惠山と駒岳とが最も著しい。かやうにおもな山脈と火山脈とはほぼ十字形になつて、本島軀



マツカリヌプリ(蝦夷富士)

夕張山脈の西方には日本海岸から太平洋岸まで連る広い平野がある。



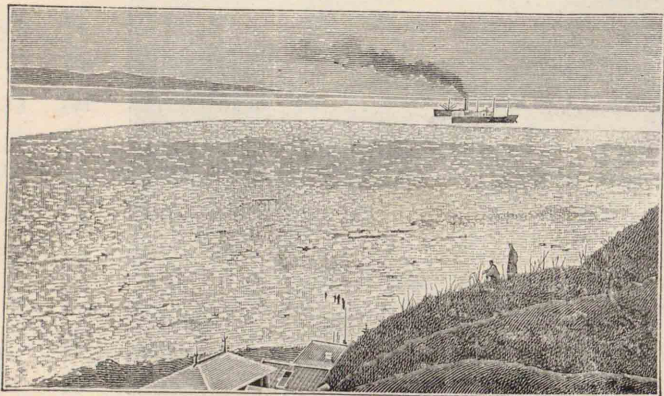
幹の對角線上を走つてゐる。それで各線間の地は、四邊の海岸に緩斜し、河流は中央から放射して、その沿岸に廣い平野を造る。河流の最も大きなものは石狩川で、源を石狩岳に發し、島の中央にある上川盆地を灌ぎ、神居古潭の峽流を造つて、夕張山脈を貫き、石狩平野に出て、日本海に注ぐ。天鹽川は北見山脈と天鹽山脈との間を流れて、また日本海に入る。太平洋の斜面では十勝川、釧路川等がおもなものである。これらの川流は平野を流れるとき甚しく屈曲して、沿岸に沼澤を造つてゐるものがある。また湖沼は火山地方に少くない。海岸の出入は比較的乏しい。東岸には知床、花咲の兩半島が突出

内浦灣は沿岸に火山が多いので、一に噴火灣と名づけられる。

北海道本島東岸の流水

して、根室灣を抱き、西岸には石狩平野に面して小樽灣がある。渡島半島の頸部は内浦灣を擁し、半島の南部には函館灣がある。それは沙嘴の著しく延びて、サロマ湖のやうな大きい瀉湖を造つてゐるものもある。

**●氣候** 冬季はやゝ寒冷で、上川盆地、十勝平野は殊に甚しいけれども、春になると温度が俄に上り、植物が能く生育する。東南の海面には、夏は親潮の寒流が、東南風を送る濕氣を冷却せしめて、著しく海霧を生ずる。また冬から春にかけて、本島東岸及び千島近海には、オホーツク海沿岸の海水の結氷したものが漂つて來て、





人口約二百三十六萬。人口一萬以上の市町は二十八ある。

人口密度はその最も大きな渡島半島でも、尙本州最小の岩手縣に及ばない。

アイヌ人は體格が偉大で、男子は毛深い。有夫の女子は口邊に黧する風習がある。

鮭の大漁(小樽附近)

北海道は左の十一國から成る。

- 渡島 後志
- 石狩 天鹽
- 釧路 日高
- 十勝 釧路
- 根室 北見
- 千島

流水となる。海霧と流水とは共に海員に恐れられる。

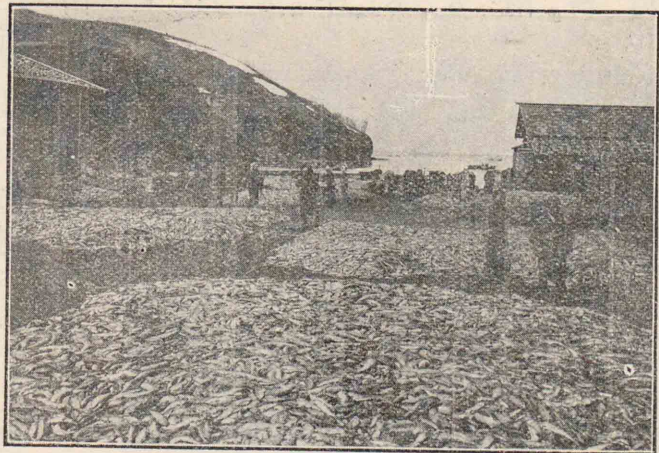
④住民。古來の住民はアイヌ種族であつたが、明治の初年以來、政

府は大に内地人の移住を奨励し、開墾に力めたから、土地が開け、戸口が次第に増加するやうになつた。しかし人口の密度は尙日本列島平均の九分の

一に及ばない。またアイヌの數は漸く減じ、今は僅に一萬七千餘で、多くは南部の平野に住する。

本道は北海道廳の管轄に屬し、その下に六市十四支廳がある。

⑤産業。近海には寒暖の二流が魚族を伴つて來るから、世界三大漁場の一



鮭は搾粕・身缺鮭等として本州その他に送られる。

水産物の主産地はおよそ左の通り。

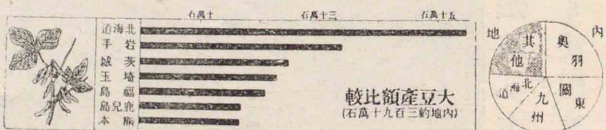
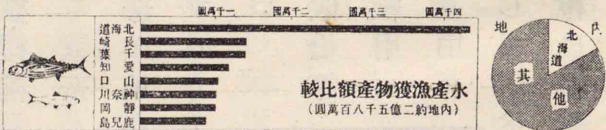
- 鮭。石狩・根室
- 鱒。千島及び本島各處
- 烏賊。渡島半島
- 鱈。本島南海岸
- 鱈。本島近海各處
- 昆布。南海岸寒流地方

農業は本道の主業であるが、その行はれてゐる處は尙全道可耕地の九分の一に過ぎない。

となつてゐる。されば水産は本道のおもな産業で、その最多額の産ある鮭は食料並に肥料として内地に供給せられる。日本海岸はその主産地である。昆布・鮭・鱒・烏賊・鱈等はこれに次いで多く、或は鹽藏とし、或は乾製として支那に輸出せられるものが多い。

農業の最も開けてゐるのは、石狩平野であつて、西洋の農法に則つて動物と機械とを用ゐることが多く、耕地の規模も壯大である。

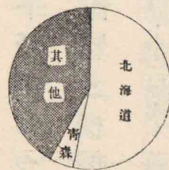
大豆・小豆・菜豆等の豆類はその産が遙に他の地方に優り、穀物には米・稗・麥・小麥・燕麥・蕎麥・黍・野菜には甘藍・玉葱が多く、その他菜種・薄荷に





馬鈴薯から澱粉を  
玉蜀黍から酒精を  
取る。

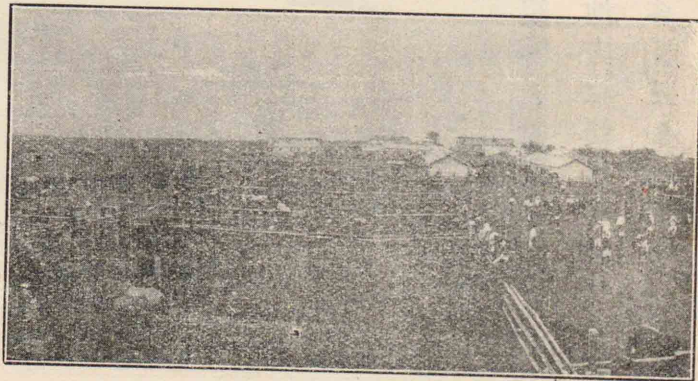
釧路平野に於  
ける馬市



内地約二億八千  
七百萬貫

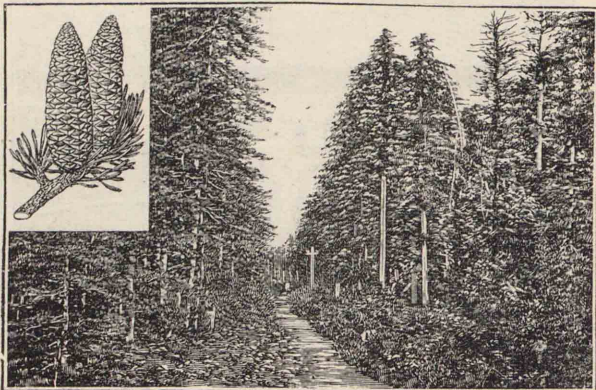
方に多く産し、新冠牧場は名馬を出すので特に著れてゐる。牛豚もまた少くない。

林産の最も重要なものは蝦夷松、榎松等で、これらはおもにパルプに製し、製紙用に充てられ、或は白楊と共にマチの軸木用に供せられる。檜材は建築材その他として用途が廣く、近年鐵道枕木として盛に輸出せられる。また刺楸は器具材として遍く使用せ



北海道は銑鐵の産  
出が内地第一位を  
占めてゐる。

榎  
松  
林

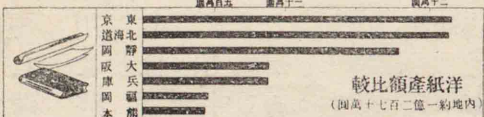


が行はれてゐる。

六 交通。函館線は渡島半島の南端にある函館から起つて北に向ひ、石狩平野に出で、室蘭線を分つて、内浦灣口の

られ、榎の皮からは鞣皮用のタンニンを取る。

鑛産の最もおもなものは石炭で、夕張山脈には豊富な炭山があつて、その産額は九州に次ぐ。渡島半島及びその附近には金、銀、銅、滿庵及び硫黄の産が少くない。工業では大工業が盛に興つて、製紙、製麻、製鋼及び麥酒、清酒、酒精の醸造、澱粉、麥粉の製造等





汽船の往來は西海岸には頻繁であるが、東方には盛んでない。殊に千島諸島は半歳の間航行が絶える。

五稜廓の水切  
函館市は青森を距ること約六十哩。



室蘭に送り、また數多の支線を諸炭山その他に出し、本線は更に北走し、瀧川から東南根室に至る根室線を分ち、上川盆地の旭川に終る。旭川からは更に宗谷線が北に向ひ稚内に至り、根室線からは網走線が分れる。これらの地方の外にも、主要な道路は開拓の初によく開かれたから、交通に甚しい不便がない。

### 地方誌

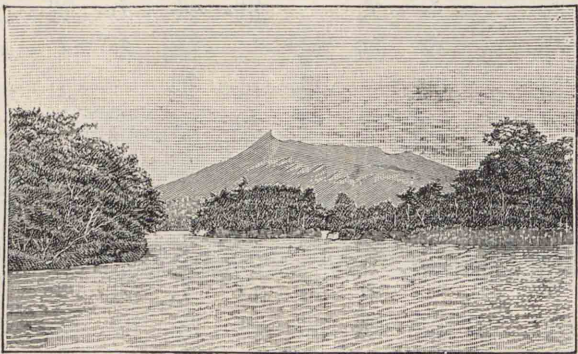
北海道本島。渡島半島の南端にある函館市一五二は本道の門戸にあたる自然の良港で、開港場になつてゐる。商業が盛に行はれ、水産物を支那に輸出する。附近の五稜廓で製する氷は多く本州に輸送せられる。函館の北方駒岳の麓には風景の美しい大

渡島半島の古武井岩雄登には硫黄、イハツクリ、美利加には滿徳の産が多い。

上、大沼公園と駒ヶ岳

下、小樽港

岩内に近い國富鑛山は金、銀、銅を産する。

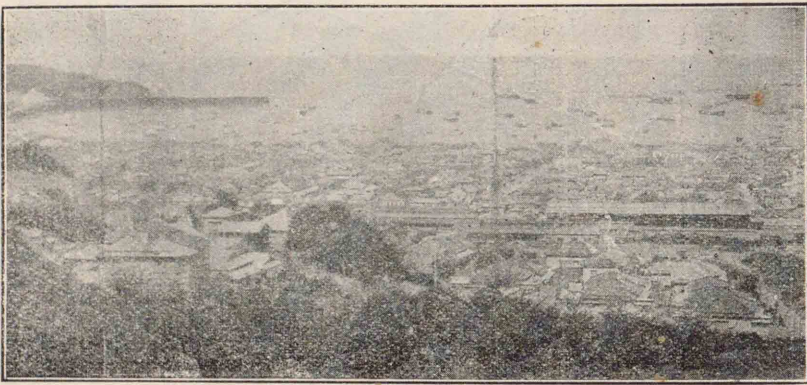


沼公園がある。

半島の西南端にある福山は昔の松前で、本島最古の都會である。西岸には江差の港市並に鮮魚場の中心である壽都、岩内等がある。函館線は半島を縦走して、小樽に出る。

小樽市に高等商業學校がある。

小樽市二〇〇は本道第一の開港場で、港灣の設備がよく整ひ、本道西部の商權を握り、その外國貿易は内地との取引と共に、盛で





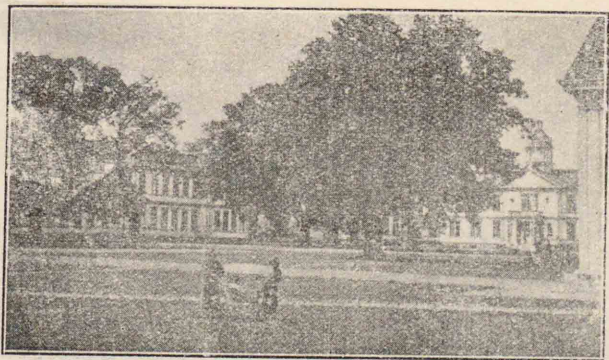
札幌市に控訴院がある。

北海道帝國大學

ある。港はまた水陸交通の要點にあたり、沿岸航路の起點になつてゐる。

小樽から東に進み、石狩平野に入る。石狩川の支流豊平川に沿ひ、札幌市人口がある。道廳所在地で、街路が廣く、市區がよく整つて碁盤の目のやうである。市に北海道帝國大學を置かれ、また麥酒、製麻等の大工場がある。その東方の江別には製紙業が行はれる。

岩見澤人口は平野の中央に位し、鐵道の交叉點に發達した市街である。その東に連る夕張山脈の中には空知、幾春、別、幌、内、夕、張、五、二等の有名な炭坑がある。室蘭線によつて平野を南進すれば、南海岸に苫小牧の名

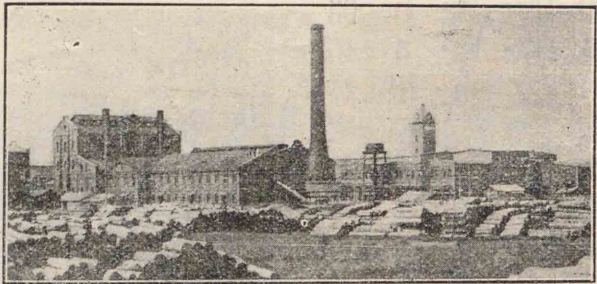


トヨヒラ

室蘭の西北にある紋艦には亞麻を産する。

上、苫小牧の製紙工場

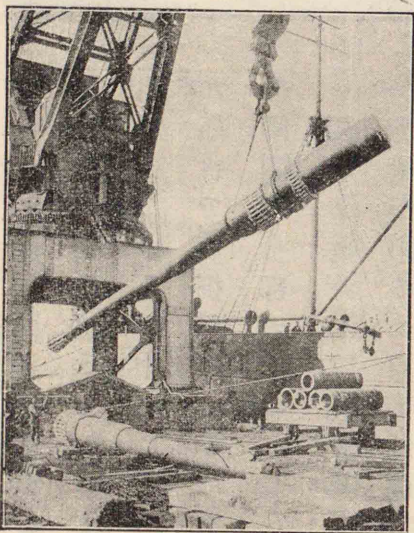
下、室蘭製鋼所に於ける十四時砲の船積



邑があつて、洋紙及び石灰窒素の製造が盛である。これから西に進めば内浦灣口の開港場室蘭市人口に至る。市は石炭の輸出が盛で、また壯大な製鋼所の設がある。その東北には湯量の豊富な登別の温泉がある。日高山脈の西南麓にはアイヌ人の多い平取の名邑がある。また有名な新冠牧場があつて、良馬を産する。

見澤から石狩平野を北進し、瀧川で根室線を、深川で留萌線を分ち、本線は東に折れて、夕張山脈の峽

函館線は岩

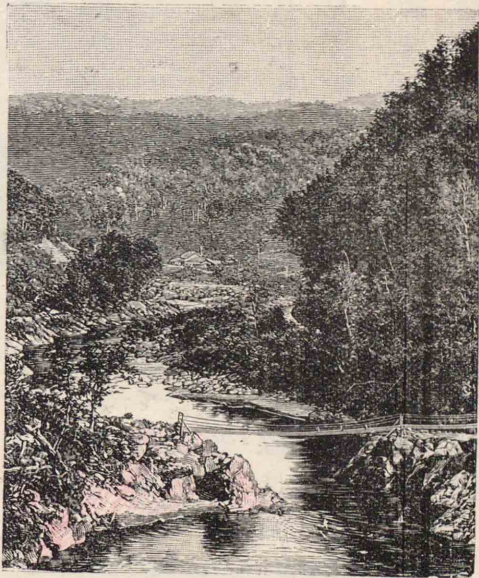




旭川市にはマツチ  
軸木を産する。

神居古潭

旭川の東南には石  
狩川の上流に層雲  
峽の勝地がある。



谷にある神居古潭の勝地を  
過ぎ、上川盆地に入る。  
旭川市人口はその中心に興つ  
た都會で、市街が好く整ひ、第  
七師團司令部がある。  
西北の海岸には留萌・増毛  
の漁港がある。東南斜面に  
は、廣大な十勝平野があつて、  
開拓が次第に歩を進め、その中心に帯廣の都邑がある。瀧川から分  
れる根室線はこの平野を貫き、更に釧路平野に入る。釧路川口の  
釧路市人口は開港場で、その附近には漁利が多い。厚岸灣の岸には  
厚岸の名邑があつて、附近に昆布及び牡蠣を産する。根室は花咲  
半島の開港場で、冬季結氷するときは、商船はその背面の花咲港に

花咲港の南方落石  
岬に無線電信局が  
ある。  
西別川の畔には壯  
大な鑛詰工場があ  
る。  
千島の面積は四國  
に等しいが、人口  
は一萬五千に過ぎ  
ない。

樺太断面圖

- 1 オホーツク海
- 2 富内湖
- 3 豊原山
- 4 留多加田
- 5 野宮海峽
- 6 間宮海峽



入る。根室灣に注ぐ西別川は、有名な鮭鱒の産地である。東北の海岸には網走人口の名邑がある。北端に近い稚内は旭川から北進する宗谷線の終點で、樺太渡航の起點である。

千島。根室灣から東北に向つて連る三十餘の火山島を千島列島と云ふ。北海道本島に近く國後擇捉の二大島があり、東北端には占守島がある。擇捉島の紗那は列島の主邑である。鱒鱒硫黄は千島の主産物で、近海にはまた海獸が棲む。

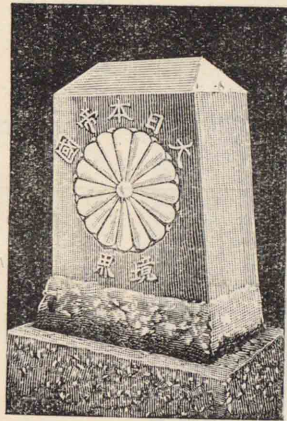
第十一節 樺太

●位置。樺太島は北海道本島の北に位し、その間に宗谷海峽を挟み、東はオホーツク海に臨み、西は間宮



樺太境界の標石

右、北面  
左、南面



太山脈との間に低地を挟む。北部の低地には幌内川が、ロシア領の流域で、本島の最も重要な處である。

海峡を隔てて、シベリヤに對する。島の南部、北緯五十度以南の地は、わが國の領土である。

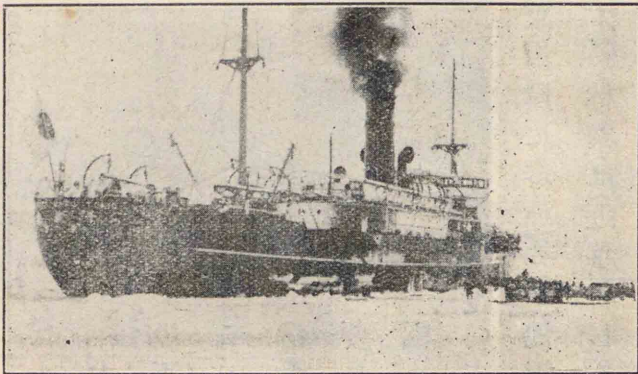
●地形。島は細長く南北に延び、その南端は分れて能登呂中知床の二半島となり、亞庭灣を包み、東岸には北知床半島が突出して多來加灣を擁する。

西樺太山脈は島の主軸で、西に偏して南北に連り、これとほぼ平行して南に鈴谷山脈、北に東北山脈があり、西樺

幌内川流域のツンドラには苔類が密生し、矮小な落葉松が疎生して地下には泥炭を産する。

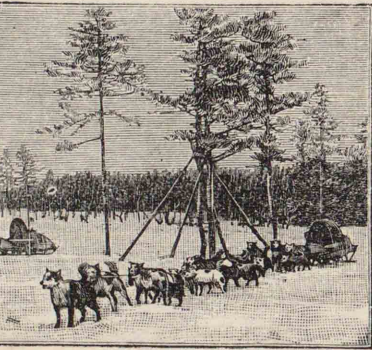
上、亞庭灣の結氷

下、落葉松林と犬橋



貂等が多く棲み、多來加灣外の海豹島は膾炙の繁殖所である。犬と馴鹿は家畜の重要なものである。

●氣候・生物。北海道本島よりは温度がやや低く、幌内川流域の低地はツンドラとなつて、夏季も地下一二米の處から下は凍結してゐる。冬季は東岸及び南岸では海面が結氷して、流水が多い。夏季は屢濃霧に閉される。蝦夷松、椴松、落葉松等の森林があつて、麝香鹿、狐、



東土帯  
ツンドラ  
カサノ

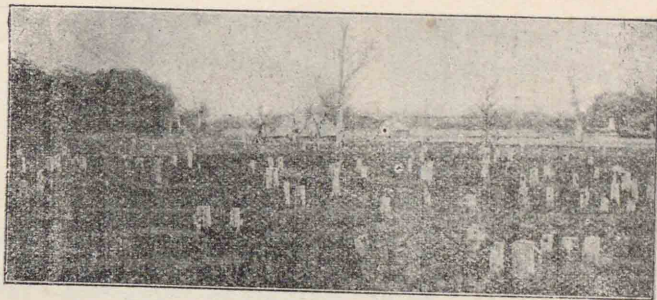


上、新開地

九支廳の名稱は左の通り。

豊原 大泊  
留多加 本斗  
眞岡 泊居  
鶴城 元泊  
敷香

下、蟹 漁



東海岸に多い。この他鱈、蟹、昆布等の産がある。林業は近年著しく發達し、パルプ工業

④ 住民。本島古來の住民はアイヌ・オロチョン・ギリヤク等であるが、今はその数が少く、住民の多くは内地から移住したもので、人口の密度が甚だ小である。

本島の行政は樺太廳の下に九支廳があつて、これを掌つてゐる。

⑤ 産業・交通。水産は主

要な産業で、鮭の漁獲が極めて多く、西海岸はその主産地である。鱈、鮭は



下、パルプ用木材の故流内淵川

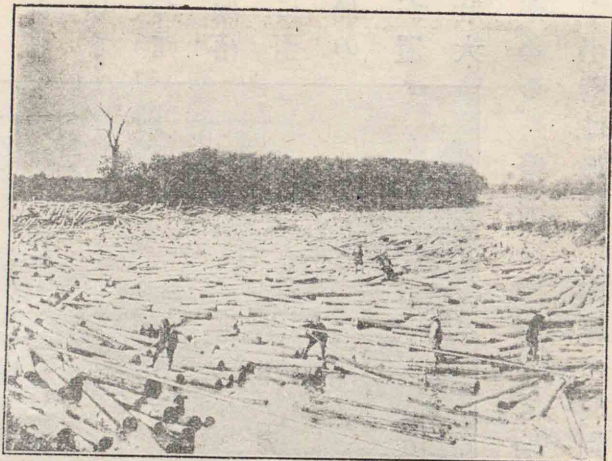
上、スキー



が大に興つて來た。農業は南部の低地に行はれ、燕麥、稗麥、馬鈴薯等を産する。鑛産には

内淵川の流域に炭田がある。陸上の交通は尙不便で、鐵道は僅に南部の低地と西海岸とにある。

冬季は一般に橇によつて往來する。海上には沿岸諸港間及び内地との間に汽船の便があるが、冬季は交通の絶える處が多い。

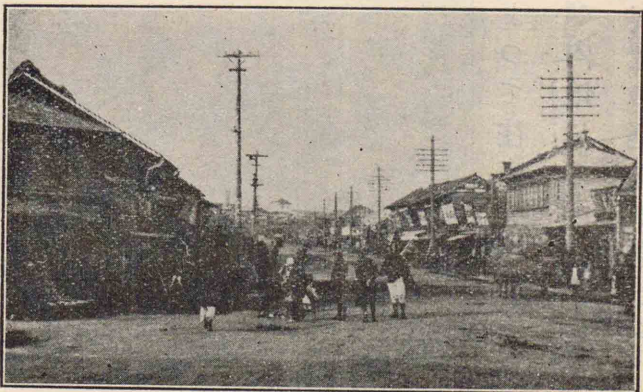




六 地方誌

大泊は亞庭灣の北岸に位する開港場で、本島の門戸であることは北海道に於ける

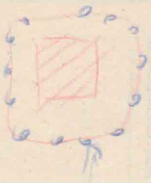
函館に似てゐる。また漁業の中心である。鐵道によつて北進すれば豊原落合を経て榮濱に至る。豊原は本島の主邑で樺太廳が置かれ、落合には壯大なパルプ工場がある。榮濱は南部の低地の北端に位する小港である。西岸の眞岡



冬季港面が凍結するから大泊港に入する汽船には碎氷の装置がある。

下、大泊

上、豊原



眞岡は不凍港である。

豊原防風林

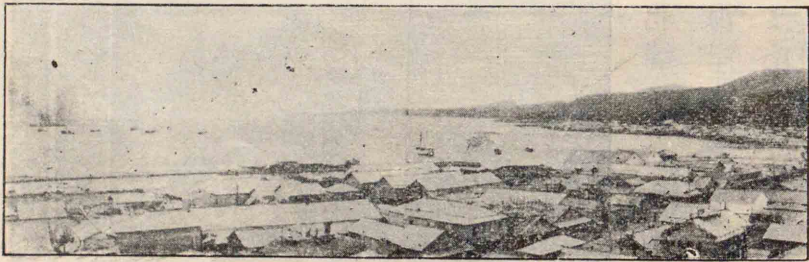
は開港場で、緋漁の中心である。泊居は附近に石炭を産し、またパルプ工業が行はれる。敷香は多來加灣に臨む小邑で、毛皮を集散する。この地はわが國最寒の地で、年平均氣溫零下一度に及ぶ。

第二章 朝鮮

第一節 地文

●境域。 朝鮮はアジヤ大陸の東部に突出する半島で、東は日本海に臨み、西は黃海に瀕し、南は朝鮮海峽を隔てて、對馬に對する。北は鴨綠江長白山脈及び豆滿江によつて支那の滿洲と境し、東北隅は豆滿江の河口で、ロシアのシベリヤに接する。その面積は本州に比してやゝ小さい。

●地形。 半島の地形は南北趣を異にし、北部は概



眞岡



朝鮮人の家屋は概ねその床下に温突ウォンダクを設けて、冬季暖房の用に供する。雨季は六月から八月に及ぶ。

これに反して黄海斜面には鴨綠江清川江大同江錦江等の大河があつて、朝鮮海峡に注ぐ洛東江と共に舟運灌漑の便が多い。近海に於ける潮汐の干満の差は日本海岸では僅に三十裡内外であるが、黄海岸では十米に及ぶ處がある。

●**氣候**。北半は冬季大陸北部の寒冷な氣候の影響を受けて、河海が結氷する。南半はこれに比べるゝ温暖である。要するに北半はその氣候が滿洲に類し、南半は本州に似た處がある。西南の海面には初夏の頃濃霧が深い。

第二節 人文

●**住民**。半島住民の大部分は朝鮮民族で、容貌が大和民族に似てゐる。その體格と氣質とは半島の南北によつて異なり、諺に北男南女と稱して、北人は沈著頑固であるが、南人は輕躁巧慧である。

諺文の例

諺文は朝鮮民族固有の文字である。

近年労働者として朝鮮民族の内地に入り込むものが多い。

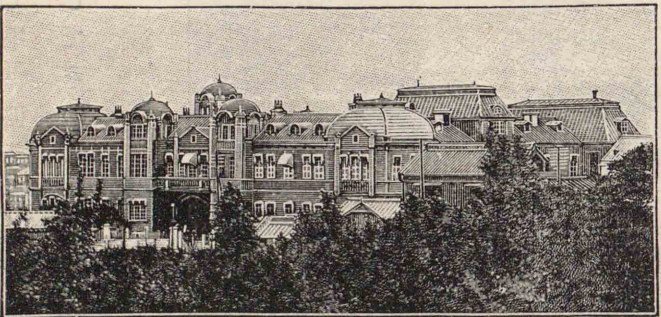
朝鮮總督府

|   |   |    |    |    |    |       |
|---|---|----|----|----|----|-------|
| 子 | フ | ロ  | 己  | 口  | 日  | ム     |
| 音 | ス | 〇  | ㄱ  | ㄴ  | ㅇ  | ㅁ     |
| 母 | ト | ト  | ト  | ト  | ト  | ト     |
| 綴 | 서 | 울  | 대  | 돈  | 강  | (大同江) |
| 音 | シ | ウル | ダイ | ドン | ガン | (京城)  |

人口は約千七百萬あつて、北に少く南に多い。その密度は内地の二分の一に及ばない。朝鮮民族は概して、文明の程度が低かつたが、近時教育の普及に力め、各種學校の設備を見るやうになつたから、人文が漸く進歩して來た。

近年内地人の移住するものが次第に増加して、その數が三十七萬を超えてゐる。鐵道沿線及び海岸地方には、その市街村落の新興つたものが少くない。

●**政治**。朝鮮はもと獨立の君主國であつた





總督府には總督官房及び内務、財務、殖産、法務、學務、警務の六局を置く。

裁判所には高等法院、覆審法院、地方法院、地方法院支廳がある。

鴨綠江岸六道溝の貯木場

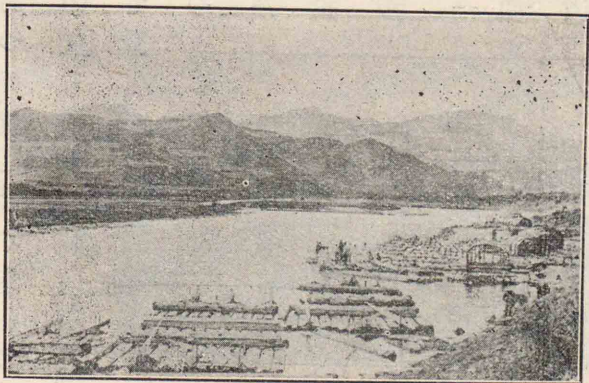
近年内地人の移住して農業に従事してゐるものが少くない。  
地勢・風土の關係上、米は南部及び中部の平野を主産地とする。竹の如きもたゞ南部に限つて産する。

が、わが國は明治三十八年にこれを保護國とし、明治四十三年にこれを併合し、京城に朝鮮總督府を置き、總督をしてその政務を統轄せしめてゐる。

行政上、朝鮮は十三道に分れ、道は更に府と郡に分れ、道に知事、府に府尹、郡に郡守を置いて、行政を掌らしめてゐる。

三 産業

おもな産業は農業、鑛業及び水産業等である。農業には米、麥、大豆、煙草、綿の外に人蔘の特産がある。北部鴨綠江流域地方には紅松、唐檜、落葉松、樅等の森林が深く、多く木材を出す。牧牛がよく行はれて、牛皮の産が多い。果樹の栽培は近年大に興つてゐる。鑛産には金、鐵、石炭、黒鉛等

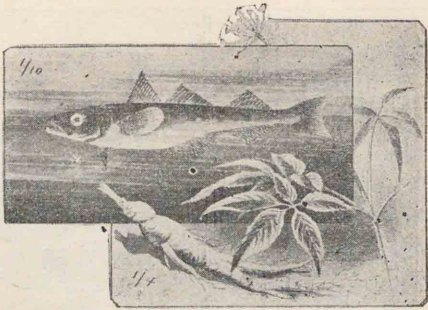


鑛山の利益の半は外國人に占められてゐる。

人蔘と明太魚

兼二浦三菱製鐵所

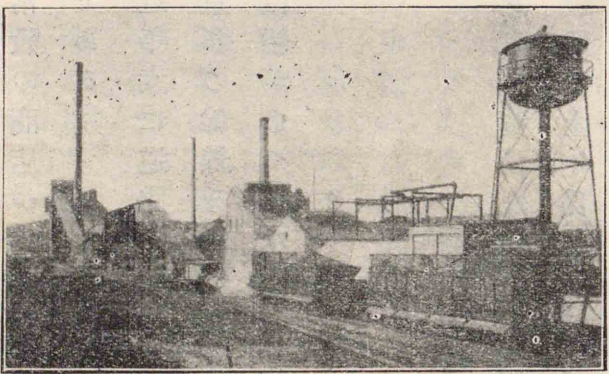
朝鮮の貿易額は内地との分を合して三億五千萬圓以上に達する。



がある。中にも金はその産額が最も多い。近海は水産に富み、日本海の明太魚、鱈、鮮鯨、朝鮮海峽の鱒、鱒、鯖、鯛、烏賊、黄海の石首魚等は殊に著れ、その漁利の半は内地人の手にある。

工業は從來機業、窯業等の手工業が多少行はれてゐたが、近年製鐵、製鍊、製紙等の事業が興つて來た。

貿易は天産物の米、豆類、金、水産物、綿等を内地に送り、米、人蔘等を支那に輸出し、綿布、麻布、綿絲等の加工品及び粟、石炭、石油等はこれを内地から移入し、または支那、アメリカ





カ合衆國その他から輸入する。地方では常設の商店が少く、一定の時期に市を開いて賣買する風が今尙盛である。

④交通。古來おもに轎馬によつてゐたが、近年大に道路を改修しまた鐵道には半島を南北に縦貫する京釜、京義の幹線を始め、京元、湖南等の諸線がある。海路も沿岸航海の汽船があつて、水陸の交通は漸く不便のないやうになつた。

### 第三節 地方誌

朝鮮は行政上、慶尙南北、全羅南北、忠清南北、京畿、黄海、江原、咸鏡南北、平安南北の十三道に分たれる。今記述の便宜上、半島を別けて南部、中部、北部の三地方とする。

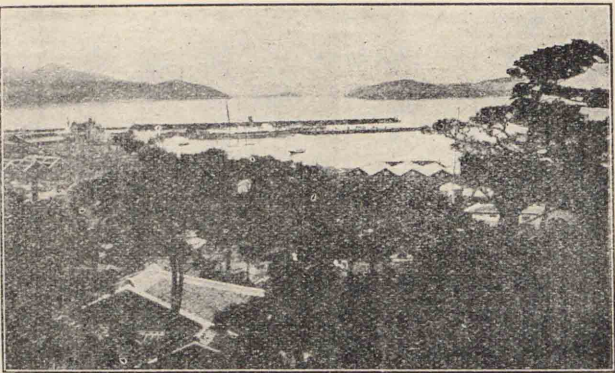
#### 一 朝鮮南部地方

南部地方は半島中最もよく開け、土地が豊沃で、農産が多い。そ

道廳の所在地  
 慶尙南道 晉州  
 慶尙北道 大邱  
 全羅南道 光州  
 全羅北道 全州  
 忠清南道 公州  
 忠清北道 清州  
 京畿道 京城  
 黄海道 海州  
 江原道 春川  
 咸鏡南道 咸興  
 咸鏡北道 羅南  
 平安南道 平壤  
 平安北道 新義州

釜山・下ノ關間の連絡船は約十一時間を要し、釜山・京城間の急行列車も約十時間を要する。

釜山



の東半は慶尙南北二道の地で、洛東江は中央を流れてゐる。江口の東にある釜山、七六は開港場で、港灣の設備がよく整ひ、下關との間には鐵道の連絡船があつて、内地との交通の門戸となり、米、大豆、魚類、牛綿等を出し、綿織物、綿絲、石炭等を入れ、貿易額は半島の第一に位する。その市街には三萬人以上の内地人がゐて、内地の都會のやうである。その東北に東萊の温泉がある。

三浪津、大邱等を経、秋風嶺を越え、大田を過ぎて、京城に達する。

大邱人口は洛東江流域の中央に位し、春秋二季に盛な商市を開き、農、牧の産物と工藝品の取引が行はれる。その東には新羅の舊

大邱に覆審法院がある。



蔚山は征韓の役に加藤清正が築城した地で、またその沖に日露の海戦のあった處である。

慶州の天文臺遺跡と附近の佛國寺

鎮海灣は日本海海戦前にわが主力艦隊の根據地であつた處である。

公州の北方には日清戦役の戦場である成歡及び内外人が共同經營する稷山金坑がある。

都慶州がある。その附近と共に史蹟が多い。中にも古代の天文臺の遺跡と佛國寺の石佛とが特に著はれてゐる。東海岸の蔚山灣は内地捕鯨船の根據地である。

釜山の西に馬山の名邑がある。京釜線の支線は三浪津からここに通じてゐる。これに隣る鎮海は海軍の要港で、巨濟島がその前に横はつて、無比の良港になつてゐる。晋州はその西方にある小都會である。

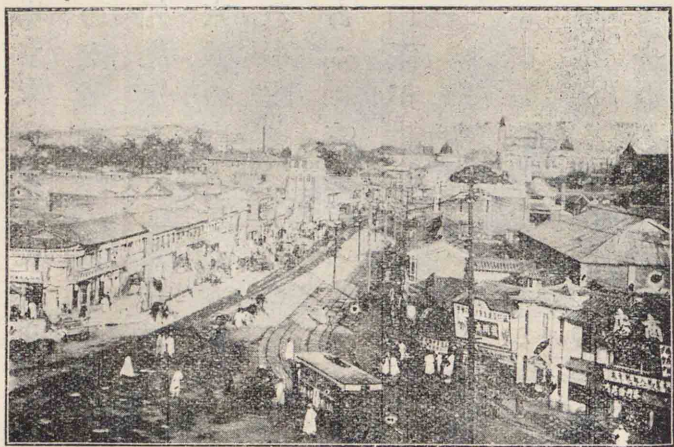
南部の西半は忠清南北全羅南北の四道に分たれ、平野が多く農業が盛で、公州及び全州の二名邑がある。湖南線は大田で京釜線に分れ、群山及び木浦の兩開港場に通



中部の近海には海戦で名高い處がある。わが艦隊は嘗て豊島沖で清國の海軍を破り、また仁川港外でロシアの艦隊を撃ち沈めた。

京城市街

東京から約二晝夜で京城に達する。京城に高等法院・覆審法院・醫學專門學校・法學專門學校・高等工業學校・高等商業學校等があり、また朝鮮社がある。近時東方郊外に帝國大學の豫科が開始された。



る。その西南部の龍山は、京釜京義京元三線の集中する處で、貨物の集散が盛である。また第二十師團司令部がある。

ずる。濟州島の近海は水産の利を以て知られてゐる。

### 二 朝鮮中部地方

中部は京畿黃海江原三道の地で、半島の中部に位し、漢江がその間を流れてゐる。京畿道の西半部は土地が肥沃で、農産に富む。

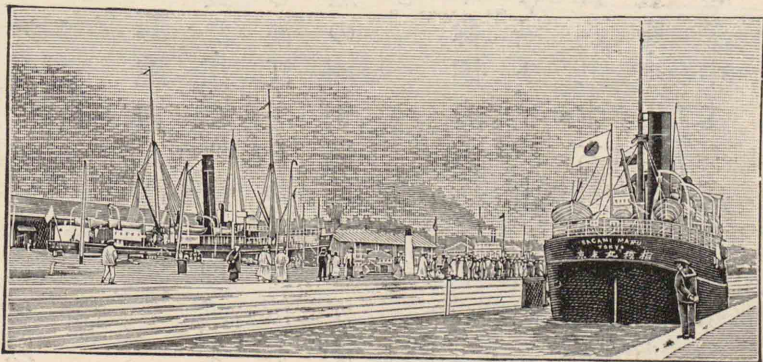
京城は久しく韓國の首府となつてゐた處で、漢江に沿ひ、北漢山と南山との間に位し、人口約二十六萬、市街は城壁を繞らし、總督府李王の宮殿等がある。



仁川港

水原に高等農林學校がある。その南方は平野が廣く、農産が多くて、内地人のこゝに來住してゐるものが少くない。

京釜線は龍山に近い永登浦から京仁線に分つて、仁川に至る。仁川は主要な開港場で、米・人蔘・牛皮等を積出す。仁川港は干潮の際船舶の出入に不便であつたが、近年閘船渠を設けて、その憾のないやうになつた。京城の南方にある水原は古い都會で、今は農事改良の中心となり、勸業模範場の設がある。京畿道の東にある江原道には大白山脈が横はつて、都邑が少い。金剛山は山水の勝景半島第一と稱せられる。京城の西北にある開城は高麗の舊都で、今は人蔘産地の中心となり、その取引が盛大である。更に西北に進めば黃州の名

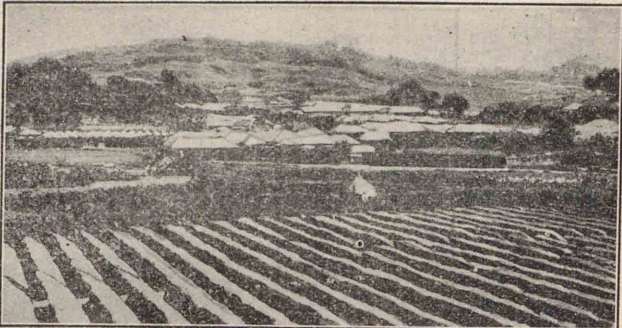


載寧・殷栗及び安岳の鐵鑛は八幡製鐵所に送られる。遂安金山はイギリス人が經營する。

上、開城附近の墓園

下、載寧鐵山

平壤は形勝の地を占めてゐるから、豊臣氏の征韓役及び日清戦役の戦場となり、その名が殊に著れてゐる。

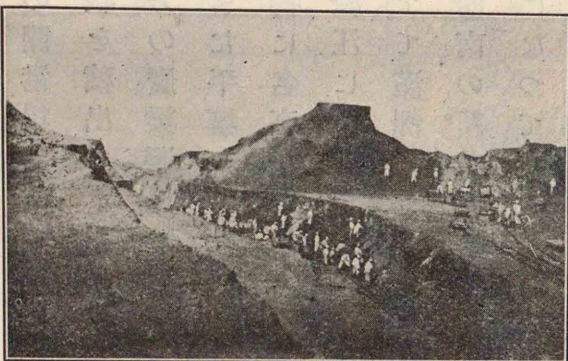


邑があつて、農産物を集散する。その西南の載寧附近には鐵鑛の産が多く、大同江に臨む兼二浦には製鐵所の設がある。また東方の遂安には金の産が多い。

三 朝鮮北部地方

西半の平安南北二道は黃海斜面に位し。大同江はその南部を灌ぐ。江に沿うて平

壤七九の舊都がある。開市場で、水陸運輸の要點に當り、北部に於ける物貨の集散地である。その附近からは石炭を出す。こゝから江

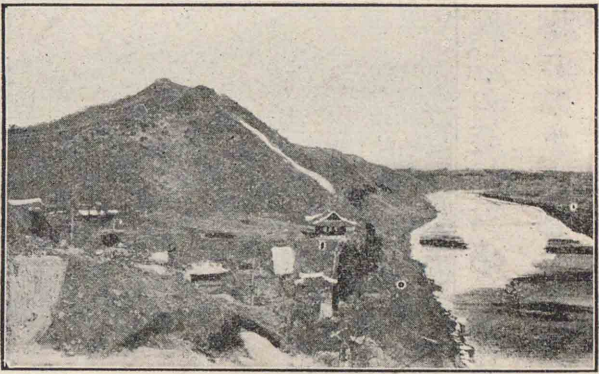




平壤の附近に陸軍の飛行隊が置かれてゐる。  
おもな金山の中、雲山はアメリカ合衆國人、朔州・順安はわが國人が經營してゐる。

平壤

圖中左方に高く聳えてゐるのは牡丹臺で、中央の建物は練光亭である。右方の大同江を見下して景色が甚だよい。  
釜山・新義州間の鐵道は延長が五百八十六哩あつて、二十三時間で汽車が全線を走る。鴨綠江の開閉橋はその橋體の一部を回轉して船舶を通過せしめる。  
(二頁の挿圖参照)



閉橋を通じて、滿洲の安奉線に連絡する。

東半の咸鏡南北二道は日本海に臨み、山が多くて、海岸地方のみ

を下ると鎮南浦、三つの開港場がある。鐵道が平壤に通じ、盛に米穀を積出す。また製鍊所の設がある。その西方の廣梁灣岸には天日製鹽が行はれる。また平壤から北には産金地が多く、雲山が特に名高い。

半島の西北境、鴨綠江に臨んで義州の名邑がある。江を隔てて滿洲の九連城と相望んでゐる。その西南の新義州は滿洲の安東に對し、開港場になつてゐる。こゝに營林廠が設けられて、鴨綠江上流地方の森林を經營してゐる。京義線は鴨綠江の開

上、元山の市場

下、清津港



は第十九師團司令部がある。また北方の豆満江岸にある會寧は滿洲の間島に入る要點にあたり、清津から鐵道を通じてゐる。





第二編 括論

第一章 地文

第一節 地形

兩山系の相會する處の地幅は約六十里に及ぶ。  
中部地方の高山には、海面上の高山三千米を出入するものが少くない。

●**山系**。日本列島を造る山系のおもなものは北彎南彎の二つで、北彎は樺太から南に延びて、北海道本島を貫き、本州の奥羽關東を過ぎて、中部地方に至る。南彎は二列から成り、一は臺灣から琉球列島を經、九州、四國、近畿の南部を過ぎて、中部地方に至り、一は九州の北部から中國を經、近畿の北部を過ぎて、また中部地方に至る。この北彎南彎兩山系の相會する處は本州中幅が最も廣く、高峻な山岳が多い。  
朝鮮半島では、その北部は高臺になつてゐて、南部には大白山脈

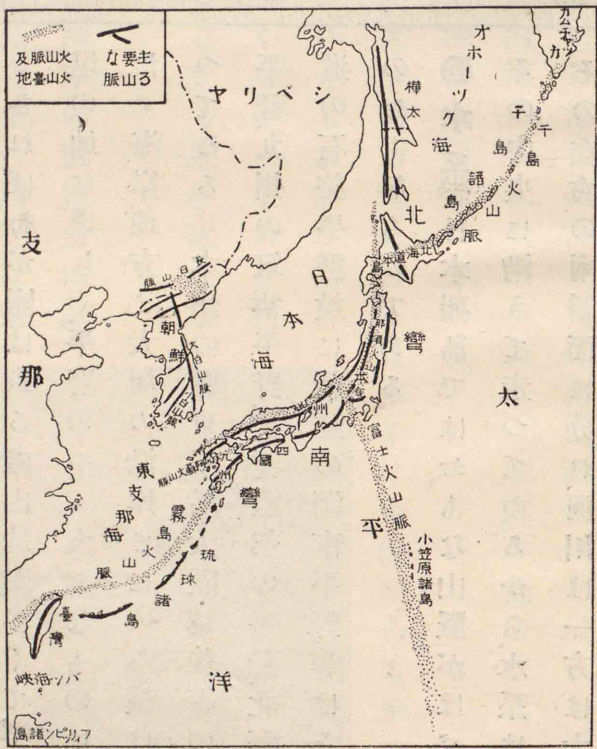
山脈及び火山脈

富士火山脈以北を北日本と稱し、以南を南日本と云ふ。

が脊梁となり縦走してゐる。

南北兩彎の山系中には處々に火山が噴起して、火山脈を造つてゐる。そのおもなものには、北彎山系の中軸を走る那須火山脈があり、南彎山系に沿う

て走る霧島阿蘇の二火山脈がある。また中部地方には本州を横斷する富士火山脈があつて、その脈が遠く南方太平洋中に連り、東北には千島火山脈があつて、千島列島から來て、北海道本島に及ぶ。



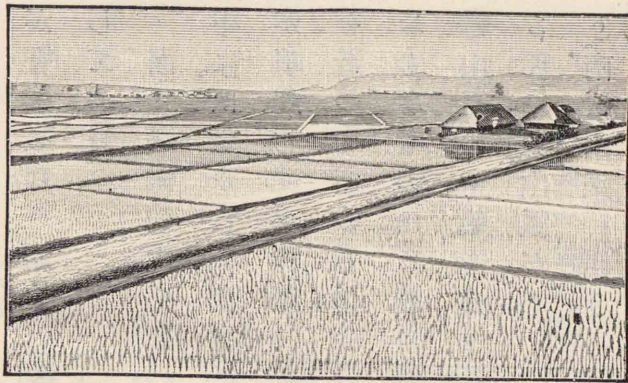


火山地方には温泉が多い。

本州の太平洋斜面を表日本と稱し、日本海斜面を裏日本と云ふ。

平野の例(石狩)

各斜面のおもな河川  
日本列島  
太平洋斜面  
十勝川 北上川  
利根川 木曾川  
吉野川



列島にはこの他にも尙火山が少くない。朝鮮には北部に熔岩から成る廣い高臺があつて、白頭火山がその上に聳えてゐる。わが國は世界中有名な火山國で、また有名な地震國である。

さればわが國は到る處山地が多くて、平坦の地に乏しく、平野のやゝ大きなものはたゞ海岸地方と大河の沿岸とにのみ横はつてゐる。本州の關東濃尾大阪越後等の平野、九州の筑紫平野、臺灣西部の平野、北海道の石狩平野並に朝鮮の湖南平野等はそのおもなものである。

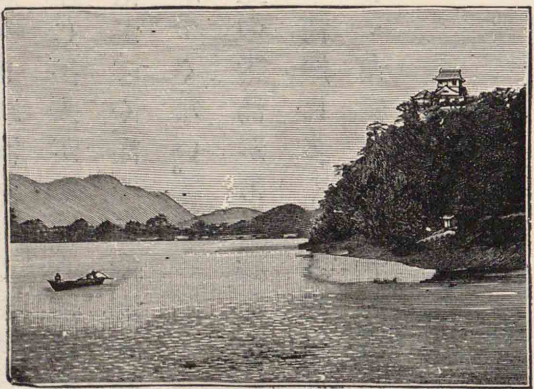
●水系。日本列島ではおもな山脈がほぼその中央に沿うて走つてゐるから、水系はその左右の兩斜面に分れ、河川は一方は太

オホーツク海  
斜面  
幌内川 常呂川  
日本海斜面  
石狩川 信濃川  
江ノ川  
瀬戸内海斜面  
淀川 旭川  
東支那海斜面  
筑後川 川内川  
臺灣海峡斜面  
淡水河 濁水溪  
朝鮮半島  
日本海斜面  
豆満江  
朝鮮海峡斜面  
洛東江  
黃海斜面  
大同江 清川江  
鴨綠江  
木曾川

圖は日本ラインと稱せられる愛知縣犬山附近の景。

犬山の城の日照りよしの水

平洋に、一方はオホーツク海、日本海、東支那海、臺灣海峡に流れる。南日本には別に瀬戸内海に入る水系がある。朝鮮半島では水系は日本海、朝鮮海峡、黃海の三斜面に分れる。  
わが國は地形上長大な河川に乏しく、且多くは急流であるから舟運の便に乏しいけれども、水量が常に多くて、灌漑の便が少くない。水力を利用して發電に供することも近年盛になつて來た。  
山間の盆地または海岸の低地には、處々に湖水がある。琵琶湖、猪苗代湖等は盆地中に、霞浦、八郎潟等は海岸にある。  
●海岸線。わが國の諸島は概して海岸線の出入に富んでゐる。九州がその第一





わが國の島の數は  
四千三百餘に及ぶ。

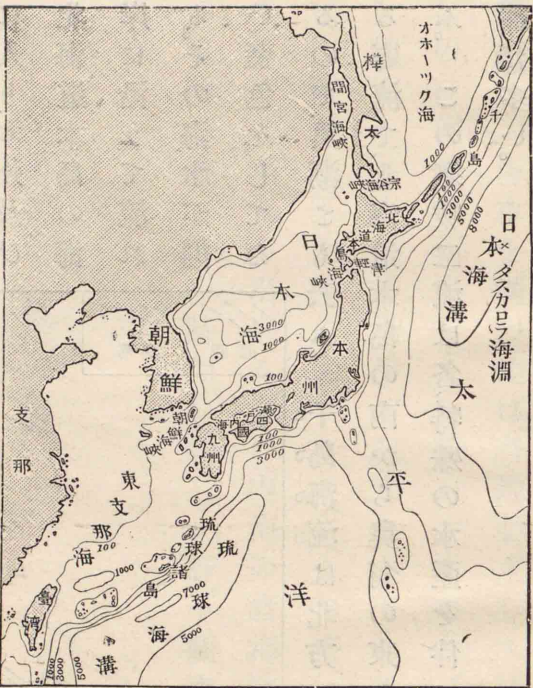
タスカロラ海淵の  
深さは八千五百餘  
米で、富士山の高  
さに比べると二倍  
以上である。

に位し、本州、四國、北海道、本島、樺太がこれに次ぎ、臺灣が最も屈曲に乏しく、朝鮮では黃海及び朝鮮海峽の沿岸に出入が多い。海岸線の出入の著しい地方は概して自然の良港が多く、従つて航海、商業に便利を與へて、文明の開發を促すことが少くない。

### 第二節 海洋

●沿海。わが國は海國で、四方概ね海を繞してゐる。列島の東に横はる太平洋は世界第一の大洋であつて、列島の近海はその深きが殊に著しく、奥羽地方の沖から千島の沖にかけて有名な日本海溝が横はつて、その最深部をタスカロラ海淵と云ふ。

海洋の深淺



瀬戸内海は極めて  
淺く、海面が若し  
僅に四十米前後  
も下るとすれば本  
州、四國、九州は全  
く連絡して一大島  
となる。

その名の示すやうに、その口はいづれも極めて狭い瀬戸(海峽)になつてゐる。

●海流。海流のおもなものは日本海流及び千島海流である。日本海流は赤道近海から來る暖流で、臺灣、琉球に沿ひ九州、四國、本州

列島と大陸との間に

横はるオホーツク海、日本海、東支那海は互に間宮海峽、宗谷海峽、朝鮮海峽等の狭い海峽で相連り、日本海はまた別に津軽海峽によつて太平洋に通ずる。瀬戸内海は三大島の間に挟まつて

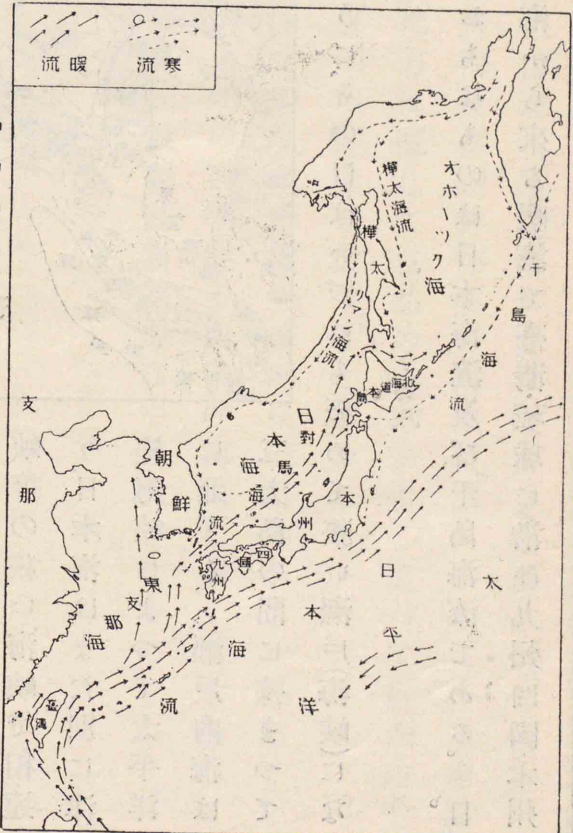


海流

地形  
海洋  
氣候  
地物

千島海流は海水が淡緑色を呈してゐる。寒流には別に樺太・リマンの二海流がある。北海道近海は寒暖二流の相觸れる處で、その影響によつて霧が多い。

の南を流れ、東北の洋中に轉ずる。その一派は對馬海峽から日本海に入り、本州及び北海道本島の海岸に沿うて流れる。その海水が濃い藍色をしてゐるので、黒潮とも云ふ。千島海流は北方から、千島近海を流れて來る寒流で、北海道本島の南から奥羽の東を流れる。一に親潮とも云ふ。この寒暖二流は各特殊の水産を伴つて來るので、その漁利が甚だ多い。



潮流の急な海峡では船舶の航行に際し、潮時を選ばねばならない。

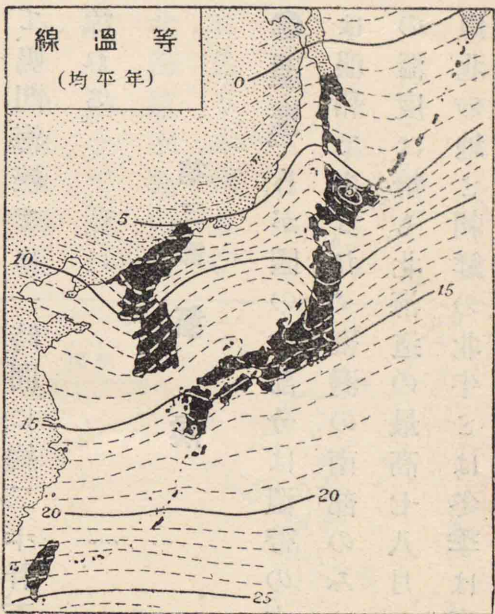
● 潮汐。海水千満の差は、各地必ずしも同一でない。その最も大きなのは朝鮮の西岸で、その差が十米に及び、九州の有明海は五・五米を超える。太平洋沿岸は二米を上下し、日本海沿岸は最も小で、殊に佐渡では三十糎に過ぎない。また狭い海峡等では、潮汐の進退する毎に潮流が出来る。瀬戸内海の諸海峡では潮流が殊に著しく、鳴門海峡では一時間に約二十糎、下關海峡では十三糎の速度で流れる。

### 第三節 氣候

● 溫度。わが國の大部分は温帶の中に位し、且海に近いから氣候は温和である。たゞ臺灣の南部のみは熱帶に入つて、その最低二月の溫度は、恰も北海道の最高七八月の溫度と相等しい。また奥羽以北の地と朝鮮の北半とは冬季は寒氣が強く、北海道樺太及び朝



日本海は冬季風波が荒くて航海に不便である。臺灣海峡は四季共に風波が荒い。

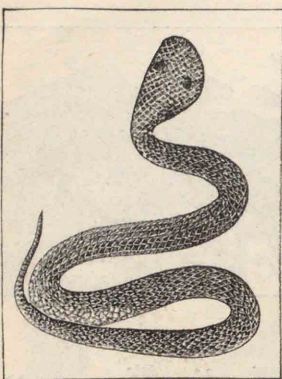


起すことがある。

●**雨**。雨量は風向と直接の關係がある。夏季東南風の送つて來る濕氣は、九州・四國・本州の南海岸に多量の雨となつて降り、冬季は西北風が日本海の濕氣を送つて、本州島の日本海岸地方に多量の雪を降らす。また六月には奥羽以南の地に雨天が多い、これを梅雨

鮮では海水または河水の結氷する處がある。  
●**風**。夏は東南の軟風が太平洋から、冬は西北の強風がアジア大陸から吹いて來るのを常とする。また八九月頃には南方から颶風が襲つて來て、米作を害し、また洪水を

コ  
ブ  
ラ

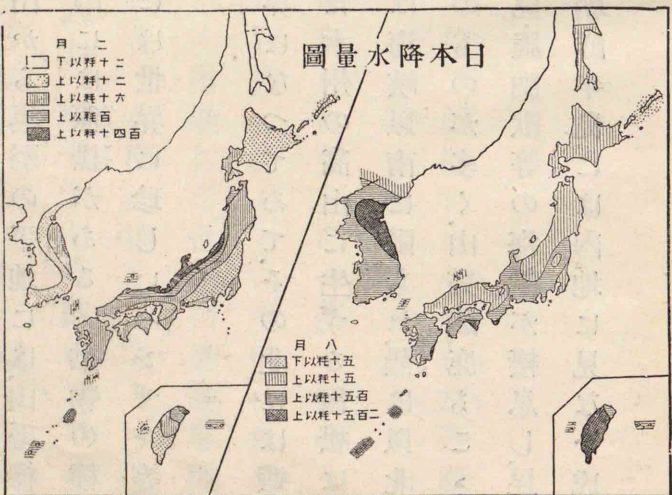


と稱する。一年を通じて雨量の最も多いのは臺灣及び琉球諸島で、少いのは北海道樺太並に朝鮮の北部である。

### 第四節 動植物

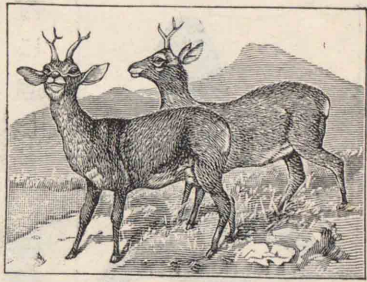
わが國の氣候はよく動植物の生育に適し、その種類が甚だ多い。臺灣・琉球の植

物にはヘゴ、榕樹、檳榔等があり、またバナナ、鳳梨等の果實を産する。特有動物には、臺灣に穿山甲、コブラ、琉球に





獐



ハブ等がある。  
九州四國本州には赤松黒松檜杉等がよく  
繁茂し、中部の山から奥羽の平地には、山毛櫨  
が多く、また高山には偃松がある。動物の種  
類も多くて、中には世界に珍しいハンザキ等  
がある。

獐は鹿の類である。

津軽海峡は生物分布の著しい境界になつてゐて、その北には蝦  
夷松、椴松、落葉松等の森林が多く、また本州の高山に生ずる偃松は  
樺太千島の低地にある。動物も猿は海峡以南に限られ、熊は以北  
の特産である。樺太の動物は大陸産のものが多く、山猫、麝もこゝ  
に産する。樺太北海道の近海には獵虎、膾葜獸等の海獸が棲息し、昆  
布が繁茂し、河川には鮭鱒が多い。朝鮮半島には内地に見ない虎、  
狢、獐等を産する。

## 第二章 人文

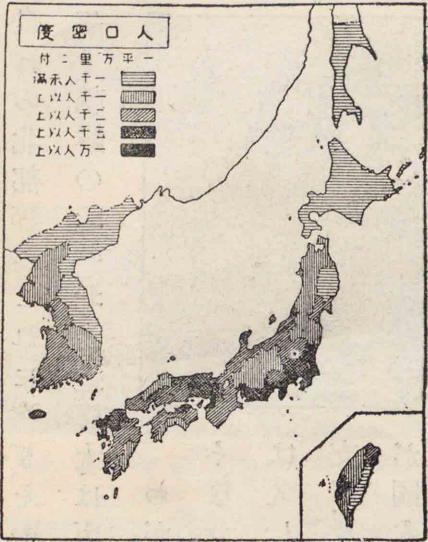
### 第一節 住民

● **種族**。列島の住民は大部分大和民族で、朝鮮には朝鮮民族、臺灣  
には支那種族、マライ種族、北海道にアイヌ種族、樺太にアイヌ、ギリ  
ヤク、オロチン等の種族がある。大和民族は愛國心が深く、學藝を

好み、技術に長じ、その文明は近來  
著しく増進して、世界の最優等種  
族に並ぶ程度に達してゐる。

● **人口**。約七千七百萬ある。そ  
の密度の最も大なのは關東平野  
で、中部海岸地方から、近畿の中部  
瀬戸内海沿岸地方、九州の西北部

内地 約七千七百萬  
朝鮮 約一千七百萬  
臺灣 約三百六十万  
樺太 約十萬





内地人の外國に在留するものは六十萬に餘つてゐる。

ブラジルへの移民の出帆

人口十萬以上を有する都市は左の通りである。

- 東京 大阪
- 神戸 名古屋
- 京都 横濱
- 京城 長崎
- 臺北 廣島
- 函館 吳
- 金澤 熊本
- 仙臺 福岡
- 小樽 札幌
- 鹿児島 八幡



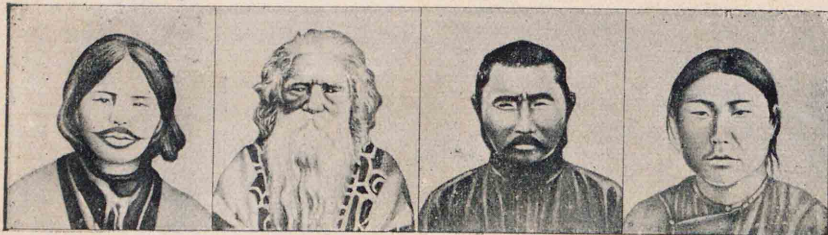
臺灣の北部等がこれに次ぎ、そのやゝ小なのは奥羽地方、朝鮮の南半で、朝鮮の北半、北海道、樺太は更に一層小である。

わが國民の海外にあるものはまだ多くない。しかし太平洋中のハワイ諸島には久しい以前から數萬の移民が居住し、支那及びアメリカ合衆國にも多數のわが國人がある。また近年南アメリカのブラジルへ移住するものが増加して來た。内地から朝鮮に赴くものも著しく多くなり、各地に新市街を興してゐる。

●都會 わが國は農業を以ておもな産業としてゐるから、都市の數は割合に少く、人口十萬以上を有するものは僅に二

### 帝國の住民

(大和民族を除く) (南洋諸島の住民を含む)



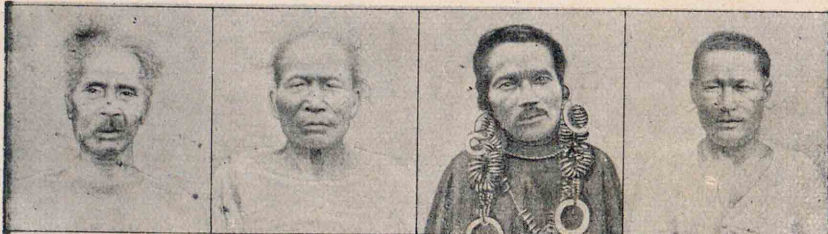
(女) アイヌ (男) アイヌ (男) ショチロオ同 (男) クヤリギ人土太樺



(女) 人漢灣臺 (男) 人漢灣臺 (女) 人鮮朝 (男) 人鮮朝



(女) シワイバ同 (男) シワイバ同 (女) ルヤイク同 (男) ルヤイク著土南洋



(男) 人土ウラバ (女) 人土ナリマ (男) 人土クット (男) 人土ラヤシマ



イギリスでは人口  
十萬以上の大都市  
が約四十ある。

十を數へるのみである。これをイギリスその他商工業の盛な國に  
比べるに、その數が甚だ少い。しかし東京・大阪などは人口百萬を超  
え、世界有數の大都市である。

## 第二節 政治

● **國體。** わが國は上に萬世一系の天皇を戴く立憲帝國で、國體の  
美は世界にその比を見ない。

● **政體。** 政治の機關は立法・行政・司法の三部に分たれる。

● **立法部。** 立法部は帝國議會で、貴族院衆議院から成り、おもに法  
律案・歳入・歳出の豫算案等を議する。

● **行政部。** 中央政府は内閣を主腦とし、別に外務・内務・大藏・陸軍・海  
軍・司法・文部・農商務・遞信・鐵道の十省がある。内閣總理大臣は各省の  
長官である大臣と共に内閣を組織して、政務を執る。



市・町村には自治機關を置く。

區裁判所は北海道・樺太・各府縣に各數箇あり。地方裁判所は北海道に四箇、樺太・各府縣に各一箇ある。臺灣には高等法院、地方法院、朝鮮には高等法院・覆審法院・地方法院等がある。

地方行政は全國を三府四十三縣北海道樺太臺灣及び朝鮮とし、府縣に知事、北海道樺太に長官があつて、各その地方を治め、臺灣朝鮮には總督があつて、政務を統べる。更に府縣は市郡町村に、北海道は市支廳に、樺太は支廳に、臺灣は州廳に、朝鮮は道府郡に分けられる。また支那から租借してゐる關東州には關東長官を置き、近年わが委任統治に歸した南洋群島には南洋廳長官を任じて、その政務を統べしめてゐる。

**司法部。** 裁判所は訴訟・登記等のことを掌る。區裁判所及び地方裁判所は、北海道樺太各府縣に置かれ、控訴院は東京大阪名古屋廣島長崎仙臺及び札幌の七箇所に設けられ、最上級の大審院は東京にのみ置かれてゐる。臺灣と朝鮮には各特別の裁判所が設置されてゐる。

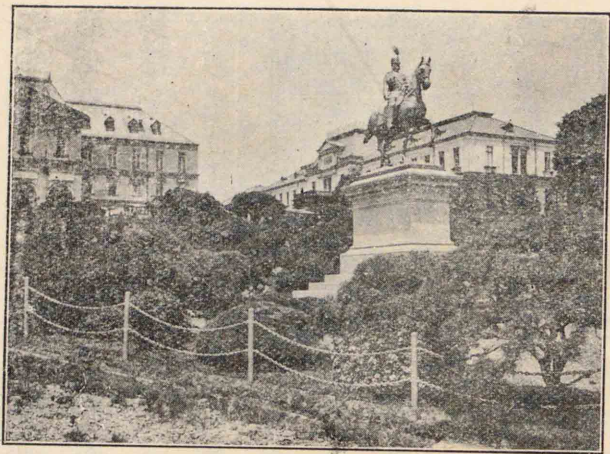
**三 財政。** わが國政府の歳入豫算は、大正十二年度に於て約十三億

五千萬圓で、所得稅・酒稅・關稅・地租・營業稅等の租稅と、官業の收入とをおもな財源としてゐる。歳出豫算は同年度に於て約十三億五千萬圓で、國債費と軍事費とを合すれば、歳出總額の四割半を過ぎてゐる。

**四 兵制。** 帝國の陸海軍は天皇の統率し給ふ所で、壯丁は總べて兵役に服する義務がある。

陸軍は内地を十八師管に分けて、これに各一箇師團を置き、外に近衛師團を帝都に置く。別に朝鮮に二箇の師團を置き、また臺灣南滿洲等に守備の兵員を置く。

海軍は全國の海岸海面を三海軍區



參謀本部

一箇師團は通常二箇の歩兵旅團及び一箇宛の騎兵聯隊、野砲兵聯隊・工兵大隊・輜重兵大隊から成立つ。



戦艦 陸奥

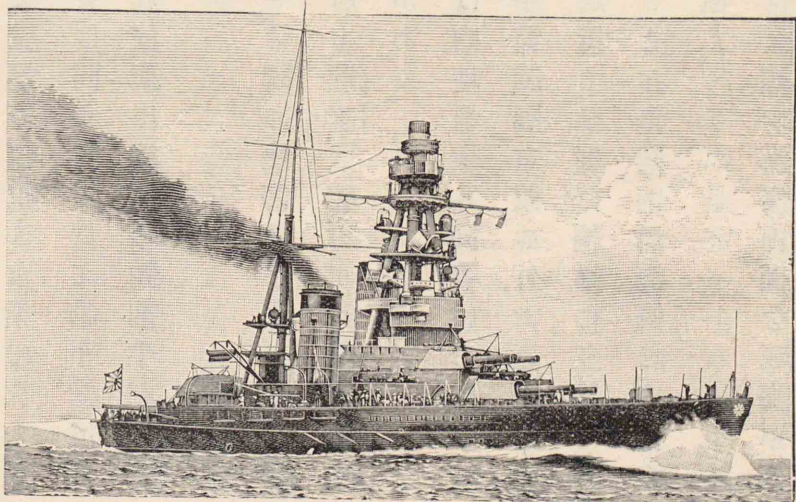
列強海軍主力艦の排水量は左の通り(單位一萬噸)  
 イギリス 五六  
 アメリカ 五三  
 合衆 五三  
 日本 三〇  
 フランス 二二  
 イタリア 一八

に分ち、これに横須賀・吳・佐世保の軍港を設け、また大湊・舞鶴・馬公・鎮海に要港を置く。

軍艦は主力艦として戦艦十隻、その排水量約三十萬噸の外に、巡洋艦十八隻、砲艦四隻及び多數の驅逐艦、潜水艦等を有してゐて、わが國は世界第三位の海軍國である。

わが陸海軍の精銳なことは、近年數回の大戦役で遺憾なく發揮せられて、わが國は世界の列強の一となつてゐる。

⑤ 外交。わが修好國は約三十國で、



わが國と大使を交換する國

イギリス  
 フランス  
 イタリア  
 アメリカ合衆國  
 ドイツ  
 ベルギー  
 ブラシル

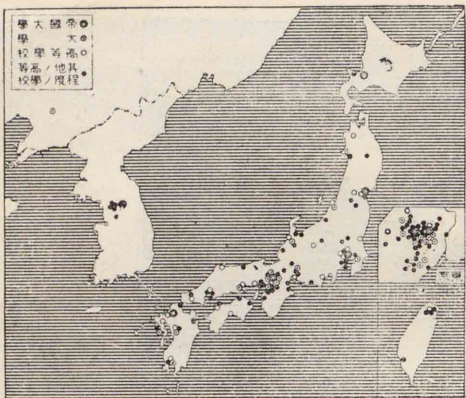
師範學校 生徒數

中學校 二、六

高等女學校 二、七

實業學校 一七、五

高等程度の學校分布圖 一〇、〇



これに大使、若しくは公使を派して外交を修め、また領事を遣はし主として通商のこゝを掌らしめてゐる。

第三節 教育・神社・宗教

① 教育。教育の制度は夙によく整つて、國運進歩の基をなしてゐる。

初等教育はよく普及し、内地の就學兒童の割合は百分の九十八に達する。中等教育には師範學校・中學校・高等女學校及び各種の實業學校があつて五十餘萬の子弟を養ふ。高等教育には東京・京都・東北・九州・北海道・京城の六帝國大學を始め大學・高等學校・高等師範學校その他法・醫・農・工・商等の専門學校が處々に設け



られ、軍人の養成には別に陸海軍の大學校、陸軍士官學校、海軍兵學校等がある。

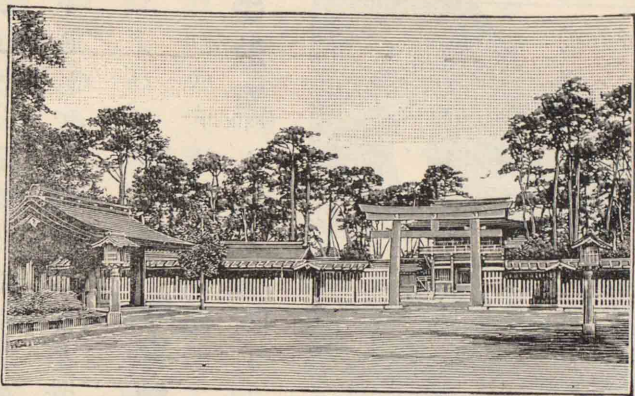
臺灣、朝鮮、關東州には特殊の學校を設け、文化の進歩普及を圖つてゐる。

**●神社宗教** わが國には皇祖皇宗を始め、忠賢偉人の徳を慕つて、これを神社に祭る風がある。神社には神宮、官幣社、國幣社等がある。近畿地方には殊に神社が多い。わが國民は憲法によつて信教の自由を有し、國民の多數は佛教を信じ、神道を信ずるもの並に基督教を信ずるものがこれに次ぐ。

#### 第四節 産 業

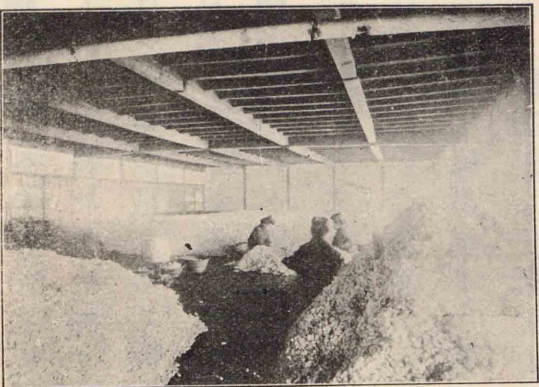
明治神宮

佛教の中では眞宗、禪宗、眞言宗、淨土宗、日蓮宗及び天台宗が盛である。



近年耕地整理が漸く行はれ、耕地の面積が次第に増加して來た。

長野縣岡谷の選繭所



**●農業** わが國民の多數は古來農を業とし、米は最北の地方を除く外到る處に産し、殊に臺灣は温暖であるから、一年二回の收穫がある。米に次いでは麥が多く、關東平野は殊にその産に富む。南日本の温暖な地方では甘蔗を作り、砂糖を産する。臺灣、琉球等が殊に著しい。茶は靜岡、三重、京都等から綠茶を、臺灣から烏龍茶を産し、共に重要な輸出品になつてゐる。

牧畜は未だ盛でないが、奥羽、九州、北海道には馬を牧し、中國、九州、朝鮮には牛を産する。

蠶業は中部の長野、愛知、山梨、關東の群馬、埼玉、奥羽の福島等に盛で、製絲工業もこれに伴つてこれらの地方に行はれる。



日本海流及びその  
分流に沿ふの、茨  
城、千葉、静岡、三  
重、高知、長崎、山口  
の諸縣及び朝鮮の  
南部等である。

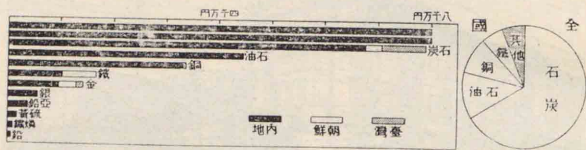
● **林業**。列島は山岳が多く、且その風土が植物の生育に適するから林産が甚だ多い。杉と檜とは主要な木材で、秋田、木曾、吉野の森林はその産が最も多く、朝鮮の鴨綠江、豆滿江流域には針葉樹の大森林がある。臺灣は樟に富み、世界に於ける樟腦の主産地である。

● **水産**。わが國の近海は水産に富み、殊に北海道樺太の近海には鮭の大群の來る處がある。日本海流及びその分流に沿ふ諸縣には鱈、鰹、鯛の産が多い。これらの水産物は食用、肥料に供し、また多く支那に輸出する。瀬戸内海沿岸には製鹽が盛で、臺灣、朝鮮には天日製鹽がよく行はれる。

● **四 鑛産**。わが國は到る處鑛産に乏しくない。銅は金屬鑛産中の首位を占め、わが國は世界第二の産銅國で、足尾、日立、別子、小坂等の銅山が殊に名高い。金鑛は朝鮮、臺灣、鹿兒島等から多く出で、鐵鑛は北海道、岩手、朝鮮に産する。亞鉛の製鍊は福岡で行はれる。石炭は

京都は美術工藝の  
中心として、古來  
その名が高い。

主鑛産物類比較(全約三億七千五百圓)



わが國鑛産の第一に位し、その大部分は九州の北部及び北海道に産し、内國用の外また重要輸出品とする。石油は新潟、秋田に産し、硫黃は各地の火山に出る。

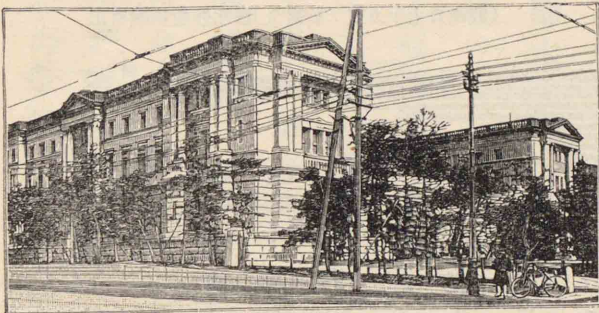
● **五 工業**。わが國は古來小工業を事として、大規模の工業がなかつたが、愛知、岐阜、佐賀、京都等の陶器、石川、福井、和歌山、京都等の漆器、福井、京都、群馬、東京の絹織物等、今尙有名なものが少くない。また製絲工業は蠶業の盛な地方に行はれ、外國貿易の發達に伴ひ、長足の進歩をして、生絲はわが國輸出品中の首位を占めてゐる。

大工業の發達して來たのは近年のこころである。綿絲紡績業はその最も著しいもので、大阪地方をその中心とし、その製出する綿絲は多く支那に輸出せられ、また大阪、愛知、和歌山等に綿布製織の



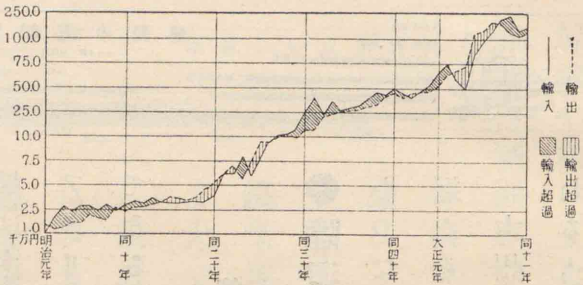
朝鮮には朝鮮銀行、臺灣には臺灣銀行があつて、その地方金融の中央機關になつてゐる。

日本銀行

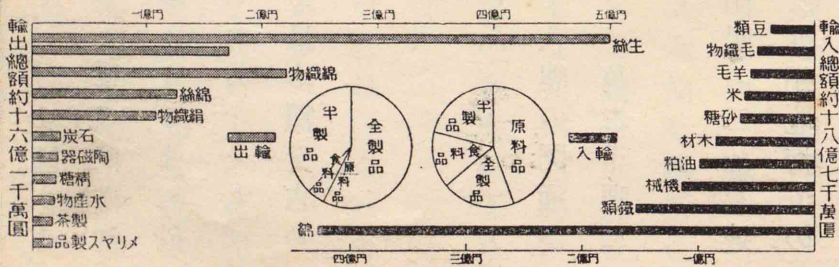


原料として盛に供給せられる。その他造船製鐵鐵工醸造製紙マツチ製糖肥料化學製品等各種の事業も次第に盛になつて來た。  
●商業。商業の中心は古來大阪を推し、今はこれに東京を加へ、この二都市には銀行會社その他商店の大きなものが甚だ多く、殊に東京にはわが國金融の中央機關である日本銀行がある。尙地方的の中心として著名なものは、中部の名古屋、静岡、中國の廣島、下關、九州の福岡、門司、奥羽の福島、北海道の小樽、臺灣の臺北、朝鮮の京城等である。貿易港としては横濱、神戸の二港が最も著れ、内地輸出入の四分の三はこの二港で行はれる。開港場は尙この他に大小六十有餘ある。

累年貿易表



外國貿易は近年大に發達し、内地の輸出入の合計約三十五億圓を算するに至つた。輸出品は生絲を第一とし、アメリカ合衆國、フランス等に出で、羽、二重、その他の絹織物はアメリカ合衆國、イギリス、フランス、インド等に出る。綿絲、綿織物、メリヤス、石炭、砂糖はおもに支那及び東洋、南洋の諸港に、陶磁器、製茶は多くアメリカ合衆國に、水産物は支那に輸出せられる。さればアメリカ合衆國及び支那はわが商品の大得意先である。輸入品は綿を第一とし、インド、アメリカ合衆國



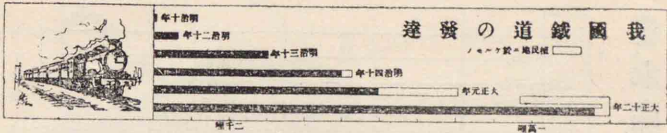


及びイギリスから機械類及び木材はおもにアメリカ合衆國から、豆粕及び豆類は支那から米は東南アジアの各地から羊毛は南部アフリカ及びオーストラリヤから多く輸入する。また砂糖は南洋から毛織物はイギリスから送られる。そしてアメリカ合衆國から來るものは全輸入の最多額を占めてゐる。

### 第五節 交通

●陸運。鐵道は明治五年に東京横濱間十八哩の開通があつたのに始まつて、今は内地全線の長さ一萬二千哩に近く、その大部分は國有である。

本州の主要な鐵道幹線は東北・東海道・山陽の三線を連ねるもので、この線はまた連絡船によつて九州・北海道の

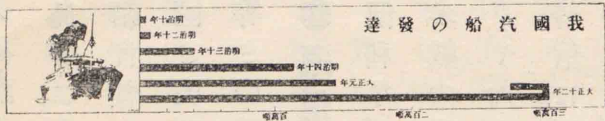


列島の鐵道は軌道が狭いため運搬力が乏しく、速度も大でない。

幹線と結び、また朝鮮の幹線である京釜・京義の二線とも連絡し、京義線は滿洲の安奉線によつて南滿洲鐵道に連つてゐる。これらの幹線からはまた多數の支線を分つて、或は本州を横斷し、或は一地方の交通の便利を與へる。そして關東近畿のやうに人文の著しく發達した地方若しくは九州北部の鑛業地、臺灣の糖業地等に於ては、その線路の密度が極めて大である。

鐵道のない地方にも電車軌道等が次第に設けられ、またおもな街道には概ね車馬往來の便がある。

●水運。海上の交通は近年産業の振興と共に大に發達し、汽船の數二千九百餘隻、その總噸數約三百萬噸に及ぶ。日本郵船會社及び大阪商船會社は世界有數の大汽船會社で、その汽船はわが國の諸港、その他東洋諸港、ヨーロッパ



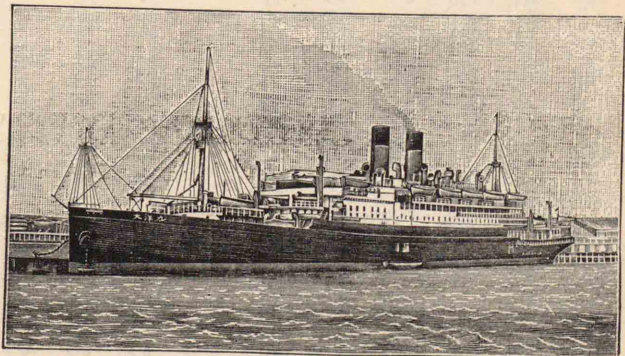
内地の道路には國道、府縣道、市道、町村道の別がある。わが國は山がちであるから、その河川は急流が多く、舟運の利が大でないが、尙自然の好交通路として古來河流を利用するところが少なくない。



わが國最大の汽船大洋丸

ツパ・南北アメリカ・オーストラリア・南洋諸島等に定期航海を營む。またその他の汽船會社の汽船は、わが國の諸港間及びわが國と支那・マライ諸島・ハワイ・南北アメリカ等との間に定期航路を有する。

●通信。郵便・電信事業はよく整ひ、通信の便利なことは今は先進諸國に劣らない。多數の海底電線はおもな島はもとより、アジア大陸・アメリカ大陸にも通じ、海外との音信に不便がなく、また近年無線電信はおもに内地とアメリカ大陸・ヨーロッパ大陸及び航海中の船舶との間に利用せられる。電話は既に全國の重なる都市に普及し、また都市相互の間に長距離通話の便が開けてゐる。



### 結論 帝國國勢の發展と國運の進歩

わが國は世界無比の國體を有し、國民の多數は忠勇な大和民族から成り、教育は夙に普及し、アジア諸國に先んじて文明の實を擧げ、立憲の制を採り、今や國勢内外に發展して、世界五強國の一となるに至つた。

殊にその地勢が自然の好位置を占め、種々の産業は各地の風土と相應じてよく發達し、國家富強の源泉となつてゐる。農業は耕地が廣くないが、主産業の一で、生絲は主要な輸出品となり、林産水産は年を逐うてその額を加へ、地下鑛産の開發もまた近年大に増進した。工業は國民の長所である手藝の技巧によるもの外、種々の大工業が勃興して、その生産物はまた重要な貿易品となり、外國貿易は近年著しく發達した。

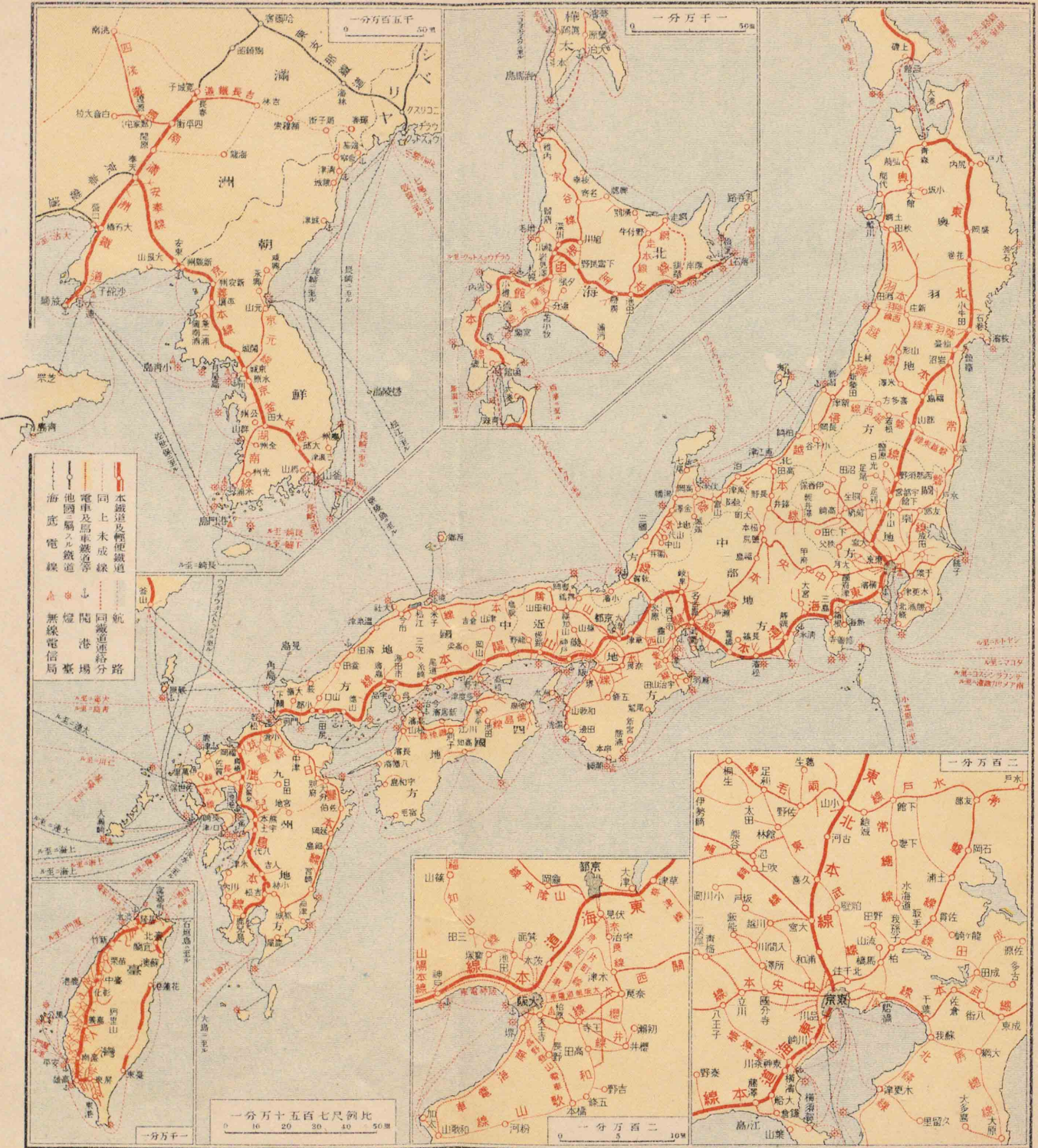


このやうに國運の進歩があらゆる方面に現れるのは、要するに地の利と人の和とが常にその宜しきを得た結果に外ならない。この國土に國民たるわれらは誠に幸福である。

しかしわが國は尙世界の新進國であつて、その文明も富力も他の列強に及ばない處がある。しかも東洋の地は夙に列強の著目する處で、外交に商業に現にその競争場になつてゐる。加ふるに太平、大西兩洋間の最捷水路である。パナマ運河も開け、その競争が更に激甚を加へて來た。帝國はこの間に處し、その優越の地位を利用して、文化の發達を圖り、貿易の増進を努め、國家富強の途を講ぜねばならない。國民の責任は實に重いと云ふべきである。



三 要 交 通 線



本線及輕便鐵道  
同上未成線  
電氣及高車鐵道等  
他國之鐵道  
海底電線  
無線電報局  
航路  
同鐵道通船  
同鐵道通船  
同鐵道通船  
同鐵道通船

一分五十五百七尺制比  
0 10 20 30 40 50 里

一分万一千一  
0 10 20 30 40 50 里

一分万百二  
0 5 10 里

一分万百二  
0 5 10 里



取  
錢四拾圓壹金 價定時臨度年四十正大

大正十三年四月五日印刷 大正十三年四月十日發行  
大正十三年十月廿四日訂正再版印刷  
大正十三年十月廿七日訂正再版發行

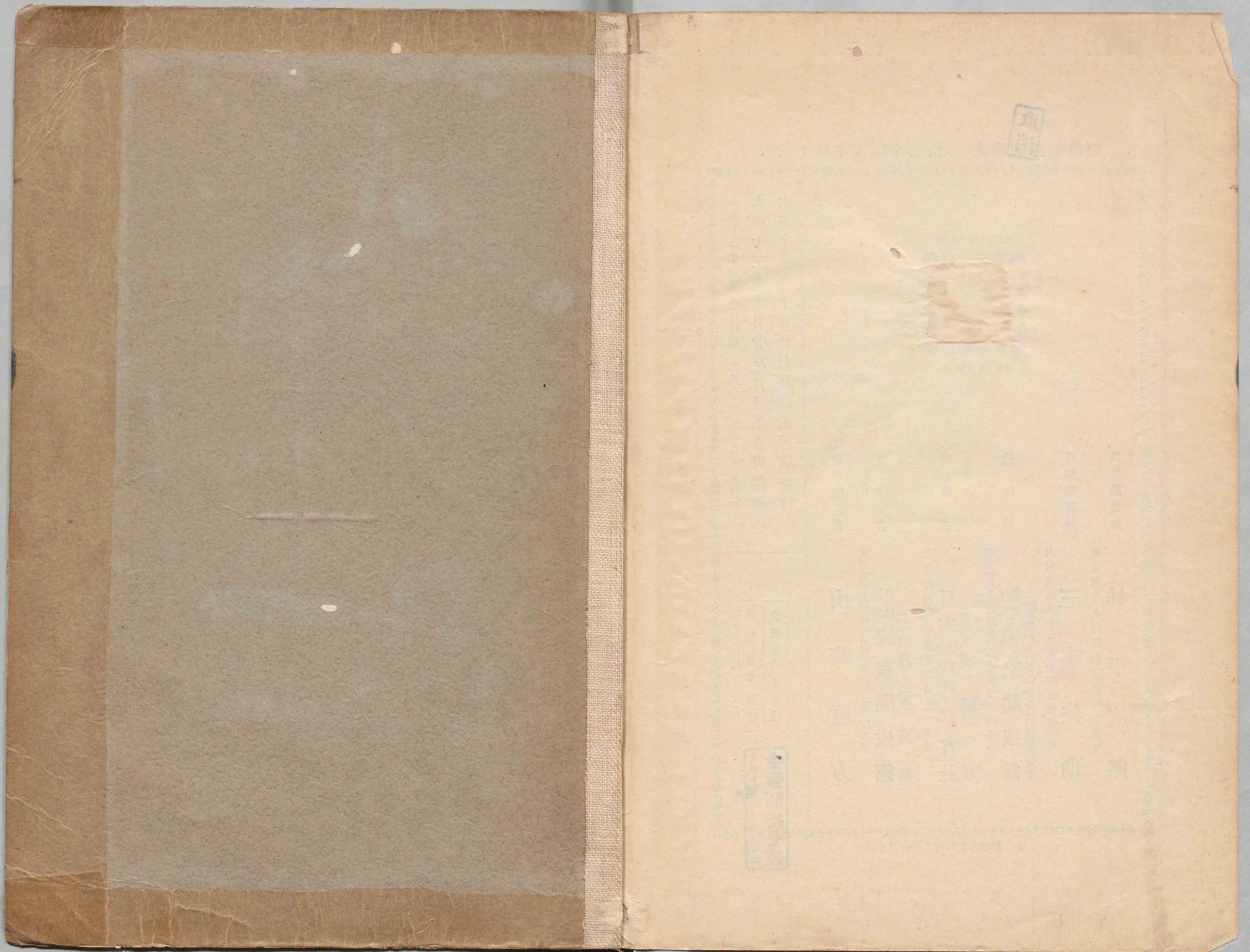


|       |  |
|-------|--|
| 著者    | 山崎直方   |
| 發行者   | 東京市小石川區小日向水道町八十四番地<br>株式會社 東京開成館<br>代表者 渡邊良助                           |
| 印刷者   | 大阪市西區阿波座二番町一番地<br>日本印刷株式會社<br>代表者 堀越幸                                  |
| 發行所   | 東京市小石川區小日向水道町八十四番地<br>株式會社 東京開成館<br>【振替貯金口座】東京第五參貳番<br>大阪市東區北久寶寺町心齋橋筋角 |
| 西部販賣所 | 三木佐助   |
| 東部販賣所 | 東京市日本橋區數寄屋町九番地<br>林平次郎   |

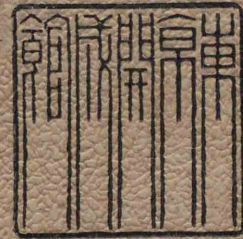
新制日本地理  
定價金六十九錢

大正十三年四月五日印刷  
金壹圓拾七錢









一田  
松原

広島大学図書  
2000071219  


文庫  
24  
219